ABBYY® FineReader 14

ユーザーズ ガイド

 \odot 2017 ABBYY Production LLC. All rights reserved.

本書に記載されている情報は、予告な、変更されることがあり、その内容についてABBYYは何ら責任を負いません。 本書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供されます。

同ソフトウェアは、契約条件に厳密に従った場合に限り、使用および複製が行えます。使用許諾契約または機密保持契約で明確に許可されている場合を除き、ソフトウェアを何らかの媒体に複製することは、ロシア連邦の「ソフトウェア およびデータベースの法的保護に関する」法律および国際法に違反します。本書の、かなる部分も、書面による ABBYY の明示的な許可を得ることなく電子的またはその他の、かなる形式または方法によっても、その目的を問わ ず、複製または伝送を行ってはなりません。

<u>著作権</u> 273

目次

ABBYY FineReaderのご紹介	
ABBYY FineReaderについて	
ABBYY FineReaderの新機能	11
新規 タスクウィンドウ	
PDFの表示と編集	
クイック変換	
PDF文書の作成	
Microsoft Word文書の作成	
Microsoft Excelスプレッドシートの作成	
その他の形式	
高度な変換	
文書の比較	
文書のスキャンと保存	
OCRエディターへのスキャン	
PDFへのスキャン	
Microsoft Wordへのスキャン	
Microsoft Excelへのスキャン	
画像 ファイルへのスキャン	
その他の形式へのスキャン	
PDFエディター	
PDF文書の表示	
表示モード	
PDF文書内の移動	
背景認識	
キーワード検索	
PDF文書からのコンテンツのコピー	
PDFのセキュリティ機能	
PDF文書の確認	
コメントペインに表示されます	
テキストのマークアップ	
描画 ツール	
PDF文書へのテキストの追加	
PDF文書で共同作業を行う	
スタンプを追加する	
PDFでの作業	
テキストの挿入と編集	
写真の挿入と編集	
ハイパーリンクの挿入と編集	
テキストの認識	

ページでの作業	
ブックマークの追加	
ヘッダーとフッターを追加する	
ウォーターマークを追加しています	
添付ファイルの追加	
メタデータの表示	
ページ画像の補正	
フォームへの 入力	
PDFにデジタル署名	
デジタル署名	
テキストの署名	
写真の署名	
PDF文書をパスワードで保護	
パスワードと許可	
PDFからの機密情報の削除	100
PDF文書の作成	101
選択したページからPDF文書を作成	101
仮想プレターを使用してPDF文書を作成する	101
PDF文書の保存とエクスポート	102
PDF文書の保存	103
PDF/Aの保存	104
その他の形式への保存	105
PDF文書のサイズの削減	106
PDF文書をOCRエディターに送信	107
PDF文書をメールで送信	107
PDF文書の印刷	108
OCRエディター	109
OCRエディターの起動	109
OCRエディターのインターフェイス	110
文書の取得	114
画像やPDFを開く	114
紙の文書のスキャン	115
文書の認識	116
OCR プロジェクト	117
OCR プロジェクトでのグリープ作業	122
OCR結果の向上	123
文書画像に不具合が多く OCRの精度が低い場合	124
エリアが不正確に検出された場合	127
エリアプロパティの編集	130
紙の文書の複雑な構造が再現されない場合	131

	同じレイアウトの文書を大量に処理する場合	132
	表や写真が検出されない 場合	
	バーコードが検出されない 場合	135
	正しないフォントが使用されている場合や、一部の文字が ?"や " "	
	に置き換えられている場合 印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合	
	文書に多 〈専門用語が含まれている場合	
	プログラムが特定の文字を認識できない場合	
	縦書きまたは反転したテキストが認識されなかった場合	
テ	テキストの確認と編集	
	認識されたテキストを確認	
	スタイルの使用	
	ハイパーリンクの編集	
	表の編集	150
	機密情報の削除	150
ک	文書からのコンテンツのコピー	151
O	DCR結果の保存	152
	PDFでの保存	
	編集可能文書の保存	155
	表の保存	157
	電子書籍の保存	
	HTMLでの保存	159
	画像の保存	160
	OCR結果をPDFエディターに送信	161
	OCR結果を電子メールで送信	
	OCR結果をKindleに送信	163
その他の	のアプリケーションとの統合	163
W	Vindows Explorer との統合	
Ν	Aicrosoft SharePointとの統合	167
OCR Ø	D自動化およびスケジューリング	168
А	ABBYY FineReaderを使用して文書処理を自動化する	
А	ABBYY Hot Folder存用。由、	
	v ドナックントクモ 教	177
ABBI		I <i>II</i>
A +		178 170
×		
י	ノンコンアン</td <td></td>	
	し牧和禾2月上	
	し 牧 紀 未 い 衣 ふ	
LI CI	し牧紀未の末仔	

目次

ABBYY Screenshot Reader	187
参照	
PDF文書のタイプ	
スキャンのビント	
文書の写真撮影	197
オプションダイアログボックス	199
書式 (フォーマット)設定	
PDF設定	204
DOC(X) / RTF / ODT設定	209
XLS(X)設定	211
PPTX設定	212
CSV設定	212
TXT設定	213
HTML設定	213
EPUB / FB2設定	215
DjVu設定	216
サポートされているOCRおよび文書の比較言語	218
サポートされている文書の形式	225
OCR前に考慮すべき文書の機能を参照してくださし。	228
画像処理のオプション	231
OCRオプション	234
複雑なスクリプト言語を使った作業	237
サポートされているインターフェイスの言語	241
スタンプ、およびヘッダーやフッターの現在の日付と時間」を	242
サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント	245
正規表現	247
ABBYY FineReader 14のインストール、ライセンス認証、登録	
システム要件	250
ABBYY FineReaderのインストールと記動	251
ABBYY FineReaderのライヤンス認証	252
ABBYY FineReaderの容録	254
データプライバシー	254
//	
付録	
用語集	255
キーボードショートカットを使用します	261
テクニカル サポート	273
著作権	273

ABBYY® FineReader 14 ユーザーズ ガイド

ABBYY FineReaderのご紹介

本章では、ABBYY FineReaderとその機能の概要を説明します。

本章の内容

- <u>ABBYY FineReader เวา เร</u>า
- <u>ABBYY FineReaderの新機能</u>11

ABBYY FineReaderについて

ABBYY FineReader 14は、パワフルな光学文字認識 (Optical Character Recognition: OCR)とDFの表示編 集機能が結合した、紙媒体の文書やあらゆるタイプのPDFで作業するためのワンストップソリューションです。

ABBYY FineReader 14 の機能は以下のとおりです:

 <u>
 文書をスキャンして変換する</u>
 ¹³

紙の文書やPDFをスキャンして編集可能な形式 (Microsoft® Word、Microsoft Excel®、検索可能な PDFなど)に変換し、さらに編集したり再使用したりできるようこします。

- ABBYY FineReaderで使用されているOCRテクノロジーは、迅速かつ正確にテキストを認識し、元の文書の書式設定を保持します。ABBYY FineReaderは元の文書の構造(書式設定、ハイパーリンク、電子メールアドレス、ヘッダー、フッター、キャプション、ページ番号、脚注など)を保持します。
- ABBYY FineReaderで提供されているテキストエディターを使えば、認識されたテキストを元の画像と比較し、必要に応じてコンテンソや書式設定に変更を加えることができます。自動処理の結果に満足できない場合は、キャプチャする画像エリアを手動で指定し、あまり一般的でないフォントや変わったフォントをプログラムが認識するよう学習させることができます。
- ABBYY FineReaderは、デジタルカメラや携帯電話で撮影されたテキスト文書の写真を認識できます。 画像の事前処理設定を追加使用することで、写真の品質を改善しより正確なOCR結果が得られるようこないます。
- 文書スキャンをはじめ、さまざまなタイプのPDFに対応しています。
- ABBYY FineReaderでは以下の操作が可能です:
 - ○<u>テキストや写真を編集</u>73
 - <u>本文、コメント、ブックマーク、メタデータで</u>55 検索を実行
 - o <u>PDF文書のページを並べ替え</u>79
 - <u>スキャンや写真から</u>57 引用を抽出
 - 文書にコメントや注釈を 50 追加
 - o <u>文書にデジタル署名</u>95
 - <u>パスワードでPDFを</u>99 保護
 - ○文書から機密情報を「□□〕削除
 - <u>長期保存に適したPDFを作成</u> [104] (例:デジタルアーカイブ)
 - <u>PDFフォームに入力</u> [93]。
- <u>同一文書の2つのバージョンを比較して</u>
 「」「」差異を特定*

- ABBYY FineReader 14 は、形式が異なっていても同一文書の2つのバージョンを比較できます。たとえば、 文書のスキャンとWordバージョンとの比較が可能です。
- <u>ABBYY Hot Folderで文書を自動変換できます</u>」。*
- ABBYY Hot Folderは ABBYY FineReader 14 ときに提供されるスケジュール作成アプリケーションで、ユ ーザーが指定したフォルダーで文書を自動的に処理します。
- <u>ABBYY Screenshot Readerなら 画面のどの部分のスナップショットでも撮影できます</u>。スクリーンショッ Hこテキストが含まれている場合は、抽出して編集可能な形式で保存できます。**

* 本機能は、ABBYY FineReader 14 の一部のバージョンではご利用になれません。詳細は、当社ウェブサイト: http://www.ABBYY.com/FineReader をご覧 ぐださい

** ABBYY Screenshot Readerを使用するには、ABBYY FineReader 14のライセンス登録が必要です。

ABBYY FineReaderの新機能

OCRの速度と品質が向上

- 文書の処理がさらに早く テキストの認識がより正確になりました。
- プログラムによるグラフや図表の認識度が向上し、元の形式がさらに保持されるようになりました。
- •数学記号 (シンプルな1行の数式の認識に使用)と英語の転写記号が新たなOCR言語として追加されました。

PDFの作成と変換

- テキストレイヤーを含むPDFの変換が向上しました。元のテキストレイヤーを利用できる場合、プログラムはこれを使用します。
- ABBYY FineReaderで*docx、*xlsx、*rtfなどのOffice文書からPDFを作成したり、複数のファイルを1つのPDFにまとめられるようこなりました。

PDFでの作業

PDFでの作業で威力を発揮するツールが追加され、以下の操作が可能になりました:

- 文書全体を認識・変換せずにさまざまな種類のPDF (スキャンのみのPDFなど)を編集
- PDFの表示、PDF内の検索、テキストのフラグメントを強調表示
- PDFへのコメントやメモを追加、および他のユーザーのコメントに返信
- PDFフォームへの入力と保存
- メタデータの表示と編集
- 文書の本文、コメント、ブックマーク、メタデータに含まれる機密情報の検索と削除
- 文書へのベイソナンバー (訴訟書類番号)の追加
- 文書へのデジタル署名

文書の比較

• 同し文書であれば、形式が異なっていても比較できるようこなりました。たとえば、テキストバージョンと画像 やPDF文書とスキャンの比較が可能です。

PDFのバッチ処理

- さまざまな形式のファイルからPDFを作成
- PDFのバッチ処理:PDF/Aと互換性があるPDFの作成、文書サイズの削減、文書画像の品質改善、PDFのパスワード保護、および機密情報の恒久的な削除。

プログラムの向上にフィードバックをお寄せいただいたすべてのユーザーの皆様に、心よい感謝申し上げます。パワフルな OCRとPDF機能とい新し、組み合わせにより、ABBYY FineReaderがさらにお役に立てることを期待しております。

新規タスクウィンドウ

ABBYY FineReaderを起動すると新しいタスクウィンドウが開きます。ここで簡単に文書を開いたり、スキャン、作成、 比較が可能です。この新規タスクウィンドウが表示されない場合(閉じてしまった、またはWindows Explorerでファ

イルを右クリックしてABBYY FineReaderタスクを開始した)は、メインソールバーの ^{世 新規タスク} ボタンをクリックすれ ばいつでも開くことができます。



文書の処理を開始するには、タスクを選択します:

1. 処理する文書が既にある場合は、

- 左ペインで開くをクリックします。
- 最初に紙の文書をスキャンする必要がある場合は、スキャンをクリックします。
- 同じ文書の2つのバージョンを比較したは場合は、比較をクリックします。
- 保存しておいたPDF文書またはOCRプロジェクトでの作業を再開する場合は、最新をクリックします。
- 2. 右のペインで適切なタスクを選択します。

✓ タスクの上にマウスカーソルを置くとポップアップウィンドウが開き、そのタスケで最も頻繁に使用されるシナリオが 一覧表示されます。
文書の変換



✓ ABBYY FineReaderのタスク設定はすべて、オプション→ ダイアログボックスで指定されています。このダイアログボックスを開くこは、左ペインの下部でオプションをクリックします。

本章の内容

- <u>PDFの表示と編集</u> 15
- <u>**クイック**変換</u> 17
- <u>高度な変換</u> 27
- <u>文書の比較</u> 30
- <u>
 文書のスキャンと保存</u>
 ³³

PDFの表示と編集

ABBYY FineReaderを使えば、どのようなタイプのPDFでも簡単に表示、編集、コメントの追加、内部の検索が可能です。また、紙の文書からスキャンされたため編集可能なテキストが含まれていない PDFファイルでも作業できます。

PDFの表示とコメントの追加

まず新規タスク画面で、開くタブをクリックして PDFを開くをクリックします。選択された文書がPDFエディターで開かれ、表示[48]とコメントの追加が可能になります「59]。

文書内を移動する場合は、ページ「52、ブックマーク」。
、 検索「55、コメント「65」ボタンを使用します。



ABBYY FineReaderでは以下のコメントツールが提供されています:

- 大モの追加 59
- 強調表示 60、下線、取り消し線、テキストの挿入
- <u>描画、線引、</u>621 矢印

```
ABBYY® FineReader 14 ユーザーズ ガイド
```



PDFの編集

ABBYY FineReaderでは以下の編集ツールが提供されています:



以下も参照してください: <u>テキストや写真の編集</u>73 5 <u>写真の挿入と編集</u>76 。

PDF文書の保護 98

ABBYY FineReaderでは以下の操作が可能です:

デジタル署名またはテキス	- 👌 -	┋ॖ データの修正 🔻	機密情報の改ざん
	署名	パスワードのセキュリティー	パスワードで文 書を保護する

以下も参照してください:<u>デジタル署名[95]、PDFからの機密情報の削除[100]、パスワードと許可[</u>99]。

フォームへの入力 🗔

ABBYY FineReaderで、インタラクティブフォームへの入力、保存、印刷が可能です。

インタラクティブフォームが含まれているPDFを開くと入力フィールドが強調表示され、ドロップダウンリストから値を選択 するか情報を入力するよう求められます。

宮欄のフィールドにテキストをタイプするだけでは入力できないフォームの場合は、テキストボックスツールを使用し、
 必要な情報をフォームに上書きします。以下も参照してください: <u>フォームへの入力</u>
 □3〕

■ PDFでの作業に関する詳細は、PDF文書での作業 47 を参照してくださり

クイック変換

ビルトインタスク(開くタブ、新規タスク画面)を使ってPDFまたは画像を変換したり、さまざまな形式のファイルから新し、PDFを作成したりできます。

ファイルの変換

1. まず開くタブをクリックした後、目的のタスクをクリックします:



- PDF に変換する*.docx、*html、*jpegなどのファイルからPDFを作成します。このタスクを使って複数のファイルを1つのPDFにまとめることもできます。
- Microsoft® Word に変換する PDFや画像 ファイルからWord 文書を作成します。また、このタスクを使って複数のファイルを1つのMicrosoft Word 文書にまとめることもできます。
- Microsoft Excel® に変換する PDFや画像 ファイルか Excel スプレッドシートを作成 します。また、このタスクを使って複数のファイルを1つのExcel 文書にまとめることもできます。
- その他の形式に変換するPDFや画像ファイルをよく使われる形式(*odt、*pptx、*epub、*html など)に変換します。

2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。

3. 希望する変換設定 を選択します	4. ファイルを追加ま たは削除する			
ABBYY FineReader 14	X			
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルブ(H)	🌟 この製品を評価			
▲ 新しいタスク				
PDF に変換する				
画像品質 バランス保持	Document 1.docx			
	Document 2.xlsx			
□ PDF/A文書を作成	Document 3.txt			
MRC 圧縮を使用する	Scan.png			
OCR言語 English (SER); フランス語 〜	」 すべてのファイルを 1 つの文書に結合しま す			
画像の予備処理設定 詳細オブション				
PDF に変換する キャンセル				
5. 変換ボタンをク リックします				

- 3. 変換設定を指定します。 これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 次に < format > に変換 ボタンをクリックします。
- 6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーに結果ファイルが配置されます。

ファイルの結合

- 1. まず開くタブをクリックした後、目的のタスクをクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
- 3. 変換設定を指定します。

4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。

	<mark>5.</mark> 結合する前にファイルの 序を変更することができます
ABBYY FineReader 14	– 🗆 X
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)	🌟 この製品を評価
▲ 新しいタスク	
PDF に変換する	
画像品質 バランス保持 ~	Document 1.docx
全文検索:	Document 2.xlsx
元の文書のまま ~ PDF/A文書を作成	Document 3.txt
☑ MRC 圧縮を使用する	Scan.png
OCR言語 English (SER); フランス語 〜	」すべてのファイルを1つの文書に結合しま 」 す
画像の予備処理設定	
<u>iii 細オブション</u>	
PDF に変換する	
キャンセル	

- 5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、すべてのファイルを1 つの文書に結合します オプションを選択します。
- 6. 次に < format > に変換 ボタンをクリックします。
- 7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。

タスクが完了すると指定されたフォルダーに結果ファイルが配置されます。

?レイアウトが複雑な大型文書には高度な変換[27]を使用します。

☑以下も参照してください::

- <u>PDF文書の作成</u>21
- <u>Microsoft Word文書の作成</u>23
- Microsoft Excelスプレッドシートの作成 25

• <u>その他の形式</u>26

PDF文書の作成

「新規タスクウインドウで、以下の操作を実行できます:

- さまざまな形式のファイルからPDFを作成
- 複数のファイルをPDFに変換
- 複数のファイルを1つのPDFに結合
- 検索可能なPDFを作成
- PDF/Aと互換性がある文書を作成

ファイルの変換

- 1. まず開くタブをクリックし、 PDF に変換するをクリックします。
- 2. 開したダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
- 3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 3.1.画像品質 写真の品質と結果ファイルのサイズは、画像品質 ドロップダウンメニューのオプションを使って微調整できます:

最高の品質

写真やページ画像の品質を保持する場合は、このオプションを選択します。元の解像度が維持されます。

• バランス保持

写真の品質をあまり落とすことなく出力PDFファイルのサイズを縮小させる場合は、このオプションを選択します。

- コンパクトサイズ 写真の品質を落として小さ、サイズのPDFファイルを取得する場合は、このオプションを選択します。
- カスタム…
 写真の保存をカスタマイズする場合は、このオプションを選択します。まずカスタム設定ダイアログボックスで、目的の値を指定してOKをクリックします。
- 3.2.全文検索出力文書内でのフルテキスト検索を有効、または無効にする場合は、このドロップダウンメニューを使いします:
 - 元の文書のまま画像上のテキストは認識されません。出力文書内の検索は、元の文書にテキストレイヤーがある場合のみ可能です。
 - **テキストや画像内で検索する**画像上のテキストも認識されます。出力文書内の検索も可能です。

- 全文検索を無効にする文書は画像のみのPDFに変換されます。出力文書内の検索は実行で きません。
- 3.3.**PDF/A文書を作成** PDF/Aと互換性がある文書を作成する場合は、このオプションを選択します。 デフォルトではPDF/A-2b文書が作成されます。まず 詳細オプション …をクリックし、別のバージョンの PDF/Aを選択します。
- 3.4. MRC 圧縮を使用する画像品質を大幅に落とすことなくファイルサイズを縮小させるようMRC(Mixed Raster Content)圧縮を適用する場合は、このオプションを選択します。
- 3.5.0CR言語文書の言語を選択します。以下も参照してください:認識言語22%。
- 3.6.**画像の予備処理設定**…ここでは、スキャンや画像ファイルの外観や変換品質を向上させる追加操作をいつか指定できます。以下も参照してください:画像処理のオプション

3.7.詳細オプション...まず PDF 204 タブ (音式設定 204) ダイアログボックス)を開きます。

- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 次にPDF に変換するボタンをクリックします。
- 6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーにPDF文書が配置されます。

ファイルの結合

- 1. まず開くタブをクリックし、 PDF に変換するをクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
- 3. 次に変換設定を指定します 211。
- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、すべてのファイルを1 つの文書に結合します オプションを選択しま す。
- 6. 次にPDF に変換するボタンをクリックします。
- 7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーにPDF文書が配置されます。

Microsoft Word文書の作成

「新規タスクウィンドウで、PDFや画像からおよびサポートされている形式のファイルからMicrosoft Word文書を作 成できます 225 複数のファイルを変換して1つのMicrosoft Word文書に結合させることもできます。

ファイルの変換

- 1. まず開くタブをクリックし、変換後の形式 Microsoft Word をクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
- 3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

3.1.フォーマットを保持する。

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

正確なコピー

出力される文書の外観はほとんど元の文書と同じですが、編集のオプションは制限されます。

• 編集可能コピー

出力される文書の外観は元のファイルと若干異なる場合がありますが、文書自体は簡単に編集できます。

• フォーマット済みテキスト

フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。出力テキストは1つの列に配置されます。

- プレーンテキスト 段落の書式設定のみ保持されます。出力テキストは1つの列に配置され、全体で単一のフォントが 使用されます。
- 3.2.0CR言語文書の言語を選択します。以下も参照してください:認識言語22%。
- 3.3.画像を保持する出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。
- 3.4. ヘッダー、フッター、ページ番号を維持するヘッダー、フッター、ページ番号を保持したし場合はこのオ プションを選択します。

3.5. 詳細オプション …まず DOC(X)/RTF/ODT 200 タブ (言式設定 204) ダイアログボックス)を開きます。

- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 次にWord に変換するボタンをクリックします。
- 6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーにMicrosoft Word文書が配置されます。

ファイルの結合

1. まず開くタブをクリックし、変換後の形式 Microsoft Word をクリックします。

- 2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
- 3. 次に変換設定を指定します 23 。
- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、すべてのファイルを1 つの文書に結合します オプションを選択します。
- 6. 次にWord に変換するボタンをクリックします。
- 7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーにMicrosoft Word文書が配置されます。

Microsoft Excelスプレッドシートの作成

その後、新規タスクウインドウで、PDFや画像からおよびサポートされている形式のファイルからMicrosoft Excel文 書を作成できます 225 。複数のファイルを変換して1つのExcel文書に結合させることもできます。

ファイルの変換

- 1. まず開くタブをクリックし、変換後の形式 Microsoft Excel をクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
- 3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

3.1.フォーマットを保持する。

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- フォーマット済みテキスト フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。
- プレーンテキスト
 段落のみ保持されます。全体に単一のフォントが使用されます。
- 3.2. OCR言語 文書の言語を選択します。以下も参照してください: 認識言語 22%。

3.3.画像を保持 (XLSX のみ) 出力文書に写真を保持したい 場合はこのオプションを選択します。

3.4.ページごとこ別のシートを作成する(XLSXのみ)元の文書のページごとこMicrosoft Excelスプレッドシートを作成したい場合は、このオプションを選択します。

3.5. 詳細オプション …まず XLS(X) 211 タブ (<u>言式設定</u> 204) ダイアログボックス)を開きます。

- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 次に Excel に変換する ボタンをクリックします。
- 6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーにMicrosoft Excelファイルが配置されます。

ファイルの結合

- 1. まず開くをクリックし、変換後の形式 Microsoft Excel をクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
- 3. 次に<u>変換設定を指定します</u>25。
- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、すべてのファイルを1 つの文書に結合します オプションを選択します。

- 6. 次に Excel に変換する ボタンをクリックします。
- 7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。 タスクが完了すると指定されたフォルダーにMicrosoft Excel文書が配置されます。

その他の形式

その後、新規タスクウインドウで、PDFや画像をよく使われる形式 (*pptx、*odt、*html、*epub、*fb2、*rtf、 *.txt、*csv、*djvu)に変換したり、複数のファイルを1つの文書に結合させることができます。

ファイルの変換

- 1. まず開くタブをクリックし、変換後の形式その他の形式をクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
- 3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 3.1.出力フォーマットを選択するファイル変換後の形式を選択します。

3.2.OCR言語 文書の言語を選択します。以下も参照してください: 認識言語 22%。

3.3. 詳細オプション …これによって 書式設定 204 ダイアログボックスの対応するタブが開きます。

- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 次に < format > に変換 ボタンをクリックします。
- 6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。
 タスクが完了すると指定されたフォルダーに結果ファイルが配置されます。

ファイルの結合

- 1. まず開くタブをクリックし、変換後の形式その他の形式をクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
- 3. 次に<u>変換設定を指定します</u>261。
- 4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
- 5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、すべてのファイルを1 つの文書に結合します オプションを選択します。
- 6. 次に < format > に変換 ボタンをクリックします。
- 7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。
 タスクが完了すると指定されたフォルダーに文書が配置されます。

高度な変換

ABBYY FineReaderには、高度なOCRと変換機能を提供するOCRエディターが Bash ています。 OCRエディター

によって、認識エリアの確認、認識されたテキストの検証、OCR精度向上のための画像事前処理などを実行できま

す。

OCRエディターはまた、最高の結果が得られるようOCRと変換を微調整できるパワフルな機能が提供されています。た とえば認識エリアを編集したリ「127」、認識されたテキストを確認したリ「145、非標準文字やフォントを「137]認識できるよう 学習させることができます。

- 1 OCRエディターを開く方法はいくつかあります:
 - まず、以下の順にクリックして新しいタスク 13 ウィンドウを開きます:ファイル > 新規タスク そして 開くタブを選択して、OCRエディタで開くタスクをクリックします。
 - まず新しいタスクウインドウを開き、ツール > OCRエディタとクリックします。
 - まず新しいタスクウインドウを開き、ファイル > OCRエディタで開くとクリックします。
- 2 次に**画像を開く**ダイアログボックスで、開きたいファイルを選択します。 デフォルト設定を使用している場合、ABBYY FineReaderは開かれているファイルを自動的に分析および 認識します。これらの設定は、**画像処理** タブ(オプションダイアログボックス)で変更できます。このダイア ログボックスは、ツール > オプション …とクリックして開きます。



3 文書を開くと、その画像が画像ペインに表示され、画像上でテキスト、写真、表、バーコードエリアがマー クされます。エリアが正確に検出されたかどうか確認し、必要であれば編集します。 ABBYY FineReaderは文書を分析し、テキスト、写真、表、バーコードを含んでいるエリアを検出します。

複雑な文書ではエリアか誤って検出されることもあります。大半の場合、すべてのエリアを手動で設定するより、自動検出されたエリアを修正するほうが簡単です。

エリアの設定や編集のためのツールは画像ペイン上部のソールバーにあります。このツールバーはテキスト、写真、背景の写真および表エリアを選択するとその上に表示されます。

これらのツールを使って以下の操作を実行できます:

- エリアを追加および削除
- エリアのタイプを変更
- エリアの境界線を調整してエリア全体を移動
- エリアに対して長方形のパーツを追加または削除
- エリアの順序を変更
- 4 エリアに何らかの変更を加えた場合は、メインソールバーの認識ボタンをクリックして文書を再認識させます。
- 5 認識されたテキストをテキストペインで確認し、必要であれば修正します。
- 6 <u>認識された文書を保存します</u> (*2)、文書の保存形式は、メインソールバーの保存/送信ボタンのドロップ ダウンリストで選択できます(ドロップダウンリストはこのボタンの横にある矢印をクリックすれば開きます)。

■ OCRエディターとその機能に関する詳細はOCRエディターの操作 100 を参照してください

文書の比較

(本機能はABBYY FineReader 14 の一部のバージョンではご利用になれません。以下も参照してください: http://www.ABBYY.com/FineReader。)

ABBYY FineReaderには、形式が異なっていても同一文書の2つのバージョンを比較できるABBYY ドキュメントの比較が含まれています。このアプリケーションは2つのバージョンの差異を自動検出するため、元の文書に加えられた変更を瞬時かつ的確に把握できます。本機能は、署名や公開する前に文書を見直したい場合など、さまざまな状況で役立ちます。

ABBYY ドキュメントの比較は複数の方法で開始できます:

- まず新しいタスク
 すシドウを開き、比較タブを選択して「ABBYY ドキュメントの比較を開く」をクリックします。
- 次に、Windowsで[スタート] ボタンをクリックし、次の順にクリックします: ABBYY FineReader 14 >

ABBYY ドキュメントの比較 (Windows 10では、[スタート] ボタンをクリックしてスタートメニュー のすべてのプログラム アイテムを選択した後、ABBYY FineReader 14 > ABBYY ドキュメントの比較 どクリックします)。

- •次にドキュメントの比較 (ツールメニュー)をクリックします。
- Windows Explorerでファイルを右クリック 104 して、ショートカットメニューのドキュメントの比較 …をクリック します。

以下の説明に従って2つの文書を比較します。



- 1. ABBYY ドキュメントの比較を起動し、比較する文書の一方のバージョンを左のペインに開いて、他方のバージョンを右のペインに開きます。
- 2. その後、比較ペインで、ドロップダウンリストから文書の言語を選択します。

3. 次に比較ボタンをクリックして文書を比較します。

6. 差異を注釈付きPDF 文書として保存します	5. 差異を表示(します	<mark>6.</mark> 差異をN 文書として	licrosoft Word :保存します
2 Document#1.pdf / Document#2.docx -	- ABEYY ドキュメントの比較			- 🗆 X
フ <mark>ァ</mark> イル(F) 編集(E) 表示(W) 比較(C)	へ <mark>ル</mark> プ(H)			🔶 この製品を評価
C: User\Document#1.pdf 🔻 📗	C:\Js\Document#2.docx		比較	差異 (17)
(∃) 4/4 - ↔ + ≠	(☐) 3/3 - ↔ +	4	↓ ↑ 🗋 🕒) :=
^ ∧yğ−	∧9ダ−	^	▼本文テキスト (9))
The Graymy 5.4. The system of the parts of the Grayman Distribution of the system of t	3.4. The equitors of this section this type of the destination of the equity of the section of the equity of th	It aligned as less allocat les plans allocat les plans des or totalites or part et la deallo secondates or allocates allocates et la deallo company a P.O.	← 削除済みテキスト Signature:	ぺ−ジ4 <> 3 ^
 Manifestion on the device of th	Burgers and State States and S	Annual and Annual Annua	編集済みテキスト ← 10.LAW → LAW	ページ4 <> 3
 BLARANCE COMPAREMENTS Status et al. (1998) and (1999) and (1998) and (1999) and (199	personal and a manufacture series that an analysis and a manufacture series of the ser	needlen for the The Agreement of 1 The additional distance with and distance with and distance with and market spacetime	→ 追加済みテキスト The Company	ページ4 <> 3
b all pan abatar fan pakan kant kant kan da anakar fan langan set i ban angan an ita bay angan ka ka Tan Dangan Yu Kalan Sinakaran Tangan Sinakaran Tangan set	Na Salawinin Ya Canjuli Ya Canjuli Ya Kala Caufana A ya Kina Kina Ya Kina Caufana A ya Kina Kina Ya Kina Kina Kina Kina Kina Kina Kina Ngaka	-	→ 追加済みテキスト Title: Chief Technical C	ページ4 <> 3 fficer Signature:
×		~	 ヘッダーおよびフッ +>」パリンガ (7) 	오- (1)
< >	<	>	·) DAUDU (/)	

4. ABBYY ドキュメントの比較が検出した差異を確認します。

2バージョン間の差異は各バージョンで強調表示され、右パネルに一覧表示されます。これにより、文書に 加えられた変更を明確に把握できます。また、各バージョンで追加、削除、編集されたテキストの表示が 簡単になります。両方のページが同時にスクロールし、同一のフラグメントは常に横並びで表示されます。 差異は、リストから削除したリクリップボードにコピーしたりできます。

☑ 「ストから削除された差異は差異レポートに保存されません。

- 5. 差異レポートを保存します。保存方法は2つあります:一方のバージョンをPDF文書として保存してすべての差異がコメントで表示されるようこするか、差異をMicrosoft Word文書に保存します。
- 図同一文書の2つのバージョンの比較に関する詳細はABBYY ドキュメントの比較Ⅲ を参照してくださし

文書のスキャンと保存

さまざまな形式のデジタル文書を作成する場合は、スキャンタブ(新規タスクウィンドウ)にあるタスクを使用できます。文書画像を取得するため、スキャナーまたはデジタルカメラが必要です。

1. まず スキャン タブを選択してタスクをクリックします:



- OCRエディタにスキャンがOCR Editor 100 でスキャンを開きます。
- PDF 形式でスキャンスキャナーやデジタルカメラから取得された画像からPDFを作成します。
- Microsoft Word 形式でスキャンスキャナーやデジタルカメラから取得された画像からMicrosoft Word文書を作成します。
- Microsoft Excel 形式でスキャンスキャナーやデジタルカメラから取得された画像からMicrosoft
 Excel文書を作成します。
- **画像ファイル形式でスキャン**スキャナーやデジタルカメラから取得された画像から画像のみの文書を作成します。

• その他の形式でスキャンするスキャナーやデジタルカメラから取得された画像からよく使われる形式 (*odt、*pptx、*epub、*htmlなど)の文書を作成します。

 タスク設定を指定する 	2. デバイ 設定を指	スを選択してスキャン 定します	
ABBYY FineReader 14			– 🗆 X
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H))		🔶 この製品を評価
< 新しいタスク			
PDF 形式でスキャン	CanoScan LiDE 110 (TWAIN)	・ 明るさ 300 dpi	
— 画像品質			· · · · ·
パランス保持 🗸 🗸			ĭ
	Digital Camera	AllETY Profileader OCK	
🗹 MRC 圧縮を使用する	Uning Daplet Careken to Trips & Trips for the Pooling Trips & Trips for the Pooling Alternative Way to	The second secon	
── ☑ 画像のテキストを認識する		A SIDITION TO COUNTED SUBJECT ON TO COME You you own 'subject that your appler aments sub-construct star which normally would be increased.bit? "Whit one Additive Prantitisate: DOIT and the addition is adjective increased.bit White the Additive is made, it's walky time to these answer it	
OCR言語	a spitch branner for bestellt, porter auf das statutes the datasets the Uning Digital Cases	Digital carlosis and insuring size and mere propile with tool methylogeneity in addition to another if they pind and any pind annual in checks. Then, with addition frankmere GOR, pind and point annual then for eding, instruming, creating new counterful and bit offer payment. erm to Candrere Text	
English (SER); フランス語 ~	A digital cannot be used put to consort a distance methy device in Address 1 and to consort a distance in Address 1 and to consort a distance of the consort and the tot consort and the tot consort and the tot consort and the tot consort and the tot consort and the tot consort tot consort and the tot consort tot consort and the tot consort tot consort and the tot c	I diffusion to a scatter, Pyru deri nami to deal with a polareer tack tyre area torrent in a test fits, spocality if yis, durit is if usry affes. Carriels images use to involvable CCC. And fits for processing biologic CCC and the spocality of the spocality of the spoce and interface biologic CCC. In a little processing the spocality of the spocality of the biologic CCC. The spocality of the	
	control & location 4.2 (How the non-strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the strength of the streng	and of the offset in transmiss, or a harmonic type and inset in splate have the probability distance allowers and the offset of the offset of the offset of the offset of the offset of the offset of the offset of the one real to all a displate interval and in constraints, the data and distance and the offset offset of the one allower of the offset of the data the splate and independent services of even of the one of the one offset ones plate and independent services of even of the one of the one offset ones.	
PDF 形式でスキャン			1
キャンセル		プレビュー <u>(Ρ)</u>	
6. スキャンボタン をクリックします	4. 画像を確認します 3 を	」 .プレビューボタン &クリックします	

- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します
- 3. プレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更してプレビューボタンを再度クリックします。
- 5. 選択された形式に固有の設定を指定します。 これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
- 6. <format>にスキャンボタンをクリックします。
- 7. スキャンが開始されると進捗バーととことがダイアログボックスに表示されます。
- ページがスキャンされるとダイアログボックスに次の操作を決定するよう求めるメッセージが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了をクリックします。
- 9. 手順1で選択したタスクに応じて、スキャンされた画像は:
 - 処理された後、OCRエディター「100 のOCRプロジェクトに追加されます。

- 処理された後、PDFに変換されます。生成される文書を保存したいフォルダーを指定します。文書は OCRエディターで開かれたままとなります。
- 処理された後、選択された形式に変換されます。生成される文書を保存したいフォルダーを指定します。文書はOCRエディターで開かれたままとなります。

☑以下も参照してください:::

- OCR IF19-107 36
- <u>PDF~07++2</u>38
- <u>Microsoft Wordへのスキャン</u>40
- <u>Microsoft Excel \OZ++></u> 42
- <u>画像ファイルへのスキャン</u>441
- <u>その他の形式へのスキャン46</u>

OCRエディターへのスキャン

スキャナーやカメラからの画像をOCRエディターで開き、以下の操作を実行できます:

- 認識エリアを手動で描いて編集する
- 認識されたテキストを確認する
- 非標準文字やフォントを認識できるよう ABBYY FineReaderを学習させる
- 最高のOCR結果を得られるよう その他の高度なツールを使用する
- 1. まず 新規 タスク ウインドウを開き、次に スキャン タブを選択して、OCR エディタにスキャン タスクをクリック します。
- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して プレビュー ボタンを再度 クリックします。
- 5. 事前処理設定および自動設定を指定します。
 - 5.1.ページ画像が追加されたら自動で処理する

このオプションによって、新しく追加されたページの自動処理が有効、または無効になります。自動処理が有効になっていれば、画像をスキャンしたり開く時に適用する文書処理の一般オプションや画像の事前処理を選択できます。

• ページ画像を認識する

FineReaderが事前処理設定 ダイアログボックス (このダイアログボックスを開くには下のリンクをクリック) 画像の予備処理設定 (変換およびOCRに適用) で指定した設定を使い、新しく追加された画像を自動的に事前処理するようにしたい場合は、このオプションをオンにします。分析と認識 も自動的に実行されるようこなります。

- ページ画像を分析する 画像の事前処理と文書の分析を自動的に実行しますが、認識は手動で開始する必要があります。
- ページ画像の事前処理

画像を自動的に事前処理します。分析と認識は手動で開始する必要があります。

5.2.OCR言語

文書の言語を指定するには、このオプションを使用します。以下も参照してください: 認識言語[22]
5.3.画像の前処理設定 ...

まず事前処理設定ダイアログボックスを開き、ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: <u>画像処理のオプション</u>2371。

5.4.詳細オプション...

まず 画像処理 [201] タブオプション ダイアログボックス)を開きます。 このダイアログボックスは、オプション …を ツール メニュー でクリックしても開きます。

- 6. 次に**スキャン**をクリックします。
- 7. 進捗ダイアログボックスが表示され、進捗バーやヒントが表示されます。
- ページがスキャンされると次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了をクリックします。
- 9. スキャン処理が完了すると、スキャンされた画像はOCRエディターのOCRプロジェクトに追加され、既に指定した事前処理設定と自動設定を使って処理されます。

■ OCRエディターとその機能に関する詳細はOCRエディターの操作 100 を参照してくださし

PDFへのスキャン

「PDF 形式でスキャン タスク(新規 タスク ウィンドウ)で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像からPDFを作成できます

- 1. まず新規タスクウインドウを開き次にスキャンタブを選択して、PDF形式でスキャンをクリックします。
- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更してプレビューボタンを再度クリックします。
- 5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 5.1. 画像品質 このオプションによって画像や写真の品質が決定し、生成される出力ファイルのサイズが変わってきます。使用できる品質設定は以下のとおりです:

最高の品質

写真やページ画像の品質を保持する場合は、このオプションを選択します。元の解像度が維持されます。

• バランス保持

写真の品質をあまり落とすことなく出力PDFファイルのサイズを縮小させる場合は、このオプションを選択します。

- コンパクトサイズ 写真の品質を落として小さ、サイズのPDFファイルを取得する場合は、このオプションを選択します。
- カスタム …

写真の保存をカスタマイズする場合は、このオプションを選択します。次に、カスタム設定 ダイアロ グボックスで、目的の値を指定してOK をクリックします。

5.2.PDF/A文書を作成

PDF/Aと互換性がある文書を作成する場合は、このオプションを選択します。

5.3.MRC 圧縮を使用する

画像品質を大幅に落とすことなくファイルサイズを縮小させるようMRC(Mixed Raster Content)圧縮 を適用する場合は、このオプションを選択します。

5.4. 画像のテキストを認識する

OCRが自動的に開始されるようにするには、このオプションを選択します。

5.5.OCR言語

文書の言語を指定するには、このオプションを使用します。以下も参照してください: 認識言語[28]

0

5.6.**画像の予備処理設定** ...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定する場合は、このオプションを使用します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: <u>一像処理のオプション</u>

5.7.詳細オプション...

まず PDF 2041 セクション (書式設定 2041、オプション ダイアログボックス内)が開き、ここで追加設定を 指定できます。このダイアログボックスは、オプション ...をツール メニューでクリックしても開きます。

- 6. 次にPDF 形式でスキャンをクリックします。
- 7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーととことが表示されます。
- ページがスキャンされると次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了をクリックします。
- 9. スキャンが完了すると スキャンされた画像は指定した設定によって処理され、PDFに変換され、OCRエディ ターで開かれます。
- 10. 生成されるPDFを保存したいフォルダーを指定します。

Microsoft Wordへのスキャン

「Microsoft Word 形式でスキャンタスク(新規タスクウインドウ)で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像からMicrosoft Word文書を作成できます。

- 1. まず 新規 タスク ウィンドウを開き、次に スキャン タブを選択して、 Microsoft Word 形式 でスキャン タ スクをクリックします。
- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更してプレビューボタンを再度クリックします。
- 5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 5.1.フォーマットを保持する

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

正確なコピー

出力される文書の外観はほとんど元の文書と同じですが編集のオプションは制限されます。

• 編集可能コピー

出力される文書の外観は元のファイルと若干異なる場合がありますが、文書自体は簡単に編集できます。

- フォーマット済みテキスト
 フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。出力テキストは1つの列に配置されます。
- プレーンテキスト 段落の書式設定のみ保持されます。出力テキストは1つの列に配置され、全体で単一のフォントが 使用されます。

5.2.OCR言語

文書の言語を選択します。以下も参照してください: 認識言語 22%。

5.3.**画像を保持する**

出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。

5.4.ヘッダー、フッター、ページ番号を維持する

ヘッダー、フッター、ページ番号を保持したい場合はこのオプションを選択します。

5.5.**画像の予備処理設定**...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: 画像処理のオプション

5.6.詳細オプション...

まず DOC(X)/RTF/ODT 200 セクション (
書式設定 204 タブ、オブション ダイアログボックス)で選択さ れた設定でセクションが開きます。このダイアログボックスは、オブション …を ツール メニューでクリックして も開きます。

- 6. 次にScan to Word をクリックします。
- 7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーととことが表示されます。
- ページがスキャンされると次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャンをクリックしょ ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了
- 9. Microsoft Word文書を保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると指定されたフォルダーにMicrosoft Word文書が作成されます。文書のページはすべて、OCRエディターでも開かれます。

Microsoft Excelへのスキャン

「Microsoft Excel 形式でスキャンタスク(新規タスクウインドウ)で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像からMicrosoft Excel文書を作成できます。

- 1. まず 新規 タスク ウインドウを開き、次に スキャン タブを選択して、Microsoft Excel 形式 でスキャン タ スクをクリックします。
- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更してプレビューボタンを再度クリックします。
- 5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 5.1.フォーマットを保持する。

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- フォーマット済みテキスト フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。
- プレーンテキスト
 段落のみ保持されます。全体に単一のフォントが使用されます。
- 5.2.OCR言語

文書の言語を選択します。以下も参照してください: 認識言語 22%。

5.3.XLSX 設定:

画像を保持する

出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。

• 各ページのシートを個別に作成

元の文書のページごとしMicrosoft Excelスプレッドシートを作成したい場合は、このオプションを選択します。

5.4.**画像の予備処理設定**…

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定する場合は、このオプションを使用します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: <u>画像処理のオプション</u>

5.5.詳細オプション...

まず XLS(X) [211] セクション(書式設定 [204] タズ、オプションダイアログボックス)が開き、ここで追加設 定を指定できます。このダイアログボックスは、オプション …を ツール メニューでクリックしても開きます。

6. 次に Scan to Excel をクリックします。

- 7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーととことが表示されます。
- ページがスキャンされると次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了をクリックします。
- 9. Microsoft Excel文書を保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると指定されたフォルダーにMicrosoft Excel文書が作成されます。文書のページはすべて、OCRエディターでも開かれます。

画像ファイルへのスキャン

「画像ファイル形式でスキャンタスク(新規タスクウィンドウ)で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像から画像のみの文書を作成できます。

- 1. まず スキャン タブを選択して、画像ファイル形式でスキャン タスクをクリックします。
- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して プレビュー ボタンを再度 クリックします。
- 5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

5.1. 画像 フォーマットの選択

この設定を使って、目的の画像ファイル形式を選択します。

5.2.**圧縮**

TIFF形式を選択した場合は、スキャンした画像を圧縮できます。画像を圧縮すればファイルサイズが小さくないます。

圧縮方法によってデータの圧縮率が異なるため、データロス(画像品質の劣化)につながる場合もあります。 圧縮方法を選択する際は、出力ファイルの画像品質とそのサイズというつの要素を考慮しておく 必要があります。

ABBYY FineReaderで使用できる圧縮方法は以下のとおりです:

• PACKBITS

データロスを発生させず、白黒スキャンの圧縮に最適です。

• JPEG (JFIF フォーマット)

この方法は、写真などのグレースケールおよびカラー画像の圧縮に使用されます。画像は大幅に圧縮されますが、データロスが一部発生することになります。これにより、画像品質が劣化します(ぼけ、および彩度の低下)。

- ZIP データロスを発生させず、単色部分を多く含むスクリーンショットや白黒画像に最適です。
- LZW

データロスを発生させず、ベクターグラフを持つ画像やグレースケールの画像に最適です。

5.3.**画像の予備処理設定** ...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: <u>画像処理のオプション</u>ない

- 6. まず < format > にスキャンをクリックします。
- 7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーととことが表示されます。

- ページがスキャンされると次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了をクリックします。
- 9. 出力ファイルを保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると指定された形式の出力ファイルが指定されたフォルダーに配置されます。文書のページはすべて、 OCRエディターでも開かれます。

その他の形式へのスキャン

「その他の形式でスキャンするタスク(新規タスクウインドウ)で、スキャナーやデジタレカメラから取得した画像から、よく使われる形式 *.pptx *.odt *.html *.epub *.fb2 *.rtf *.txt *.csv *.djvu で文書を作成できます。

- 1. まず 新規 タスク ウインドウを開き、次に スキャン タブを選択して、その他の形式でスキャンする タスクを 選択します。
- 2. デバイスを選択してスキャン設定を指定します「194]。
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更してプレビューボタンを再度クリックします。
- 5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 5.1.出力フォーマットを選択する

このオプションを使って、目的の出力ファイル形式を選択します。

5.2.OCR言語

文書の言語を選択します。以下も参照してください: 認識言語 22%。

5.3.**画像の予備処理設定** ...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: <u>画像処理のオプション</u>ない

5.4.詳細オプション...

によって、
書式設定
204 タブ(オブションダイアログボックス)で選択された設定でセクションが開きます。このダイアログボックスは、オブション…をツールメニューでクリックしても開きます。

- 6. 次に < format > にスキャンをクリックします。
- 7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーととことが表示されます。
- ページがスキャンされると次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
 現在の設定でスキャンを続行する場合は再スキャンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合はスキャン修了をクリックします。
- 9. 出力ファイルを保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると指定された形式の出力ファイルが指定されたフォルダーに配置されます。文書の画像はすべて、 OCRエディターでも開かれます。

PDFエディター

PDFエディターはPDF文書を表示、検索、並べ替え、追加、削除、ページの追加または削除、テキストおよび写真のコ ピー、テキストの編集、文書へのコメントの追加等を実行できる簡単に使用できるツールです。テキストレイヤーのス キャンのみが含まれる場合には、PDFを編集可能な形式に変換する必要はありません。

本章の内容

- <u>PDF文書の表示</u> 48
- <u>PDF文書の確認</u> 59
- <u>PDFでの作業</u>72
- <u>フォームへの入力</u> [93]
- デジタル署名でPDF文書に署名 94
- <u>PDF文書をパスワードで保護</u>98
- <u>PDF文書の作成</u>101
- <u>PDF文書の保存とエクスポート102</u>

PDF文書の表示

PDFエディターを使用して、PDF文書を表示、検索を行った以 PDFに含まれるテキスト、写真、表のコピーを実行できます。

PDFエディターでPDF文書を開くには:

- 新しいタスク 13 ウインドウで開くタブをクリックし、PDFを開くタスクをクリックします。
- ペインを開きます新しいタスクウインドウを開き、次のようにクリックします:ファイル > PDFを開く..。

文書はPDFエディターで開かれます。



文書の表示方法をカスタマイズするには、次の設定を使用します。

• 表示モードはページが表示、スクロールされる方法を変更します。

以下も参照してください:<u>表示モート400</u>

• ズーム機能を使用して、ズームイン、ズームアウトできます。



- •実サイズページを100%で表示します。
- •幅に合わせる文書が表示される縮尺を変更し、文書の幅が画面に合うようにします。
- ウィンドウに合わせる文書が表示される縮尺を変更し、文書の高さが画面に合うようにします。
- 縮小/拡大 縮尺を手動で調整することができます。

☑ PDFツールのツールバーを表示 俳表示するには、メインソールバーの PDFツール メインツールバーで、ボタンをクリックします。

本章の内容

- <u>表示モード</u>49
- <u>PDF文書内の移動</u> 52
- <u>背景認識</u> 54
- <u>キーワード検索</u>55
- <u>PDF文書からのコンテンソのコピー</u>57
- <u>PDFのセキュリティ機能</u> 58

表示モード

PDFエディターには文書の表示、スクロール方法を決定する表示モードは4つあります:

1ページに表示 1ページを表示し、その他のページを非表示にします ワンページスクロールページを連続表示し、1つのページの終わりに次のページの始まりが表示されます。 2ページに表示 奇数のページを左に、偶数のページを右に配置して横並びに表示します。 2ページスクロール2ページを横並びに表示し、後続のページはスクロールすると表示されます。

表示モードを変更する方法はいくつかあります:

• 画面下部のソールバーのボタンのいずれかをクリックします:



- をクリックします表示 > 表示モードそして、いずれかの表示モードを選択します。
- 以下のキーボードショートカットを使用します: Ctrl+1、Ctrl+2、Ctrl+3、Ctrl+4。

全画面モード

PDFエディターには全画面表示モードがあり、文書が全画面に表示されパネルやツールバーは表示されません。 全画面モードにするには、以下のいずれかを実行してください:

- □ 画面下部のツールバーの、ボタンをクリックします。
- をクリックします 表示 > 全画面。
- F11 F11。

全画面モードでは、以下を実行できます:

- 文書をスクロールします。
- コメントの表示 (コメントエリアでマウスポインターをコメントを表示する場所に当てます)。
- 表示モードと縮尺の変更。
 図 表示オプションがある下部のソールバーを表示するには、マウスポインターを画面の下端に移動します。

全画面表示で文書を右クリックし、ショートカットメニューのコマンドを使用して以下を実行します:

- コメント 59 およびテキスト挿入ポイントの追加
- ブックマークの作成 <u>ブックマーク</u>⁸⁴
- <u>テキストや写真の編集</u>

全画面モードを終了するにはF11 またはEsc。

PDF文書を読む際にツールバーとペインを非表示にする

PDFエディターで文書を読む際、ツールバーやペインの一部または全部を非表示にして文書にできるだけ広い画面範囲を使用したいと考えるかもしれません。メニューバー、メインツールバー、画面下部のツールバーは別々に非表示にはできせんが、すべてのツールバーおよびペインを非表示するために全画面モードを使用することができます。

以下のソールバーやペインを非表示にできます:

- ナビゲーションペインを非表示にするにはF5 を押すか、をクリック表示してナビゲーションペインの表示オプションをクリアします。
- PDFツールバーを非表示にするにはF6製品内で次のようこクリックしてください。表示してPDFツールの表示オプションをクリアします。
- コメントペインを非表示にするには F7 製品内で次のようこクリックしてください。表示してコメントペインの表示オプションをクリアします。

ナビゲーションペイン、PDFツールバー、コメントペインを非表示にしたPDFエディター:



PDF文書内の移動

PDFエディターにはPDF文書内の移動を容易にする様々なツールが含まれます。



- ページペインを使用してページ間を迅速に移動したり、ページの並べ替え、文書のページの追加または削除を実行できます。
- ブックマークペインにはブックマークを作成、編集、移動するためのツールが含まれます。
- 検索ペインを使って、テキストの検索や強調表示を実行できます。
- •添付ペインを使って、添付を表示した「編集したりできます。
- デジタル署名ペインを使って、デジタル署名の表示および削除ができます。

特定のページの表示

PDFエディターは、長い文書での移動を容易にするような複数のソールを提供します。

ページ間を移動する:

- メインソールバーの ↑ ↓ ボタノを使用します。
- をクリックします 表示 > ページに移動 その後次のページ[、]前のページ[、]最初のページ または 最後の ページ。

特定のページを迅速に開く:

- メインソールバーのボックスに目的のページ数を入力して 3 ¹³⁴、 Enter を押します。
- をクリックします表示 > ページに移動 > ページ番号 ... 目的のページ数を入力し、OK をクリックします。

全画面表示でページを移動する:

全画面表示で特定のページを開くには、以下のいずれかを実行します:

- 1. マウスのポインターを画面の下端に移動して、ツールバーを表示します。
- 2. メインソールバーのボックスに目的のページ数を入力して 7 из 34
- 3. Enter を押します。

背景認識

PDFエディターを使用して、スキャンされた文書や画像ファイルから作成された文書などのテキストレイヤーのないPDF文書内のテキストや写真の検索、コピーを実行できます。これは背景で実行されるOCRプロセスのため、実行が可能です。

背景認識はデフォルトでオンになっていて、PDF文書を開く自動で開始されます。



背景認識プロセスはPDFファイルの内容を変更しません。代わりに、一時的にテキストレイヤーを追加します。このテキストレイヤーは他のアプリケーションで文書を開いたときには利用できません。

学 文書を他のアプリケーションで検索可能にしたい場合には、背景認識プロセスで作成されたテキストレイヤーを保存
 する必要があります。これを実行するには、以下の順にクリックします:ファイル > 文書の認識 > 文書の認識 …以
 下も参照してください: <u>テキストの認識</u>√80。

● **重要!** 検索またはコピー機能が適切に機能しない場合には、文書に正し、認識言語が選択されていることを 確認してください。以下も参照してください: <u>OCR前に考慮すべき文書の機能</u>[228]。

ど 背景認識をオフにするには PDF エディタで背景認識をオンにする ダイアログボックスでオプションをオプション 100 ク
リアします。

☑ 背景認識プロセスは、シングルコアプロセッサのコンピュータでは実行できません。

キーワート検索

PDFエディターを使用してPDFファイル内の情報を検索し、強調表示できます。コメント、メタデータおよびブックマークが、文書のテキストと共に検索され、別のパネルに結果が表示されます。検索結果は文書で強調表示され、これらの結果には様々なエフェクトを適用できます。

- 1. 在のペインのタブをクリックするか、次のようこクリックしてペインを開きます:表示 > 検索 どうリックして、検索。
- 2. 検索する単語やフレーズを入力します。 文書内でクエリと一致する単語やフレーズが強調表示されます。

 ✓ 検索結果はグリレープに分けられ、全グリレープを強調表示することもできます。
 ○ 文書テキスト (216)



- 3. 検索オプションを変更するには、検索ボックスの矢印をクリックするか、以下のいずれかを選択できます:
 - 完全一致検索ボックスに入力した語と完全一致の語のみ検索する。
 - 大文字と小文字を区別するケエリの大文字と小文字に一致する単語だけが検索されます。

また、<u>強調表示、取り消し線、下線を</u>配テキスト内の検索結果に適用できます。これを実行するには、検索ペインで、強調表示、取り消し線、下線を引く語を選択してそれぞれのツールをクリックします。

■検索結果を編集することもできます。詳しくは以下を参照してください:PDFからの機密情報の削除「いう」

テキストマークアップで使用される色を変更するには、それぞれのソールの横にある矢印をクリックし、表示されるカラー パレットで目的の色を選択します。



☑ デフォルトでは、ペインのマークアップソール検索は以下のマークアップと同じ色を使用します。PDFツールツールバー。

☑次前の検索結果に移動するには、 ▲ ▲ ボタンを使用します。以下のキーを押すことで、次の検索結果を選択することもできます。F3。

PDF文書からのコンテンツのコピー

PDFエディターを使用してPDF文書のテキスト、写真、表を別のアプリケーションにコピーすることができます。これらの機能は、スキャンのみのPDFも含めすべての種類のPDF文書で使用できます。

以下の手順に従ってテキストをコピーします:

- 1. コピーするテキストを選択します。
- 2. 選択したテキストを右クリックしたら、ショートカットメニューの テキストをコピーする をクリックするか、テキストの上に表示 されるポップアップソールバーのアイコンのいずれかをクリックします。

_	Your	Digital Camera		Ē	۱ <u>س</u>
	Use a	digital camera with 4-megapixel resolution or higher, ideally equipped with the follow Flash disable mode Optical zoom An anti-shake feature Auto focus assist beam or manual focusing Manual aperture control or aperture priority mode	ving	featu	res:

3. 目的のアプリケーションにテキストを貼り付けます。

以下の手順に従って表をコピーします:

- 1. コピーする表を選択します。
- 2. 選択した表を右クリックしたら、ショートカットメニューの表をコピーするをクリックするか、表の上に表示されるポップアップソールバーのアイエンのいずれかをクリックします。 表をコピーする前に、表の上のポップアップソールバーを使用して表を編集できます。表に垂直および水平のセパレーターを追加したり、セパレーターを削除したり、組み合わせた表のセルを分割したりできます。

7	🕨 🌐 🖽	
Google Drive	Bitcasa	ADrive
Dropbox	iCloud Drive	iDrive
Mega	4shared	
Яндекс.Диск	SugarSync	Syncplicity
Облако@mail.ru	Box.net	MediaFire
OAmazon Web Services	OneDrive	Cubby.com

☑ 元のファイルの表は変更されません。

表を編集後、表をコピーするを再度クリックします。

3. 目的のアプリケーションに表を貼り付けます。

💡 コピーされたコンテンツが元の文書と大幅に異なる場合:

• 文書にテキストレイヤーがない場合には、正しいOCR言語[228]が選択されていることを確認します。

 コピーしたいコンテンソが含まれるページのテキストレイヤーが粗悪である場合には、テキストレイヤーを新しい ものと交換します。

その後、再度コンテンツをコピーしてみてください。

以下の手順に従ってページの一部を画像としてコピーします:

- 1. コピーしたいエリアを選択します。
- 2. 選択したエリアを右クリックしてショートカットメニューで**画像をコピーする**をクリックするか、テキストの上に 表示されるポップアップソールバーのアイコンのいずれかをクリックします。選択したエリアにテキストが含まれる 場合、このテキストは認識されず、画像の一部としてコピーされます。
- 3. 目的のアプリケーションに画像を貼り付けます。

PDFのセキュリティ機能

一部のPDF文書はお使いのコンピュータに害を与えることがあります。

ABBYY FineReaderにはPDF文書を使ってより安全に作業を行うための多数の機能があります。潜在的な危険のある以下の操作を行う場合に、プログラムから確認が求められます:

- •添付ファイルを開く
- リンクを開く
- フォームデータを送信するフォームへの入力 [93]

文書の作成者を信頼する場合には、許可をクリックし、信頼しない場合にはキャンセルをクリックします。

PDF文書でJavaScriptをオプにして、悪意のあるJavaScriptコードからコンピューターを保護することもできます。 JavaScriptをオプにするには、オプションダイアログボックスを開き、その他 タブをクリックして、PDFエディタで開かれ たPDF文書のJavaScriptをオンにするオプションをクリアします。PDF文書をJavaScriptを使って開く場合には以下 の通知がウィンドウの上部に表示されます:

Некоторые элементы этого документа используют JavaScript. Включите JavaScript, если вы доверяете автору документа. Это может привести к проблемам с безопасностью. クリックして画像を拡大

PDF文書の送信元である個人や組織を信頼する場合には、ドロップダウンリストから以下のいずれかの方法を選択して、JavaScriptをオンにできます JavaScript 設定:

- この文書でのみJavaScriptを有効にする現在の文書を開いたままJavaScriptをオンにする。
- すべての文書でJavaScriptを有効にするすべての文書のJavaScriptをオンにできるオプションダイアログボックスを用く。

PDF文書の確認

PDFエディターにはPDF文書を確認するための多数の機能が含まれます。文書を読みながら、コメントを追加したり、 重要な部分にハイライトをしたり、メモを作成したり、特定のエリアを強調するために図形を描いたり、ページにスタンプしたりできます。

本章の内容

- <u>コメントの追加</u>
 「59
- <u>描画ツール</u>62
- <u>PDF文書にテキストを追加する</u>64
- スタンプを追加する⁶⁹
- <u>PDF文書で共同作業を行う</u>65

コメントペインに表示されます

PDFエディターはPDF文書のいかなる部分にもメモを追加するツールを提供するため、PDF文書内で議論したり、見直したりする工程が更にシンプルに実行できます。

1. もしPDFツールツールバーが非表示の場合には、メインツールバーのPDFツールボタンをクリックします。



- 2. ^{火モ} ツールを以下でクリックします: PDFツール ツールバー。
- 3. デフォルトのメモの色が好みでない場合には、文書の上に表示されるツールバーで別の物を選択します。
- 4. メモを添付する場所をページ内でクリックして、メモをタイプします。



■ 既存のメモの色はショートカットメニューを使用して変更できます。

メモを開くメモへの返信、メモの削除方法については以下を参照して、ださい:PDF文書で共同作業を行う。

テキストのマークアップ

PDFエディターを使用して、文書のどこを変更すべきかを表示できます。追加された編集マークはすべて、テキスト自体を変更しませんが、どここどんな変更をする必要があるかを表示することは稀です。

✓ テキストの編集に関連する注釈は、テキストレイヤーのある文書または背景認識プロセスで認識された文書でのみ
 利用可能です。

ABBYY FineReaderには以下のマークアップソールが含まれます:

ab	強調表示
<u>ab</u>	下線
аь	取り消し線
аЪ	メモを追加してテキストを挿入

すべての種類の注釈にダブルクリックしてコメントを追加できます。コメントに関する詳細は、次を参照してください:
 <u>PDF文書で共同作業を行う</u>€€。

強調表示、下線、取り消し線をテキストの一部に適用する:

- マークアップソールをメインソールバで選択し、目的のテキストの一部を選択するか、
- 目的のテキストの一部を選択してから、マークアップソールをメインソールバーで選択します。

挿入ポイントを示す:

• ¹¹ PDFツール ツールバーの、ツールをクリックして、テキストを挿入する場所をクリックします。



☑注釈の色を変更する:

- 注釈を右クリックしてショートカットメニューで目的の色を選択するか、
- メインソールバーでマークアップソールをクリックして、文書の上に表示されるツールバーのカラーボックスの1つを クリックします。

文書全体に目を通すことなく特定のテキストの一部をマークアップするために検索機能を使用できます。

1. ペインを開きます検索。

- 2. 検索する単語やフレーズを入力します。
- 3. オプションのグループの検索ペインで、マークアップする検索結果を選択して。希望するマークアップソールを クリックします。別の色を選択するには、マークアップソール自体ではなくその隣の矢印をクリックして、表示 されるカラーパレットで希望の色をクリックします。



描画ツール

PDFエディターを使用して、設計図や不規則な形に切り取られたテキストの断片など、様々な形やサイズのオブジェクト にコメントすることができます。コメントを追加する前に、コメントしたいオブジェクトの周りに形を描きます。





- 1. PDFツールツールバーで 描画 をクリックします。
- 2. 以下に表示の、ツールバーで描画ツールを選択します。

🧪 インク 📈 線 🏒 矢印 🔲 長方形 🔘 オーバル 🚫 多角形 🜔 雲 🚫 ポリライン 👘 🔜 💌 🖊 🔻

インク

マウスの左ボタンを押さえることで、線を描いたり、任意の図形を描くことができます。

• 行

直線を描く縦、横、または斜め(45度の角度)の線を描く場合にはShift キーを長押します。

- 矢印を描きます。縦、横、または斜め(45度の角度)の線を描く場合にはShift キーを長押します。
- 長方形 四角形を描きます。四角形を描く場合には、Shift キーを長押します。
- オーバル
 オーバルを描く、円を描く場合には、Shift キーを長押します。

• 多角形

多角形を描く。多角形の最初の頂点を配置する位置をクリックします。多角形を完了するには、最初の頂点をクリックします。

クラウド

雲を描く、雲の最初の頂点を配置する位置をクリックします。 雲を完了するには、最初の頂点をクリックします。

• ポリライン

波線を描く、描画を開始するページをクリックして、次のセグメントを開始したは、場合に再度クリックし、 波線を終了する場所をダブルクリックします。

3. 図形の描画が終了し、コメントを入力したい場合にはダブルクリックします。 「ペッールを使用している場合には、インクコメントを入力する前に描画ッールをオフにする必要があります。

ツールを使用して図形のセットを描き、インクそのすべてのセットにコメントする場合:

- Shift キーを長押しし、図形を描きます。マウスボタンはリリースできますがShift キーは描画終了時にのみ解放します。
- 描画ツールをオフにして、セットの1つの形をダブルクリックしてコメントを入力します。
- 4. 描画ツールには変更可能な設定が複数あります。



- ページに描いた図形を右クリックして、ショートカットメニューのコマンドを使用します。
- 図形を描く前にPDFツールツールバーで希望する設定を選択します。

図コメントの使用と編集の詳細についてはPDF文書で共同作業を行う657を参照してくださし

PDF文書へのテキストの追加

PDFエディターを使用して、編集可能な形式に変換することなくすべての種類のPDFにテキストのブロックを追加できます。

	T
1.	PDFツールツールバーで ^{テキストボックス} 。
	以下の下にテキスト編集ツールがあるツールバーが表示されます PDFツール ツールバーで。

- 2. テキストを追加する場所をクリックします。マウスボタンを解放せずにマウスのポインターをドラッグして、テキストプロックのサイズを変更できます。
- 3. テキストを入力します。フォントの種類、フォントサイズ、およびフォントの色を選択することができます。



- 4. 必要な場合は、テキストブロックのサイズを変更します。
- 5. テキストブロックの周囲に境界線を描画するには、境界線の太さ色を選択します。
- 6. テキスト ブロックの背景色を変更したり、背景色の検出ページの背景色を使用するオプションを使用できます。

☑ デフォルトでは透明の背景が使用されます。

PDFエディターを使用して、応答型フィールドのないフォームにも入力できます。これを実行するには、ツールを使用してフォームの上に入力するだけですテキストボックス。

✓ テキストブロックを追加する際、ブロックからのテキストが含まれる新規コメントがコメントペインに表示されます。注
 秋のステータスを変更するのと同じ要領でコメントのステータスを変更できます。以下も参照してください: PDF文書
 で共同作業を行う。
 ・・。

PDF文書で共同作業を行う

PDFエディターで、他のレビューアーが入力したコメントを読んだり返信したりできます。ABBYY FineReader以外のアプリケーションで作成されたコメントでも同様です。コメントの提案に同意するか拒否するかをレビューアーに示すために、コメントのステータスを変更することもできます。

文書ですべてのコメントリストを表示するには コメント メインツールバーのボタンをクリックして 23 ペインを開きます。



☑他の方法を使用してコメントペインを開くこともできます:

- •注釈、スタンプやコメントを右クリックしてコメントペインの表示をクリックします。
- をクリックします 表示 を選択します コメントペインの表示。
- F7 を押します。

注釈にコメント追加する

- コメントを追加する注釈をダブルクリックするか
- 注釈を右クリックしてコメントの追加 ショートカットメニューでコマンドを選択します。

もしコメントペインが非表示の場合には、コメントを入力できるコメントボックスが表示されます。また、コメントペインが表示されている場合には、注釈と関連付けられているコメントボックスが強調表示されます。

コメントを開く

• 表示したいコメントが含まれる注釈を選択します。

もしコメントペインが非表示の場合には、コメントを入力できるコメントボックスが表示されます。もしコメントペインが表示されている場合には、注釈と関連付けられているコメントボックスが強調表示されます。

☑ コメントを常に表示する場合は、その注釈をダブルクリックします。コメントを非表示にするには、コメントボックスの右 上角の x ダンをクリックします。

コメントへの返信

- 1. 返信したいコメントが含まれる注釈を選択します。
- 2. をクリックします 返信する をクリックするか Ctrl+Enter を押して、返信を入力します。

注釈またはその関連付けられたコメントや返信を削除する

注釈を削除する:

- 削除したは 注釈を選択して Del を押すか、注釈を右クリックしてショートカットメニューで削除 をクリックします。
 注釈に関連付けられているコメントも削除されます。
- ペインでコメントボックスを選択してコメント、Del を押すかコメントボックスを右クリックして、をクリックします 削除。

コメントに関連付けられている注釈も削除されます。

ペインでコメントを削除するコメント:

コメントボックス内の任意の場所を右クリックして削除をクリックします。
 コメントご関連付けられた返信もすべて削除されます。

すべてのコメントおよび注釈を削除する:

• をクリックします終了 > コメントとマークアップを削除 ...

返信を削除するには:

返信を右クリックして返信を削除をクリックします。
 同じ方法でペインで返信を削除できます コメント。

コメントにフラグを付けるまたはステータスを変更する

読んだコメントにステータスを割り当てたり、再確認するコメントにフラグを付けることができます。

コメントにフラグを付ける:

● ペインのコメントの隣にあるボックスをクリックするか、コメントコメントを右クリックしてショートカットメニューでフラグをクリックします。

コメントのステータスを変更する:

- コメントまたはその注釈を右クリックして、ショートカットメニューでステータスをクリックして、目的のステータスを選択します。
- ・・・・・ コメントボックスでボタンをクリックして、目的のステータスを選択します。

注釈やコメントのプロパティ

オプションのグループのプロパティ…注釈またはコメントのダイアログボックスで、作成者または件名を変更したり、注釈やコメントのステータスがどのようこ変更されたかを確認できます。作成者の名前を変更したらデフォルトに設定ボタンをクリックして、以降は新し、名前を使用して注釈やコメントを作成することができます。

プロパティ注釈やコメントのダイアログボックスを開く:

• 注釈、スタンプまたはコメントを右クリックしてショートカットメニューでプロパティ...をクリックします。

コメントペイン

コメントペインはコメントの有無にかかわらず文書に追加されたすべての注釈、テキストブロック、スタンプ、編集マークを表示します。

• コメントを移動するには ・ ボタンを使用します。

•特定のコメントを検索したり、ペイン上部の検索ボックスを使用して作成者に返信したりコメントできます。

コメントの並べ替え:

• コメントペインで、をクリックして そこ その後、目的の並べ替えオプションをメニューから選択します。

コメントは、タイプ、作成者、フラグのステータス、コメントのステータスでフィルターできます。

コメントのフィルター:

• コメントペインで、をクリックして 7-7 フィルターメニューを開き、その後 すべてのコメントの表示 をクリック するか、現在のコメントの非表示 コメントのフィルターに使用したい 条件を選択します。

以下を使用してコメントをフィルターできます:

- 1. タイプ
- 2. 作成者
- 3. ページ
- 4. 日付
- 5. フラグステータス
- 6. ステータス

♂ フィレターをしたットするには、をクリックします リセット。

コメントの作成者と日付だけを確認したい場合には 至 をクリックして、コメントのテキストを非表示にします再度テキストを表示するには、をクリックします こ。

スタンプを追加する

PDFエディターを使用して、紙の文書にスタンプを押すようこ、PDF文書にスタンプを押すことができます。利用可能なスタンプのリストからスタンプを選択するか、テキスト、スタンプした日時、画像などを追加して独自の物を作成することができます。

ページにスタンプを押すには:

1. PDFツールツールバーで ¹ スタンプの追加 * をクリックして、目的のスタンプを選択します。

使用するスタンプがメニューで利用可能でない場合には、その他のスタンプをクリックします。

2. ページにスタンプします。

3. 必要な場合には機能する場所にスタンプを移動します。

注釈にコメントを追加するのと同じ要領で、スタンプにコメントを追加したり、ステータスを変更したりできます。以下も 参照してください: PDF文書で共同作業を行う。

スタンプを作成する方法

PDFエディターでテキストスタンプと画像からのスタンプを作成できます。

画像からスタンプを作成するには:

- 1. PDFツール ツールバーで 🎴 スタンプの追加 🎽 > 画像からスタンプを作成 ...。
- 2. 開いたダイアログボックスの名前 フィールドでカテゴリーを選択します。
- 3. をクリックします 画像を開くをクリックしてハードディスクから画像を開くか、クリップボードの画像を張り付ける クリップボードにコピーされた画像がある場合には、をクリックします。
- 4. タブのスタンプサイズ画像のサイズを調整したは場合には、スライダーを使用します。
- 5. をクリックします保存。

テキストスタンプを作成するには:

- 1. PDFツールツールバーで ¹ スタンプの追加 > テキストスタンプを作成 ...
- 2. 開いたダイアログボックスの名前 フィールドでカテゴリーを選択します。
- 3. オプションのグループのスタンプテキストフィールドでスタンプに含めたいテキストを入力します。
- 日時を追加ドロップダウンリストから使用する日付と時間フォーマットを選択します。
 ✓ ページにスタンプする際に、スタンプにはスタンプを押した日付と時間が指定したフォーマットで押されます。

マタンプにはすべてのテキスト要素がスタンプテキストフィールドのカーソルの位置に追加されます。スタンプ要素の順番はこのフィールドで変更したり、説明文を追加したり日付と時間のフォーマットを設定したりできます。日付と時間の詳細情報については、以下を参照してください:スタンプとベイツナンバーの現在の日付と時間[242]。

- 5. オプションのグリレープのフォントと境界線オプションのグリレープでフォントのタイプ、サイズ、スタイルを25日ス タンプのテキストのために選択し、さらにスタンプの色を選択します。
- 6. ABBYY FineReaderのOCRエディターのテキストペインではなく Microsoft Wordで境界線の追加スタンプに枠を付けたい場合には、オプションをオンにします。
- 7. 表示 ボックスにはスタンプのプレビューが表示され、変更を確認することができます。
- 8. をクリックします保存。

スタンプを編集するには:

- 1. PDFツールツールバーで 2 スタンプの追加 > スタンプの管理 ...
- 2. 開いたダイアログボックスで、スタンプを選択して、をクリックします編集..。
- 3. 希望する設定を指定して、使用する。

スタンプを削除するには:

文書からスタンプを削除するには、以下のいずれかを実行します:

- 文書でスタンプを選択して、次のキーを押します: Del。
- 文書でスタンプを右クリックして、ショートカットメニューで削除をクリックします。
- •ペインでスタンプのコメントを選択してコメント次のキーを押します: Del。

スタンプをリストから削除するには:

- 1. PDFツール ツールバーで ¹ スタンプの追加 > スタンプの管理 ...。
- 2. 開いたダイアログボックスで、スタンプを選択して、をクリックします削除。

PDFでの作業

PDFエディターを使用して、PDFファイルを編集可能な形式変換する必要もなく PDF文書の内容を変更できます。

本章の内容

- <u>テキストの挿入と編集</u>73
- <u>写真の挿入と編集</u>76
- ハイパーリンクの挿入と編集 761
- <u>テキストの認識</u> 78
- <u>ページでの作業</u> 79
- <u>ブックマークの追加</u>84
- <u>ヘッダーとフッターを追加する</u>86
- ウォーターマークを追加しています。
- 添付ファイルの操作 [90]
- <u>火死一久の表示</u> [91]
- <u>ページ画像の補正</u> [92]
テキストの挿入と編集

PDFエディターを使用して、スキャンのみのPDFを含め、どんな種類のPDF文書のテキストでも編集できます。PDFエディターで打ち間違いを訂正した以新しいテキストの追加、テキストの別の行の形式の編集を実行できます。

- 他のアプリケーションで作成されたPDF文書のテキストの編集[73]
- <u>スキャンされた文書の編集</u> [73]
- 検索可能PDF文書の編集 74
- テキストツールを使ってテキストを挿入する75

他のアプリケーションで作成されたPDF文書のテキストの編集

PDF文書内のテキストの編集



1. ^{編集} **PDFツール**ツールバーのボタンをクリックして、プログラムが文書を編集できるよう準備するのを数 秒待機します。

2. 編集するテキストの上にカーソルを当てて、テキストツールバー。



プログラムは元の文書で使用されているフォントに最も近いフォントを自動で選択します。

3. テキストの行の編集を終了したら、行の外側の任意の場所をクリックします。



- 4. テキストの編集モードを終了するには、
- 5. 文書を保存します。

スキャンされた文書の編集

ー部のPDF文書は画像のみ、つまり、テキストレイヤーがありません。以下も参照してください: <u>PDF文書のタイ</u> プ¹⁹²。

ABBYY FineReaderを使用して、テキストレイヤーがない PDF文書でもテキストを編集できます。そうした文書が開かれたらプログラムは一時的テキストレイヤーを作成し、文書が編集可能になるようこします。どのような編集を行った場合でも(例:タイプミスの訂正)、その後文書の画像に移行されます。



1. ^{編集} PDFツールツールバーのボタンをクリックして、プログラムが文書を編集できるよう準備するのを数 秒待機します。テキストツールバーが文書の上に表示されます。

- 2. 正U DCR言語が選択されていることを確認してください。以下も参照してください: <u>OCR前に考慮す</u> <u>べき文書の機能</u>2281。
- 3. ページに歪んだテキスト行やその他の欠陥がある場合、プログラムは画像の品質を改善すべきかどうかを尋ねます。OCR前に画像を改善するには 傾きとページの方向を修正 テキスト バンのドロップダウンリストの コマンドを使用します。

[ArialMT] · 7 · A A A B I 🗮 ¶目 A · ● 傾きとページの方向を修正 ·

- 4. 編集可能なテキストは、フレームで囲まれます。テキストの編集、追加、削除、変更、およびフォント、フォ ントサイズ、フォントスタイルの変更を実行するテキストの行をクリックします。その際 テキスト ツールバー。 テキスト行をクリックすると プログラムは元の文書で使用されているフォントに最も近いフォントを自動で選 択します。
- 5. テキストの行の編集を終了したら、行の外側の任意の場所をクリックします。



6. 編集 ボタンをクイックして編集モードを終了します。

7. 文書を保存します。

検索可能PDF文書の編集

ー部のPDF文書には文書の画像の下にテキストレイヤーが含まれます。以下も参照してください: PDF文書のタイ プ¹⁹²。

このタイプの文書を編集する際、プログラムは変更をテキストレイヤーと文書の画像に適用します、

Ż

- 1. ^{編集} **PDFツール**ツールバーのボタンをクリックして、プログラムが文書を編集できるよう準備するのを数 秒待機します。テキストツールバーが文書の上に表示されます。
- 2. 正し ЮСR言語が選択されていることを確認してください。以下も参照してください: <u>OCR前に考慮す</u> <u>べき文書の機能</u>[28]。
- 3. 既にテキストレイヤーがある文書を編集しようとするとプログラムは、文書を認識して、既存のテキストレイヤ ーを置き換えるよう求めるメッセージを表示します。これは、テキストレイヤーテキストッールバー。

Arial \vee 10 \vee A A B I \cong 11 A = \square \neg \neg

開いたダイアログボックスで、OCR言語を選択します。ページの方向を修正するための画像の予備処理、 または画像の歪みを修正したり、歪んだテキスト行をまっすくにしたり、その他の欠陥を削除することもできます。

文書が認識されたら 編集を実行できます。

 編集可能なテキストの行はフレーム内に表示されます。テキストの編集、追加、削除、変更、およびフォント、フォントサイズ、フォントスタイルの変更を実行するテキストの行をクリックします。その際 テキスト ツールバー。 テキストの行をクリックするとプログラムは元のテキスト行で使用されているものに最も近いフォントを自動で

テキストの行をクリックすると、フロクラムは元のテキスト行で使用されているものに最も近いフォントを目動で選択します。

5. テキストの行の編集を終了したら、行の外側の任意の場所をクリックします。



- 6. 編集 ボタンをクイックして編集モードを終了します。
- 7. 文書を保存します。

テキストツールを使ってテキストを挿入する

テキストを挿入する方法:



- 1. テキスト ツールバーのボタンをクリックします。
- 2. 新しいテキストを追加したい場所をクリックするか、新しいテキストを入力したい場所にボックスを描きます。
- 3. テキストを入力します。必要であれば、テキストツールバーのツールを使って、フォント、フォントのサイズ、フォ ントのスタイルを変更します。

✓ 11 ✓ A* A* B I = = = 11 ↓ Ξ ↓ Ξ <u>A</u> -Arial

4. 操作を完了するには、テキストボックスの外側をクリックするか、ショートカットメニューの[適用]をクリックします。

プログラムは、挿入されたテキストに対して自動的にバックグラウンドを選択します。このバックグラウンドは、ページの他の部分とシームレスにマッチするものになります。

5. 文書を保存します。

ABBYY® FineReader 14 ユーザーズ ガイド

写真の挿入と編集

PDFエディターはすべてのPDF文書に写真を挿入できるようにします。



- 1. ^{画像} **PDFツール**ツールバー。
- 2. 開いたダイアログボックスで、写真を選択して開く
- 3. ページの目的の場所に写真を移動します。

写真を移動、回転、削除、サイズ変更できます。写真を移動する際、ページ上のその他のオブジェクトとオーバ ーラップする可能性があります。オーバーラップしている写真を全面に移動するには、右クリックして選択し、 **像を前に出す**を選択します。

写真を削除するには:

- 通常のPDF文書で写真を削除するには写真を右クリックしてショートカットメニューの削除をクリックします。
- 文書の画像の一部、また、写真など文書に含まれるすべてのものを削除できます。これを実行するには、



^を PDFツール ツールバーで ツールをクリックし、消去したいエリアを。

☑ 消去 ツールは写真やテキストを削除し、空いた空間を塗りつぶすのに最適な背景色を自動で選択します。

ハイパーリンクの挿入と編集

ABBYY FineReader では、あらゆる種類のPDF 文書にハイパーリンクを挿入し、既存のハイパーリンクを編集することができます。

ハイパーリンクをマウスカーソルでポイントすると そのアドレスがポップアップボックスに表示されます。リンクをたどる場合は、単にクリックするだけです。

PDF 文書にハイパーリンクを挿入する方法:

- 1. ハイパーリンクとして使用するテキストを入力します。
- 2. > を終了 クリックするか、 リンクを追加 …テキストを選択 して右 クリックし、 リンクを追加 …ショートカットメニューをク リックします。
 - 現在の文書で、特定のテキスト部分へリンクする

リンクエディターで:

- 選択してこの文書のページリンクが開くページの番号を入力するか、
- クリックして宛先の選択 ..ユーザーにリンクをクリックして欲し、場所にマウスカーソルを配置します。

ウェブページへのリンク

リンクエディターで:

- 選択してウェブアドレス、電子メールアドレス、ファイルやその他の資料へのリンクリンクしたいページのURL (例:<u>http://www.abbyy.com</u>)を入力します。
 - 電子メールアドレスへのリンク

リンクエディターで:

- 選択してウェブアドレス、電子メールアドレス、ファイルやその他の資料へのリンク'mailto:"の後に続く受信者の電子メールアドレス(例:mailto:office@abbyy.com)を入力します。
 - ファイルへのリンク

リンクエディターで:

• 選択してウェブアドレス、電子メールアドレス、ファイルやその他の資料へのリンク'file://"に続く リンクによって 開かれるファイルへのパス (例:file://D:/MyDocuments/ABBYYFineReader.pdf)を入力します。

ハイパーリンクを編集するには:

- 1. 編集するハイパーリンクを選択します。
- 2. 選択したリンクを右クリックし、リンクの編集 ..ショートカットメニューをクリックします。
- 3. リンクエディターで以下のいずれかを行います:
 - リンクが開くページの番号を変更するか、
 - クリックして宛先の選択 ..ユーザーにリンクをクリックして欲し、場所にマウスカーソルを配置します。
 - URL、電子メールアドレスファイルまたはその他のリソースへのパスを変更します。

♥URL、電子メールアドレス ファイルまたはその他のリソースへのパスをクリップボードにコピーすることができます。これを 行うこは、リンクをクリックして選択し、リンクをコピーURL、電子メールアドレス パスをコピーします。

PDF 文書からハイパーリンクを削除する方法:

- 1. 削除するハイパーリンクを選択します。
- 2. 選択したリンクを右クリックし、リンクを削除ショートカットメニューをクリックします。

テキストの認識

<u>背景認識</u> 「→」は文書に一時的テキストレイヤーを追加するプロセスで、テキストのマーク付け、コピー、検索を実行できるようこします。PDF文書に恒久的テキストレイヤーを追加することで、これらの機能が他のユーザーにも使用できるよう にすることが可能です。テキストレイヤーのある文書は元の文書と実質的に見分けがつきません。検索可能なPDF文 書の既存のテキストレイヤーを置き換えることもできます。

- メインソールバーで 20歳 ▼ ボタンの隣にある矢印をクリックして、ドロップダウンリストから文書の認識
 … を選択します。または、次のようこクリックします:ファイル > 文書の認識 > 文書の認識 …または Ctrl+Shift+Rと押します。
- 2. 開いたダイアログボックスで、適切なOCR言語を指定します。以下も参照してください: <u>OCR前に考慮</u> <u>すべき文書の機能</u>2281。
- 3. OCRの品質を向上するために、画像処理をオンにします。画像処理は文書の外観を変更する可能性があります。
 - ページの向きを修正 プログラムはテキストの方向を検出し、必要に応じて修正します。
 - **画像の傾きと画像解像度の修正** プログラムは傾きを検出、補正し適切な画像解像度を選択し、画像の向上に必要なその他の変更を加えます。
- 4. 認識 ボタンをクリックします。
- 5. その結果、出力文書には検索可能テキストレイヤーが含まれます。

ください: <u>ページでの作業</u>822

■ 認識されたテキストを確認する場合や、学習機能を使用して、非標準フォントや文字を認識させる場合、または、 ABBYY FineReaderのその他の高度な機能を使用する場合には、 ボタンの隣の矢印をクリックしてから OCRエディタで認識、検証するをクリックします。または、次のようにクリックします:ファイル > 文書の認識 > OCR エディタで認識、検証する。以下も参照してください: <u>PDF文書をOCRエディターに送信</u>

ページでの作業

PDFエディターでPDF文書のページを削除したり、追加したり、並べ替えをしたり、空白のページを挿入したりできます。

ファイルからページを追加する...

- 1. メインソールバーで 「ページの追加 * ボタンをクリックします。
- をクリックします ファイルから追加 ...。
 ざまたは、次のようこクリックします:ファイルからページを追加 ...ペインのショートカットメニューまたは ページボタンをクリックすると表示されるドロップダウンメニューから ボタンをクリックします。
- 3. 開いたダイアログボックスで、PDF文書に追加する1つまたは複数のファイルを選択して、追加するページ数を指定します。選択するファイルはサポートされる<u>される形式である必要があります</u>225。新規ページを追加する場所を指定することもできます(例:最初のページの前、現在のページの前、など)。
- 4. 設定 …ボタンをクリックして、目的の画像処理のオプションを指定します。82、
- 5. 開くボタンをクリックします

選択したファイルはPDFに変換されて現在のPDF文書に挿入されます。

スキャンしたページの追加 ...

- 1. メインソールバーで 「ページの追加 * ボタンをクリックします。
- 2. をクリックしますスキャナから追加 ..。
- 3. デバイスを選択してスキャン設定を指定します「1941、
- 4. 表示 ボタンをクリックするか、スキャンエリアの任意の場所をクリックして画像を表示します。
- 5. 必要な場合には設定 …ボタンをクリックして、目的の画像処理のオプションを指定します。
- 6. スキャンボタンをクリックします。

スキャンされたページは現在のPDF文書に挿入されます。

空白のページの挿入 ...

- 1. オプションのグループのページペインで、空白のページを挿入する前および後のページを選択します。
- 2. ページを右クリックして、ショートカットメニューで空白のページを追加 をクリックし、その後 現在のページ の前 または現在のページの後。

If a state 次のようにクリックします: □ ページの追加 > 空白ページの追加。現在選択されているページの後に空白のページが追加されます。

ページの並べ替え…

オプションのグループのページペインで、1枚または複数のページを選択して、文書内の希望する場所にドラッグします。

ページを置き換えています...

- 1. ページペインで置き換えたいページを選択します。
- 2. ページのコンテクストメニューまたはページペインの ボタンを押して終了 メニューのページを置き換える ... を選択します。
- 3. 表示されたダイアログボックスで、新しいページのあるPDF文書を選択します。
- 4. ページの置換ダイアログボックスで、現在の文書から置き換えるページの範囲と新し、文書のページ範囲を 指定します。

ページの回転 ...

オプションのグリレープのページペインで、1枚または複数のページを選択したら右クリックして、ショートカットメニューでページを回転するをクリックし、その後右に回転または左に回転。または、ペインの上部で
 ボタンをクリックして、その後、次のようこクリックします:ページを回転する>右に回転(または左に回転)。

ページの切り取り...

- 1. ページペインで1ページまたは複数のページを選択します。
- 2. ページのコンテクストメニューまたはページペインの ボタンを押して終了メニューのページを切り取る… を選択します。
- 3. 切り取りフレームペインで:
 - 切・取・圧ードを選択する各ページに個別のフレームかすべてのページに単一のフレーム
 - 切・取・フレームのサイズを選択します
 - プログラムが自動で切り取りフレームのサイズを決定するオプションを使用します

 「自動フレームのオプションは切り取りフレームの境界線をデキストの端に定め、文書ページの空白のエリアを削減します。
- 4. 手動で切り取りフレームを設定する場合はフレームの端を移動します

5. 切り取りフレームの設定後:



- 切り取る文書のページを選択します
- 切り取るをクリックします

ページを削除 ...

• オプションのグループのページペインで、1枚または複数のページを選択したら右クリックして、ショートカットメニューでページの削除 ...をクリックするか Del キーを長押します。

選択したページからPDF文書を作成 ...

オプションのグループのページペインで目的のページを選択したら右クリックして、ショートカットメニューで選択したページでPDFを作成をクリックします。

作成された文書は新しいウシドウで開かれます。

画像処理のオプション

PDFエディターは画像およびOCRの品質を改善する複数の画像処理オプションを提供します。

紙の文書をスキャンする際や画像ファイルからPDF文書を作成する際に、画像処理オプションを指定できます。

• 画像品質 写真の品質やファイルのサイズは、オプションのグループのドロップダウンリストから選択した画像 品質 値で決定されます:

○最高の品質

ページの画像や写真の品質を保持するには、この項目を選択します。ソース画像の元の解像度が保持されます。

○ バランス保持

ページ画像や写真の品質を適度に高いレベルに保ちつつPDF文書のサイズを抑えるには、このオプショクを 選択します。

o コンパクトサイズ

小さなサイズのPDFファイルを作成する場合にはこのオプションを選択します。これにより、ページ画像や写真の品質が劣化する可能性があります。

o **カスタム** ...

ページの画像や写真を保存するためのカスタムオプションを指定する場合には、このオプションを選択します。開いたダイアログボックスで、目的の保存オプションを指定したら、OKをクリックします。

• **画像のテキストを認識する**文書にテキストレイヤーを追加する場合にはこのオプションを選択します。

元の文書とほとんど同じ外観の検索可能なPDF文書が作成されます。

• MRC圧縮を使用する(以下でOCR言語を指定)認識されたページにMRC圧縮アルゴリズムを適用す る場合にはこのオプションを選択します。MRC圧縮は、ページ画像の視覚的品質を保ちつつ出力ファイルの サイズを削減します。

- 画像の文字をなめらかにするためにABBYY PreciseScanを適用する ABBYY PreciseScanテクノロジ ーを適用する場合には、このオプションを選択します。 ABBYY PreciseScanはズームインした時に文書の文 字がピクセリルとしないように、文字をなめらかにします。
- OCR言語 正 U YOCR言語を選択するようこして ださ 、以下 も参照 して ぐださ \: <u>OCR前に考慮す</u> <u>べき文書の機能</u>222

ブックマークの追加

PDFエディターを使用して、PDF文書にブックマークを追加できます。

- ペインでブックマークを作成するブックマークショートカットメニューを使用してブックマークを作成する。
 - 1. ペインでブックマークを作成する ブックマークペインで:
 - a. 左の垂直バーで ボタンをクリックするか、表示 > ブックマークをクリックします。ブックマークペインが開きます。
 - b. をクリックし、 フックマークの名前を入力します。
 - c. デフォルトでは、新規作成されたブックマークは現在のページの先頭をポイントします。
 - 2. ショートカットメニューを使用してブックマークを作成する:
 - a. ブックマークしたし 文書のテキストの断片、写真、またはその他の場所を選択します。
 - b. 選択した部分を右クリックして、ショートカットメニューの ブックマークを追加 …をクリックします。
 - c. ペインでブックマーク名前を入力します ブックマーク。 「テキストの断片をブックマークする場合、選択されたテキストがブックマークの名前として使用されます。
 - d. 新規作成されたブックマークはテキストの断片、写真または選択した文書のその他の場所をポイントします。

ブックマークに別の宛先を選択するには、宛先の設定ブックマークのショートカットメニューのをクリックして、文書内のブックマークを挿入したい場所をクリックします。

☑ ブックマークはネストできます。新規ブックマークは前に選択されたブックマークと同じレベルでネストされます。 新規ブックマークがその文書で最初のブックマークの場合、ルートレベルに配置されます。

✓ または、次のようこクリックしてブックマークを作成することもできます:終了 > ブックマークを追加 ...
 ブックマーク並べ換え ...

- 1. ペインでブックマークを選択します ブックマーク。
- 2. マウスの左ボタンを押しながら、ブックマークを目的のロケーションにドラッグします。



🕨 📕 アクティブディレクトリの使用

💡 ブックマークの並べ替えまたはネストレベルの変更は文書の外観に影響しません。

ブックマークの名前変更 ...

- 1. ペインでブックマークを選択します ブックマーク。
- 2. 「 ボタンをクリックするか、 ブックマークのショートカットメニューで 名前変更 をクリックします。
- 3. 新し、名前を入力します。

ブックマークの削除 ...

- 1. ペインでブックマークを選択します ブックマーク。
- 2. 🔳 ボタンをクリックするか、ブックマークのショートカットメニューで削除 をクリックします。

✓ ブックマークが同一レベルにネストされている場合には、一度に複数のブックマークを削除できます。Ctrl キ ーを押したまま、削除するブックマークを選択して削除。

💡 親ブックマークを削除すると その子ブックマークもすべて削除されます。

ヘッダーとフッターを追加する

PDFエディターを使用して、PDF文書のページにヘッダーやフッターを追加することができます。ヘッダーおよびフッターとは、 ページの最上部や最下部で繰り返されるテキストであり、ページ番号、作者の名前、作成の日時、あるいは文書のイ ンデックスとして使用されるベイツナンバリングなどを記載できます。

文書にヘッダーやフッターを追加する方法:



2. ドロップダウンメニューから、希望するヘッダーやフッターの種類を選択します。

ヘッダー /フッターの作成 ...

- 1. ボタンを ヘッダーとフッター マクリックし、その後 ヘッダーとフッターを作成します ...
- 2. 表示されるダイアログボックスで、ページ上の6 つのロケーションのうち1 つを選びます。精度を高めるには、 ヘッダーまたはフッターとページの対応する辺との間の正確な距離を入力します。

 プレビューペインの下の[測定単位] ドロップダウンリストから、ヘッダー /フッターとページの端までの距離を測定する単位を選択することができます。
- 3. [テキスト] フィールドに、文書のすべてのページの上部または下部に配置するテキストを入力します。
- 4. ページ番号、日付、時刻、ベイツナンバリングを追加する方法:
 - ボタンをクリックし、ページ番号表示されるドロップダウンリストから目的のページ番号形式を選択します。
 選択したフォーマットで、各ページ番号がそれぞれのページの上部または下部に表示されます。
 - ボタンをベイツナンバークリックします。
 デフォルトでは、ナンバリングは1から始まり、すべての文書ページに番号が付けられます。デフォルトの設定を変更するには、次をクリックします:から続行…

ベイツナンバー	×
開始(T): 1047	4
 ●ページごとの増分数(I) ○ 文書ごとの増分数(C) 	
保存(S)	キャンセル

ナンバリングは[開始番号] フィールドで指定した番号から開始され、設定に応じて、ページごとまたはドキュメントごとは増分されます。[保存]をクリックして、変更を適用します。

• [日付時刻]ボタンをクリックし、必要な日付や時刻のフォーマットを選択します。

「日付時刻」ドロップダウンリストの[ページ番号]で[ベイソナンバリング]ボタンまたは項目をクリック
するたびに、対応するアイテムがマウスカーソルの後の[テキスト]フィールドに追加されます。このフィ ールドでアイテムの順番を変更し、説明文を追加したい、日付や時間の形式をカスタマイズしたりすることができます。日付や時間の形式に関する詳細情報は、「スタンプ およびヘッダーやフッターの現在の
日付と時間」を242参照してください。

- 5. [フォント] のセクションで希望のフォント、フォントのサイズ、フォントのエフェクト、「255]フォントの色を選択します。
- 6. [ページ] のセクションで、 ヘッダー /フッターをすべてのページに表示するのか、一部のみに表示するのかを指定します。

- ヘッダー /フッターをすべてのページに表示するか、すべて[ページ範囲]を選択して特定のページ範囲を 指定します。
- 奇数ページまたは偶数ページにのみヘッダー /フッターを配置することができます。これを行うこは、ヘッダ ー /フッターを作成して奇数ページ選択するか、偶数ページドロップダウンリストから選択して[適用] します。
- 7. [保存]を保存ど追加クリックして変更を保存し、新しく作成したヘッダー ノフッターを文書に追加します。

💡既存のスタイルから、新しくヘッダー クッターを作成することができます。 これを実行するには、

□ ^{ヘッダーとフッター} ボタンをクリックしてヘッダーとフッターを管理します ..選択します。 [ヘッダーやフッターの 管理] ダイアログボックスで、既存のヘッダー /フッターを選択してクリックしますコピー .。

ヘッダー /フッターの編集 ...

- 1. ボタンをクリックして へッダーとフッター * 選択します。 ヘッダーとフッターを管理します ...
- 2. [ヘッダーとフッターの管理] ダイアログボックスで、変更するヘッダー /フッターを選択してクリックします編集。
- 3. 必要な変更を実行してクリックします保存。

ヘッダー /フッターをリストから削除する ...

- 1. ボタンをクリックして へッダーとフッター * 選択します。 ヘッダーとフッターを管理します ...
- 2. [ヘッダーとフッターの管理] ダイアログボックスで、削除するヘッダー /フッターを選択してクリックします削除。

ウォーターマークを追加しています

PDFエディターを使用して、PDF文書にウォーターマークを追加できます。ウォーターマークとは、ページエンテンソの上、または下に配置するテキストです。たとえば、ウォーターマークを使用すると、テキストの作成者を示したり機密情報が記載されているページを特定することができます。

ウォーターマークを追加するには:



- 1. クリックして、^{ウォーターマーク}次にアイテムをクリック**ウォーターマークの追加**します。
- フィールドで、テキストページに表示させたいテキストを入力します。
 ゴフォント、フォントのサイズ、フォントの効果を選択し、そのセクションにおけるウォーターマークのテキストを変更するフォーマットことができます。
- 4. ウォーターマークの方向や透明度の調整:
 - a. フィールドで、回転回転の角度を指定します(または、フィールドの右にあるスライダーを使うことも可能)。
 - b. フィールドで、 透明度 透明度 の 値を 入力 します (または、フィールドの 右にある スライダーを使うことも可能)。
- 5. ウォーターマークを配置する場所を選ぶか、ページコンテンツの上部または背景のページコンテンツの下 部。
- 6. すべてのページでウォーターマークを表示するか、文書中の選択したページだけに表示するかを指定します:
 - a. 選択してすべてウォーターマークをすべてのページに表示します。
 - b. 選択して選択済みウォーターマークを現在表示されているページだけに表示します。
 - c. 選択してページ範囲ウォーターマークを一定のページ範囲に表示します。このオプションを選択する場合、下のフィールドでページ範囲を指定する必要があります。
- 7. ダイアログボックスのプレビューペインでウォーターマークを確認し、ウォーターマークを追加結果に問題がな ければ[]をクリックします保存と追加。
- 「同し文書に、複数の異なるウォーターマークを追加することもできます。

D.

文書から、ウォーターマークを削除するには、^{ウォーターマーク} [] をクリックし、ウォーターマークを削除 アイテムをクリックします。

■このコマンドは、文書から、すべてのウォーターマークを削除します。

添付ファイルの追加

どのようなフォーマットのファイルでもPDF文書に添付できます。

添付ファイルの表示方法:

• 左のペインの ボタンをクリックするか、次のようこクリックします:表示 > 添付。

添付ファイルを開いた以保存、名前の変更、削除を実行できます。

添付 ペインで:

- ファイルを選択します。
- ビビ ● ッールバーで実行したいアクションに対応するツールをクリックします。またはショートカットメニューの対応するコマンドをクリックします

メタデータの表示

PDFエディターでPDF文書のタイトル作成者、その他の情報を表示できます。この情報はメタデータと呼ばれます。メ タデータの一部は作成者により入力されており、一部が自動的に生成されます。メタデータを使用して文書を検索す ることもできます。

メタデータを表示するには、ファイル > ドキュメント プロパティ … とクリックして、ドキュメント プロパティ ダイアログボックスを用きます。

PD文書がパスワードによって保護されていない限り作成者によって作成されたメタデータを変更または保存できます:

- ・タイトル文書のタイトルが含まれます。
- 作成者 文書の作成者が含まれます。
- 件名 文書のタイトルが含まれます。
- •キーワード文書の検索で使用できるキーワードが含まれます。

■ メタデータを削除するよう選択していない場合で、既存のオプションを上書きする新しいエクスポートオプションを指定していない場合には、様々な形式のファイルをPDFに変換する際に、元のメタデータは保持されます。

文書のメダデータには文書およびファイルに関する以下の情報も含まれます:

- ファイル名 ファイル名が含まれます。
- •場所文書が保存されているフォルダーへのパスが含まれます。
- ファイルサイズ ファイルのサイズが含まれます。
- ページサイズ 現在のページのサイズが含まれます。
- •ページ文書のページ数が含まれます。
- PDF作成者 文書が作成されたアプリケーション名が含まれます。
- •アプリケーション文書のコンテンツが作成されたアプリケーション名が含まれます。
- PDFバージョン PDFのバージョンが含まれます。
 ア 文書のメタデータ CPDF/A または PDF/UAの準拠情報が含まれている場合、ドキュメント プロパティウィンドウに表示されます。
- タグ付けされたPDF 文書のタグに関する情報が含まれます。
- 高速ウェブ表示 文書をオンラインで読み込む場合に高速化する、高速ウェブ表示技術を文書がサポート するかを指定します。
- 作成 文書の作成日時が含まれます。
- 変更 文書が最後に変更された日時が含まれます。

✓ ABBYY FineReaderでメタデータを表示、編集、検索 55 削除を実行できます 100 。

ページ画像の補正

PDFエディターを使用して、画像ファイルから作成されたPDF文書の品質を高めることができます。入力画像のタイプによって、プログラムは適切な画像補正アルゴリズムを選択します。自動画像補正に加え、PDFエディターはページの方向、傾き、歪んだテキスト行などの欠陥を修正し、ABBYY PreciseScanテクノロジーで文字をなめらかに表示します。

ダイアログボックスで補正オプションを指定できます 画像の補正 (このダイアログボックスは、終了 > ページ画像の補正 …とクリックすると開きます)。

- ページの向きを修正 プログラムが自動でページの方向を検出、補正する場合には、このオプションを選択します。
 最高の認識結果のためには、ページは標準の方向 (つまり、横書きのテキスト行で、上から下に読む)であることが望まれます。そうでない場合には、文書の認識が正しく実行されない可能性があります。
- ABBYY PreciseScan を適用して画像上の文字を滑らかにする ABBYY PreciseScan テクノロジーを適用して、ズームインした際に文字がピクセル化しない ようこする場合にはこのオプションを選択します。

■ 正し ЮСR言語を選択するようこしてください。以下も参照してください: OCR前に考慮すべき文書の機能220

フォームへの入力

PDFエディターで応答型フォームの表示、入力印刷ができます。

1. 文書にフォームが含まれる場合、以下のメッセージが表示されます:

この文書には、インタラクティブなフォームフィールドがあります。 🔽 強調表示フィールド

✓ フィールドのハイライトはこのメッセージの強調表示フィールドチェックボックスの選択を解除するとオフになります。

PDFフォームにハイライトされたフィールドがない場合には、ツールを使用してテキストボックス、ツールを使用して入力できます。

- 以下も参照してください: PDF文書へのテキストの追加 641。
 - 2. フォームに入力するには、ドロップダウンリストから値を選択するか、キーボードを使用してテキストを入力します。

Best method for contacting you?	
Email	~
Email	
Phone	
	~
First name	
Ann	

ABBYY FineReaderでは以下の操作も可能です:

- フォームへのデータの読み込み
 をクリックします 終了 > フォームデータ > ファイルからフォームデータを読み込み。開いたダイアログボック スで、データが含まれる*fdfファイルを選択してをクリックします開く、フォームには*fdfファイルのデータが入 力されます。
- フォームデータを保存する
 をクリックします 終了 > フォームデータ > フォームデータをファイルに保存 ...。開いたダイアログボックスで、
 *.fdf ファイル名を入力してクリックします 保存。データフォームは作成された *fdf ファイルに保存されます。
- フォームのフィールドをクリアする
 をクリックします 終了 > フォームデータ > フォームをリセット。フォームのフィールドはすべて消去されます。

プログラムの設定でJavaScriptが無効の場合、PDFフォームの一部の要素は利用できません。例えば、データフォー マットの確認は利用できない場合があります。次のようにクリックしてJavaScriptをオンにできます:オプション > その他 > PDFエディタで開かれたPDF文書のJavaScriptをオンにする。

以下も参照してください: PDFのセキュリティ機能 581。

×

PDFにデジタル署名

PDFエディターで文書にデジタル署名をしたり、文書に含まれるデジタル署名を検証したりできます。テキストや写真を署名を追加することもできます。

本章の内容

- デジタル署名 95
- <u>テキストの署名</u> 97
- <u>写真の署名</u>98

デジタル署名

PDFエディターで文書にデジタル署名をしたり、文書に含まれるデジタル署名を検証したりできます。デジタル署名は署名した人のアイデンティティを確立します。また、デジタル署名は署名された文書が変更されていないことを確認するためにも使用されます。

文書にサインする方法:

1. メインツールバーで、次のようにクリックします: ^{署名} > デジタル署名の追加 ...

- ドロップダウンボックスで使用する証明書を選択しますとして署名。証明書のプロパティを表示するによ それを選択して証明書の表示 …をクリックします。
 リストに使用したい証明書がない場合には、インストールする必要があります。証明書をインストールするには、Windows Explorerで右クリックして証明書のインストールをショートカットメニューでクリックし、 証明書のインポートウィザードの指示に従います。
- 3. 文書に署名する理由を理由ドロップダウンリストから選択するか、新し、理由を入力します。
- 4. 必要な場合には、場所および連絡先フィールドで、署名する場所と連絡先の詳細を指定します。
- 5. デジタル署名にカスタム画像を追加署名に画像を含めたいかを選択します。その後、画像の選択… 画像ファイルを参照するためにボタンをクリックします。画像は署名の左に表示されます。
- 6. をクリックします署名する。
- 7. 署名を配置するエリアを選択するか、目的の場所をクリックします。
- 8. 文書を保存します。

署名には署名した時の文書のバージョンに関する情報が含まれます。既に署名された文書に新し、署名を追加して も、前に追加された署名は有効なままとなります。

文書の署名のプロパテ を表示する:

- ショートカットメニューで署名を右クリック署名プロパティの表示 …するか、
- ペインの署名をダブルクリックします デジタル署名。

PDF文書を開く際、ABBYY FineReaderは文書内にデジタル署名がある場合には、自動で検証します。検証結果はペインに表示され、デジタル署名文書内で使用されている署名に関する詳細情報に関する情報も提供されます。

署名を削除するには:

• 署名を右クリックして、署名の削除をショートカットメニューでクリックします。

☑対応するデジタル署名を持つ場合のみ文書から署名を削除できます。

💡 文書には1つ以上のデジタル署名を追加できます。

テキストの署名

PDFエディターを使用して、PDF文書にテキスト署名を追加できます。

ᠻ_ -

- PDFツールツールバーで ^{署名} > テキスト署名を作成 ...
 ✓ 作成済みのテキスト署名が既にある場合には、利用可能な署名一覧から1つ選択します。または、次のようこクリックします:その他の署名 > テキスト署名を作成 ...
- 2. オプションのグループのテキスト署名を作成開いたダイアログボックスで、署名のためのテキストを入力します。
- 3. 必要な場合には署名のスタイルを変更します。
- 4. をクリックします保存。
- 5. ページに表示する署名を配置します。
- 6. 署名のサイズを変更したり、回転させたり、文書内の別の位置に移動したりできます。

テキスト署名は文書に表示されます。

署名の編集

?

- 1. PDFツールツールバーで^{署名} > その他の署名 > 署名の管理 ...
- 2. 開いたダイアログボックスで、署名を選択して、をクリックします 編集.。 ✓ テキストおよび写真の署名の両方を編集できます <u>写真の署名</u> 1981。
- 開いたダイアログボックスで、署名のパラメーターを変更して、をクリックします保存。
 「編集された署名を文書に追加したい場合には、をクリックして使用するページの希望する場所に配置します。

署名の削除

署名を削除するには:

- 文書の署名を選択して Del キーを押すか、
- 文書の署名を右クリックしてショートカットメニューの削除をクリックします。

利用可能な署名のリストから署名を削除するには:

2. 開いたダイアログボックスで削除する署名を選択して、をクリックします削除。 *「テ*キストと写真の署名の両方を削除できます<u>写真の署名</u>。

💡 文書には1つ以上の署名を追加できます。

写真の署名

ABBYY FineReaderを使用してPDF文書に写真の署名を追加できます。

- PDFツールツールバーで ^{署名} > 画像から署名を作成 ...
 『作成済みの署名が既にある場合には、利用可能な署名一覧から1つ選択します。または、次のようこ クリックします:その他の署名 > 画像から署名を作成 ...
- 2. オプションのグループの画像から署名を作成ダイアログボックスで画像を開くをクリックして、画像ファイルを選択するか、クリップボードの画像を張り付けるをクリックして、クリップボードに保存されている署名を貼り付けます。
- 3. 署名のサイズを変更したり、背景を透明にしたりできます。
- 4. をクリックします保存。
- 5. ページに表示する署名を配置します。
- 6. 署名のサイズを変更したり、回転させたり、文書内の別の位置に移動したりできます。

写真の署名は文書に表示されます。

☑ 文書には任意の数の署名を追加できます。

💡 写真の署名を編集または削除できます。以下も参照してください: <u>デキストの署名</u>所。

PDF文書をパスワードで保護

PDF文書を作成する際に不正アクセス 編集、印刷から保護するためにパスワードを設定できます。

本章の内容

- パスワードと許可 (99)
- <u>PDFからの機密情報の削除</u>100

パスワードと許可

PDF文書を作成する際に「「「「不正アクセス編集、印刷から保護するために」 パスワードを設定できます。PDF文書は文書を開くパスワードおよびはたは許可パスワードで保護することができます。

PDF文書が不正アクセスから保護されている場合、文書の作成者が指定した文書を開くパスワードを入力した後での み開くことができます。文書が不正な編集や印刷から保護されている場合、これらのアクションは文書の作成者が指 定した許可パスワードを入力した後でのみ実行できます。許可パスワードを使用して保護されたPDF文書を開くことも できます。

文書をパスワードで保護するには、以下の手順に従います。

PDFツールツールバーのボタンをクリックするか、次のようにクリックします:ツール
 セキュリティ設定。

セキュリティ設定ダイアログボックスが開きます。

- 2. 文書が不正に開かれないようこするには、文書を開くためのパスワードでアクセスを制限するオプション をクリアします。
- 3. 文書を開 ダ スワードを入力して確認します。 ? 文字を非表示 オプションをクリアします。この場合、入力した文字は画面に表示されるため、パスワードを再入力する必要がありません。
- 4. 不正な印刷、編集、コピーから文書を保護する場合には、許可パスワードで印刷と編集を制限する オプションをクリアします。
- 5. 許可パスワードを入力して確認します。 「
 文書を開くパスワードと許可パスワードは別々のものにする必要があります。
- 6. 印刷ドロップダウンリストから文書の印刷解像度を選択します。
- 7. 編集 ドロップダウンリストから 許可する編集操作を選択します。
- 8. 他のユーザーが文書のコンテンツをコピーおよび編集できるようこする場合には、対応するオプションを選択します。
- 9. 暗号化レベルと暗号化するコンポーネントを選択します。
- 10. をクリックします OK。

再度パスワードを確認するよう求めるメッセージが表示されます。開いた文書に変更を保存するか、新規に文書を作成できます。

PDFからの機密情報の削除

PDFエディターを使用して、PDF文書を公開する前にPDF文書から機密情報を削除できます。テキストおよび画像の両方を編集することができます。

- 1. PDFツールツールバーで データの修正 * をクリックするか、このツールの横にある矢印をクリックして、を 選択します 編集モード。
- 2. 編集されたテキストを塗りつぶす四角の色を変更する、は、ツールバーの7つのカラーボックスのうちの、ばれ かをクリックするか、矢印をクリックしてパレット内のその他の希望する色を選択します。 さらに多くの色を表 示するには、をクリックします **色の詳細**..。



3. 削除するテキストおよびまたは画像を選択します。

結果として、選択されたコンテンソは文書から削除され、使用された箇所すべてが選択した色で塗りつぶされます。

ABBYY FineReaderでは検索機能を使用して、機密データを削除できます。

- 1. ペインを開きます検索。
- 2. 検索するテキストを入力します。
- 3. 編集したい箇所を選択します。
- 4. 📰 ボタンをクリックします。

選択されたテキストは文書の中で塗りつぶされ、文書の本文には表示されないオブジェクト(即ち コメント、ブックマーク、メタデータ)ではアスタリスクに置き換えられます。

文書の本文にはないオブジェクトやデータ(例:コメント、注釈、ブックマーク、添付、メタデータなど)を削除できます。

- 1. ボタンの隣の矢印をクリックして データの修正 を選択します オブジェクトとデータの削除 ...。
- 2. 開いたダイアログボックスで削除するオブジェクトとデータを選択して、をクリックします適用。

PDF文書の作成

本章の内容

- <u>選択したページからPDF文書を作成</u>
 ₁₀₁
- <u>仮想プレターを使用してPDF文書を作成する</u>

✓ ファイル、スキャン、デジタル写真からのPDF文書の作成に関する詳細手順は、以下を参照してください: PDF文書
 の作成211 および PDFへのスキャン 383。

選択したページからPDF文書を作成

PDFエディターを使用して洗濯したページからPDF文書を作成できます。

- 1. ペインでページ PDFを作成したいページを選択します。
- 2. ページを右クリックしてショートカットメニューで選択したページでPDFを作成をクリックします。
- 3. 作成された文書は新しいPDFエディターウィンドウで開かれます。

仮想プリンターを使用してPDF文書を作成する

プレクーを選択できるすべてのアプケーションからPDF文書を作成できます。PDF-XChange 5.0 For ABBYY FineReader 14 が使用されます。

- 1. PDFを作成したい 文書を開きます。
- 2. 印刷オプションダイアログボックスを開きます。
- 3. 利用可能なプレターの以下で、以下を選択します: PDF-XChange 5.0 For ABBYY FineReader 14。
- 4. 必要であれば、をクリックして プロパティ...PDF作成設定を調整します。
- 5. をクリックします印刷 PDF文書の作成を開始します。
- 6. 開いたダイアログボックスで、ファイルの名前と場所を変更し、保存した後で、文書を表示するために開いた 1、電子メールで文書を送信したりできます。PDFにファイルを追加を選択して、既存のPDF文書にPDF文 書を追加することもできます。

PDF文書の保存とエクスポート

PDFエディターを使ってPDF文書を保存、印刷、電子メールで送信したり、さらに処理するためにOCRエディターに送信したりできます。

本章の内容

- <u>PDF文書の保存</u>¹⁰³
- <u>PDF/Aの保存</u> 104
- <u>その他の形式への保存</u>105
- <u>PDF文書のサイズの削減</u>106
- <u>PDF文書をOCRエディターに送信</u>107
- <u>PDF文書をメールで送信</u>
- <u>PDF文書の印刷</u>108

PDF文書の保存

PDFエディターを使用してPDF文書全体または一部のページのみを保存できます。保存には複数のオプションがあります。

- 現在のPDF文書に作成した変更を保存するには、次のようにクリックします: ファイル > 保存。または、次のようにクリックします:
 (メインツールバーで)。
- 現在のPDF文書を別の名前で保存、または別のフォルダに保存するには、次のようにクリックします:ファイル>名前を付けて保存 > PDF ドキュメント.。または、次のようにクリックします:

→ ^{名前を付けて保存} 、 (メインソールバーで)その後、をクリックします。 PDF ドキュメント...。

- ・ 文書をユーザーがエンテンソの選択、コピー、編集を実行できるPDF文書として保存するには、次のようにクリックします:ファイル > 名前を付けて保存 > 検索可能PDF文書。または、次のようにクリックします: 名前を付けて保存 (メインソールバーで)その後、をクリックします。検索可能PDF文書。
 その結果、PDF文書は現在選択されている保存オプションで検索可能なPDF文書に変換されます。保存 オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション...ボタンをクリックし、目的の保存オプションを PDFタブで選択します
- テキストレイヤーなしでPDFを保存するには(そうしたPDF文書はコンテンツを検索、選択、コピー、編集できません)、次のようにクリックします:ファイル>名前を付けて保存 > 画像のみのPDF文書。または、次のようにクリックします:名前を付けて保存 (メインツールバーで)その後、をクリックします。画像のみのPDF文書。

その結果、PDF文書は現在選択されている保存オプションで、画像のみのPDFに変換されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション ...ボタンをクリックし、目的の保存オプションを PDFタブで選択します

✓ 文書の一部のページのみを変換するにはページペインで、保存するページを選択して、ショートカットメニューで名前を付けて保存をクリックします。

PDF/Aの保存

PDFエディターを使用してPDF/Aで文書を保存できます。このフォーマットは長期間の保存を意図しています。

PDF/A文書には正しく表示するのに必要なすべての情報が含まれます:

- すべてのフォントは文書に埋め込まれています(非表示のテキストを除く)。
- 埋め込まれたフォントのみ使用されます。
- デバイスに関わらず、すべての色が正しく表示されます。
- 文書で使用されるメタデータは該当する基準に適合します。

以下はサポートされていません:

- オーディオ、ビデオ、3Dオブジェクト
- スクリプト
- 暗号化
- 外部 コンテンソへのリンク
- 著作権で保護されたコンテンツ(例:LZW)。

PDF/A で PDF 文書を保存するには:

- たクリックします ファイル > 名前を付けて保存 > PDF ドキュメント.。または、ペインの上部で
 ジ^{名前を付けて保存} ボタンをクリックして、その後、をクリックします PDF ドキュメント.。
- 2. 開いたダイアログボックスで、文書の名前およびロケーションを指定します。
- 3. PDF/A を作成するを選択したら、その後PDF/A バージョンをドロップダウンリストから 1041 を選択します。
- 4. をクリックします保存。

☑ PDF/A準拠の文書を様々な形式から作成できます。以下も参照してください: PDF文書の作成 212

PDF/Aバージョン

PDF/A-1	PDF/A-2	PDF/A-3
ВÌА	B`A`U	BÂU

• 2005: **PDF/A-1** はPDF 1.4に基づき、以下の機能をサポートします:

○ ? アクセス可能 ? 追加文書の要件 (タグ)

○ B ?ベーシック?基本的な適合レベル

ISO 19005-1:2005 (Cor 1: 2007, Cor 2: 2011)

- 2011: PDF/A-2 はPDF 1.7に基づき、追加機能をサポートします:
 - \circ **U** Unicode
 - JPEG2000圧縮
 - 透明性
 - o PDF/A添付
 - デジタル署名
- ISO 19005-2:2011
- 2012: PDF/A-3 は追加機能をサポートします:
 - すべての形式のファイルの添付

ISO 19005-3:2012.

その他の形式への保存

PDFエディターを使用してPDF文書全体またはそれぞれのページを様々な形式で保存できます。Microsoft Word、 Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、HTML、画像形式など。

- たクリックします ファイル > 名前を付けて保存 その後、目的の形式をクリックします。または、次のようこク リックします: ジ²¹名前を付けて保存 その後、目的の形式をクリックします。
- 2. 開いたダイアログボックスで、文書の名前およびロケーションを指定します。
- 3. の隣のドロップダウンリストを開き、ファイルオプションすべてのページで1つのファイルを作成するか、ページ ごとに分割するかを指定します。
- 4. をクリックします保存。
- 5. その後、PDF文書は現在選択されている保存オプションで選択した形式に保存されます。

保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション …ボタンをクリックし、目的の保存オプションを選択します。または、次のようこクリックします:ツール > オプション …> <u>書式設定</u>204 、オプションダイアログボックスが開き、選択したフォーマットのタブを表示します。

✓ 文書の一部のページのみを変換するには、ページペインで変換するページを選択し、右クリックしたらショートカットメニューで名前を付けて保存をクリックし、その後、出力フォーマットをクリックします。

☑ PDFおよび画像ファイルを様々な形式の文書に変換できます。以下も参照してください: <u>Microsoft Word 文書</u>
<u>の作成</u>23¹ <u>Microsoft Excel 文書の作成</u>25¹ <u>その他の形式</u>26¹。</sup>

PDF文書のサイズの削減

ページ画像または多数の写真が含まれるPDF文書は非常に大きなることがあります。PDFエディターを使用して、そうした文書のサイズを削減できます。

- 1 をクリックします ファイル > ファイルサイズの縮小 ...。
- 2 開いたダイアログボックスでは、以下のオプションを利用できます:
 - **画像品質** 文書内の写真の品質を下げてファイルのサイズを削減する場合には、このオプションを選択します。
 - MRCE縮を使用する(以下でOCR言語を指定)-ページの画像の視覚的品質を保持しながら ファイルのサイズを大幅に削減するMRCE縮アルゴリズムを認識されたページに適用する場合にはこの オプションを選択します。
 - OCR言語 必ず正し ЮCR言語を選択するようこしてください。
- 3 をクリックします適用。

圧縮されたPDF文書は新しいウィンドウで開かれます。

PDF文書をOCRエディターに送信

PDFエディターを使用してPDF文書をOCRエディター「100] そこでは、認識エリアを設定、認識されたテキストの確認、プロ グラムを非標準フォントや文字を認識するよう学習機能を使用したり、ABBYY FineReaderのその他の高度な機能を 使用できます。

- OCR エディターに、PDF 文書を送信するには、ボタンの隣の矢印をクリックし その後 OCRエディタで認識、検証する。
- ・ 文書の一部のページのみをOCRエディターに送信するには、ページペインで送信したいページを選択して右
 クリックし、ショートカットメニューで選択したページをOCRエディタに送信をクリックします。

💡 OCR エディターに、文書を送信する際、以下のドキュメントオブジェクトの一部が失われます:

- 添付
- ブックマーク
- コメント
- 注釈

■ PDFエディターで文書の作業が終了した後は、文書をOCRエディターに送り返すことができます。これを実行 するには、ボタンの隣の矢印をクリックし ^{弾 送信} ボタンをクリックし、その後 PDFエディタに送信。 または、次のようにクリックします:ファイル > 送信先 > PDFエディタ.。

PDF文書をエメールで送信

PDFエディターを使用してPDF文書をエメールで送信できます。

- 1. メインツールバーのボタンをクリックするか、次のようこクリックします:ファイル > 電子メール.。
- 2. 開いたダイアログボックスで、必要な場合には文書名を変更します。
- 3. Eメールで送信するページを選択します。
- 4. をクリックします電子メールメッセージの作成。

Eメールが作成され、PDF文書はこのメッセージに添付されます。受信者のアドレスを入力してメッセージを送信します。

PDF文書の印刷

PDFエディターを使用してPDF文書を印刷できます。印刷する前に、コンピュータに接続されたローカルまたはネットワー ケプリンターがあること、プリンターのドライバーがインストールされていることを確認してください。

- 1 ヨン メインツールバーのボタンをクリックするか、次のようにクリックします:ファイル > 印刷 .。
- 2 開いたダイアログボックスで、目的の印刷設定を指定します:
 - プリンター 利用可能な印刷デバイスを1つ選択します。
 - コピー 印刷する部数を指定します。
 - ページからプリント 印刷するページを指定します (ページすべて、選択したページのみ、またはページ の範囲を印刷するかを選択できます)。
 - ページ設定 紙のサイズおよび方向を指定します。
 - 縮尺と位置 1枚の印刷ページに配置する文書のページ数および画像の宿舎買うや両面印刷などのその他の印刷設定を指定します。
 - モノクロ-白黒で文書を印刷する場合にはこのオプションを選択します。
 - ファイルに印刷 文書のすべてのページを1つのファイルに保存する場合にはこのオプションを選択します。
 - 注釈とマークアップを印刷 コメントを印刷する場合にはこのオプションを選択します。
- 3 をクリックします印刷。
OCRエディター

OCRエディターは、光学文字認識テクノロジーを使用して文書スキャン、PDF、デジタル写真をはじめとする画像ファイルを編集可能な形式に高度変換します。

OCRエディターでは、OCRエリアの設定、認識されたテキストの確認、プログラムに非標準の文字やフォントを認識させる学習機能、その他OCR品質の最大化を目的とした拡張機能の使用が可能です。

本章の内容

- <u>OCRエディターの起動</u>251
- <u>OCRエディターのインターフェイス 110</u>
- <u>
 文書の取得</u>
 ₁₁₄
- <u>文書の認識</u> 116
- <u>OCR結果の向上</u> 123
- <u>テキストの確認と編集</u>144
- <u>PDF文書からのテキスト、表、写真のコピー</u>57
- <u>OCR結果の保存</u> [152]

OCRエディターの起動

OCRエディターを開く方法はいくつかあります:

- まず新規タスクウィンドウで、以下の順にクリックします:

 - または新しいタスク> ツール > OCRエディタ
 - または新しいタスク > ファイル > OCRエディタで開く
- PDFエディターで、以下の順にクリックします:
 - <u>PDFエディタ-</u>[48] > ツール > OCRエディタ。
- Windowsのスタートメニューを開き、ABBYY FineReader 14 > ABBYY FineReader 14 OCRエディ
 タ とクリックします (Windows 10の場合は[スタート]
 テ すべてのプログラム > ABBYY
 FineReader 14 > ABBYY FineReader 14 OCRエディタ とクリックします)。

ビント。最後に使用されたプロジェクトと新規プロジェクトのどちらをOCRエディターの起動時に開め設定できます。これを実行するには新しいタスク > オプション > 全般 とクリックして、新規OCRプロジェクトを開くまたは最後に使用したOCRプロジェクトを開くを選択します。

OCRエディターのインターフェイス

OCRエディターウィンドウには、現在のOCRプロジェクトが表示されます。OCRプロジェクトでの作業に関する詳細は、 OCRプロジェクト
が を参照してくださし



- ・まずページペインには、OCRプロジェクトに含まれているページが表示されます。ページビューには、サムネイル(上図)と詳細というつのモードがあります。詳細モードでは、文書のページとそのプロパティのリストが表示されます。表示を切り換えるには、ページペインの任意の場所を右クリックし、ナビゲーションペイン>サムネイルまたはナビゲーションペイン>詳細と選択します。もしくは、表示 OCRエディターウィンドウ上部のメニューを使用します。
- この 画像 ペインには、現在のページの画像が表示されます。ここでは、 認識エリア [127] を編集し、エリアプ ロパティ [130] を変更できます。
- この テキスト ペインには、認識されたテキストが表示されます。ここでは、スペルチェックを実行し、認識されたテキストを編集できます。

まずズームペインには、テキスト行の拡大画像、または現在作業中のその他の画像エリアが表示されます。この画像ペインにはページ全体が表示され、ズームペインでは特定の画像のフラグメントを検査できます。たとえば、文字の画像とテキストウィンドウの認識された文字との比較が可能です。画像のスケール

```
を変更するには、「…」「100%」、一、十、ペイン下部のコントロールを使用します。
```

ツールバー

OCRエディターには複数のソールバーがあります。ツールバーボタンを使えば、プログラムコマンドに簡単にアクセスできます。対応するキーボードショートカットキーを押しても、同じコマンドを呼び出すことが「2611 できます。

この メイン ツールバー は、最もよぐうわれる操作のボタンセットが特徴です。これらのボタンを使って、文書を開いた り、ページをスキャンしたり、画像を開いたり、ページを認識したり、結果を保存することができます。 メインツールバーはカ スタマイズできません。

この クイック アクセスバー は完全にカスタマイズ可能で、最もよく使用するボタンが含まれています。 デフォルトでは、 このツールバーは表示されません。 ツールバーを表示するには、表示 > ツールバー どクリックし、クイック アクセスバ ー を選択します。 もしくは、メインツールバーの任意の場所を右クリックして クイック アクセスバー を選択します。

🗠 🗠 🖿 🚖 🖙 Dシア語と英語 🚽 🔍 🕞 🔓 🔏 🔓 🔂 🔚 🗐 🗐 📋 📋 🗀

この クイック アクセス バー をカスタマイズするには:

- 1. まず 表示 > カスタマイズ … とつリックし、 ツールバーとショートカットのカスタマイズ ダイアログボックスを開きます。
- 次にツールバータブで、カテゴリードロップダウンリストからカテゴリーを選択します。
 ばなお、コマンドリストで利用できるコマンドのセットは状況に応じて変わります。コマンドは、メインメニュー と同じ方法でグループ分けされています。
- 3. コマンドを追加または削除する場合は、コマンドリストからコマンドを選択し、>> をクリックして クイックア クセスバーに追加するか、<< をクリックして削除します。
- 4. 変更を保存する場合はOK をクリックします。
- 5. もし **クイック アクセス バー** をデフォルトの状態 にリセットしたい 場合は、**すべてリセット** ボタンをクリックします。

ツールバー (ページ 画像 および テキストペイン)には、各ペインに表示されるオブジェクトに適用できるコマンドのボタンが含まれています:

8 1 0 0	· ··· ·	ページベインの ツールバー
🛂 画像の編集 🗋 ページを認識	ページを保存 ト 一 こ ご くージを解析 ご い い い	画像ベインのツ ールバー
本文 + 9 pt,太字 A スタイルエディタ	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	テキストペイン のツールバー

次に警告ペインには、警告とエラーメッセージが表示されます。

イ ト 富 解像度を 300 dpi 以上に上げます。

この警告ペインを表示するには、表示 >

警告を表示

とクリックするか、 CRエディターウィンドウの左下角にあるボタンをクリックします。

表示されている警告とエラーは、ページペインで選択されているページに関するものです。警告とエラーを確認し、不要なメッセージを削除するには、

OCRエディターワークスペースのカスタマイズ

- 不要なペインを一時的に非表示にできます。ペインの表示 俳表示を切り 替えるには、表示 メニューか 以下のキーボードショートカットを使用します:
- F5 ページペインの表示と非表示を切り替えます。
- F6 画像ペインの表示と非表示を切り替えます。
- F7 画像 および テキストペインの表示と非表示を切り替えます。
- F8 テキストペインの表示と非表示を切り替えます。
- Ctrl+F5 ズームペインの表示と非表示を切り替えます。
- ペインのサイズを変更するには、マウスカーソルをはずれかの境界線に置き、二重矢印が表示されたら目的の方向に境界線をドラッグします。
- なお、ページまたはズームペインの位置を変更するには、表示メニューか、ペインのショートカットメニューを使用します。
- また、警告ペインの表示と非表示を切り替えるには、表示をクリックし、警告を表示アイテムを選択、または選択解除します。
- また、プロパティバー、画像またはテキストペイン下部)の表示と非表示を切り替えるには、ペインのコ ンテキストメニューでプロパティアイテムを選択または選択解除するか、
- ペインのプロパティによっては、エリアとテキスト2001 タブオブション(ダイアログボックス)でカスタマイズできるものがあります。

現在のOCRプロジェクトのページはすべて、ページペインで表示されています。2つのページビューを利用できます。

このページペインでのページの表示方法を変更するには:



- 次に表示 > ナビゲーションペインとクリックします。
- 次にページペインの任意の場所を右クリックし、コンテキストメニューでナビゲーションペインをクリックした後、目的のアイテムを選択します。

ページを開くには、ページペイン、サムネールビュー)でサムネイルをダブルクリックするか、その番号(詳細ビュー)を ダブルクリックします。選択されたページの画像が画像ペインに表示されます。OCRがそのページで既に実行されてい る場合は、認識されたテキストがテキストペインに表示されます。

文書の取得

OCRエディターの起動後は、画像ファイルかPDFを開く必要があります。本章では、OCRエディターで処理する画像や PDF文書の取得方法について説明します。

本章の内容

- <u>画像やPDFを開く</u>114
- <u>紙の文書のスキャン</u>
 ¹⁹⁴

■ OCRの品質は、ABBYY FineReaderで開く画像やPDFの品質によります。文書のスキャンや写真撮影に関する情報、およびスキャンや写真でよく発生する不具合を除去する方法については、<u>画像処理のオプシュンで</u>おしてする情 <u>」による画像の編集</u>

画像やPDFを開く

ABBYY FineReaderでは、PDF、およびサポートされている形式 225 の画像 ファイルを開くことができます。

画像やPDFファイルを開くこよ、以下の手順を実行します:

- 1. OCRエディターで、ツールバーの 🏴 🕅 をクリックするか、ファイル > 画像を開く…とクリックします。
- 2. 開かれるダイアログボックスで、画像ファイルまたはPDFファイルを選択します。
- 3. ページが複数あるファイルを選択した場合は、開ページの範囲を指定できます。
- 4. 画像を自動処理したい場合は、ページ画像が追加されたら自動的にページを処理するを選択します。

ビント。画像のどの不具合を修正するべきか、または文書を自動的に分析および認識すべきかなど、プログラムが画像に対して実行する操作を指定できます。画像処理オプションを指定するには、オプション …ボタンをクリックします。 詳しては<u>画像処理のオプンョン</u>2311を参照してください。

■新しいページを開く時にOCRプロジェクトが既に開いている場合、選択されたページはこのプロジェクトの最後に追加されます。開いているOCRプロジェクトがない場合、選択されたページから新しいプロジェクトが作成されます

■ページやOCRプロジェクトでの操作に関する詳細は、OCRプロジェクト・
「」を参照してください。

■ PDFファイルによっては、作成者によってアクセスが制限されている場合があります。そのような制限として、パスワードによる保護、および文書を開いたり内容をコピーする際の制限があります。そのようなファイルを開こうとすると、ABBYY FineReaderがパスワードを入力するよう求めます。

紙の文書のスキャン

文書をスキャンするには:

- 1. OCRエディターで、ツールバーの = ^{スキャン} をクリックするか、 ファイル > ページのスキャン … とクリックします。
- 2. スキャンデバイスを選択し、スキャン設定 1941 を指定します。
- 3. 次にプレビューボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
- 4. 画像を確認します。満足できない場合はスキャン設定を変更し、プレビューボタンを再度クリックします。
- 5. 次に設定 …とクリックし、 画像処理のオプション 2011 を指定します。 これらのオプションによって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
- 6. 次にスキャンとクリックします。
- 7. スキャンが完了するとダイアログボックスが開き、以下の2つの選択肢が表示されます:

1	盐 もっとスキャンする(S)	🗋 プレビュー(P)	×
---	----------------	------------	---

- 現在のスキャン設定を使ってさらにページをスキャンする場合は、もっとスキャンするをクリックします。
- スキャンされたページを表示する場合はプレビューをクリックします。
- ダイアログボックスを閉じる場合は をクリックします。
- 8. 新しパージをスキャンする時にOCRプロジェクトが既に開いている場合、スキャンされたページはこのプロジェクトの最後に追加されます。開いているOCRプロジェクトがない場合、スキャンされたページから新しいプロジェクトが作成されます

■最適なスキャン設定の選択に関するビントについては、<u>スキャンのビントいの</u>を参照してください。

文書の認識

ABBYY FineReaderは、光学文字認識 (OCR)テクノロジーによって文書の画像を編集可能なテキストに変換します。OCRの前に、プログラムは文書全体の構造を分析し、テキスト、バーコード、写真、表を含んでいるエリアを検出します。最高のOCR結果を得られるよう正しいOCR言語[228]、認識モード[234]、印刷タイプ[229]を選択するようにして ぐださい

デフォルトでは、OCRプロジェクトに含まれる画像はプログラムで選択されている設定によって自動的に認識されます。

ヒント。新しく追加した画像の自動分析とOCRは、画像処理 2017 タブ (オプション ダイアログボックス)で無効にできます。このダイアログボックスを開くには、ツール > オプション …とクリックします。

場合によってはOCRプロセスを手動で開始する必要があります。これには、自動OCRを無効にしたり、画像にエリアを 手動で設定したり、オフション 「 ッ ダイアログボックスで以下のいずれかのパラメーターを変更した場合などが該当しま す:

- OCR言語 (言語 タブ)
- OCRオプション(**OCR** タブ)
- 使用されるフォント(OCR タブ)

OCRプロセスを手動で開始するには:

- メインソールバーで (④ 認識 ボタンをクリックします。
- または認識 > すべてのページを認識 とりリックします。

ヒント。 選択されたエリアやページを認識させるには、エリア または 認識 メニューを使用するか、エリアやページを右ク リックしてコンテキストメニューを呼び出します。

☑以下も参照してください:::

- <u>OCRオプション</u>234
- <u>OCRの実行前に考慮しておくべき文書機能</u>
- <u>エリアの編集</u> 127
- <u>OCR結果の向上</u> 123

OCR プロジェクト

このプログラムの使用中に作業を途中でOCRプロジェクト²⁵⁵に保存し、後で同じ地点からその作業を再開できます。 OCRプロジェクトには、ソース画像、画像で認識されたテキスト、プログラム設定、ユーザーパターン、²⁵⁵言語、作成済 みの言語グループが含まれています。

このセクションでは、以下のトピックについて取り上げます:

- <u>以前保存 したOCR プロジェクトを開く</u>117
- <u>前のバージョンのABBYY FineReaderの設定を使用</u>
- <u>OCR プロジェクトへの画像の追加</u> 118
- <u>OCRプロジェクトからのページの削除</u>118
- <u>OCRプロジェクトの保存</u>118
- <u>OCRプロジェクトを閉じる</u>118
- <u>OCRプロジェクトを複数のプロジェクトに分割</u>
- OCRプロジェクトでのページの並べ替え119
- <u>文書メダデータでの作業</u> 120
- パターンや言語での作業 [12]

OCR プロジェクトを開く

OCRエディターを開始すると新しいCRプロジェクトがデフォルトで作成されます。この新しいCRプロジェクトで作業 するか、既存のプロジェクトを開きます。

既存のOCRプロジェクトを開くこは:

- 1. まず ファイル > OCR プロジェクトを開く...とクリックします。
- 2. 開かれるダイアログボックスで、開 QOCR プロジェクトを選択します。

■前のバージョンのプログラムで作成されたOCRプロジェクトを開くと ABBYY FineReaderはこれを現行のバージョンで 使用されている新し、形式に変換しようとします。この変換は一度実行すると元に戻せないため、別の名前でOCRプロジェクトを保存するよう求めるメッセージが表示されます。前のプロジェクトで認識されたテキストは、新しいプロジェクト

には持ち越されません。OCRプロジェクトでページを認識するには、 (Q) 認識 ボタンをクリックします。

ビント。 OCRエディターの起動時に、最後に使用されたOCRプロジェクトが開かれるようこするには、最後に使用したOCRプロジェクトを開くまず全般 タブ(オプション ダイアログボックス)を選択します。このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると聞きます。

また、Windows ExplorerでOCRプロジェクトを右クリックして ABBYY FineReader 14 でOCR プロジェクトを開くを 選択することもできます。 OCR プロジェクトは、 ^図アイコンでマークされています。

前のバージョンのABBYY FineReaderの設定を使用

ABBYY FineReaderでは、前のバージョンで作成されたファイルからユーザー辞書やプログラム設定をインポートできます。

ABBYY FineReader 10、11、12で作成された辞書を使用するには:

- 1. まず ツール > 辞書を表示 …とクリックします。
- 2. 次にユーザー辞書ダイアログボックスで、辞書の言語を選択して表示 …をクリックします。
- 3. 次に…の辞書 ダイアログボックスでインポート…をクリックし、辞書へのパスを指定します。
- 4. 辞書ファイルを選択して開くをクリックします。

OCRプロジェクトへの画像の追加

- 1. まず **ファイル** > 画像を開く…とクリックします。
- 2. 開かれるダイアログボックスで、1つまたは複数の画像を選択して開くをクリックします。画像は開いている OCRプロジェクトの最後に追加され、そのコピーがOCRプロジェクトフォルダーに保存されます。

また、Windows Explorerで画像を右クリックし、ショートカットメニューで ABBYY FineReader 14 で変換する > OCRエディタで開くと選択することもできます。選択されたファイルは新しい OCRプロジェクトに追加されます。

また、文書のスキャンも追加できます。以下も参照してください: 紙の文書のスキャン「いう。

OCR プロジェクトからのページの削除

- まずページペインでページを選択し、削除をクリックします。
- または終了 > ページの削除 .とクリックします。
- またはページペインでページを右クリックし、てショートカットメニューで削除 …を選択します。

またページペインでは、1ページまたは複数のページを選択して削除できます。

OCRプロジェクトの保存

- 1. まず ファイル > OCR プロジェクトを保存 …とクリックします。
- 2. 開かれるダイアログボックスで、OCRプロジェクトの名前を入力し、保存先のフォルダーを指定します。

♀ OCRプロジェクトを保存する時は、ページ画像と認識されたテキストだけでなくプロジェクトでの作業中に作成されたパターンや言語もすべて保存されます。

OCR プロジェクトを閉じる

• OCRプロジェクトを閉じるには、ファイル > 閉じるとクリックします。

OCR プロジェクトを複数のプロジェクトに分割

ページが複数ある大量の文書を処理する時は、まず文書をすべてスキャンした後で、分析、認識したほうが効率的な 場合が多々あります。ただし、紙の文書の元の書式設定をそれぞれ正しく維持できるよう ABBYY FineReaderは各 文書を別々のOCRプロジェクトとして処理する必要があります。ABBYY FineReaderには、スキャンしたページを別々 のOCRプロジェクトにグループ分けするツールが含まれています。

OCRプロジェクトを分割するには:

- 1. まずページペインの任意の場所を右クリックし、ショートカットメニューで新規OCRプロジェクトを新しいペ ージに移動する…を選択します。
- 2. 開かれるダイアログボックスで、OCRプロジェクトを追加ボタンをクリックし、必要な数のOCRプロジェクトを 作成します。
- 3. 以下のいずれかの方法で、ページペインから別のOCRプロジェクトにページを移動させます:
 - ページを選択してマウスでドラッグします。
 複数のOCRプロジェクト間でページを移動させる場合は、ドラッグアンドドロップを使用することもできます。
 - また、移動ボタンと戻すボタンも使用できます。ページを現在のプロジェクトに移動させるには、移動ボタンを使います。
 - また、Ctrl+右矢印を押すと選択したページがページペインから現在のOCRプロジェクトに移動します。Ctrl+左矢印または削除を押すと元のプロジェクトに戻します。
- 4. 完了したら**作成** をクリックしてOCR プロジェクトを新規作成するか、 すべて作成 をクリックして一度にすべてのプロジェクトを作成します。

ビント。また、選択したページをページペインから別のOCRエディターのインスタンスにドラッグアンドドロップすることもできます。選択されたページはOCRプロジェクトの最後に追加されます。

OCR プロジェクトでのページの並べ替え

- 1. まずページペインで、1ページまたは複数のページを選択します。
- 2. 次にページペインの任意の場所を右クリックし、ショートカットメニューでページの並び替え…を選択します。
- 3. 次にページの並べ替えダイアログボックスで、以下のいずれかを選択します:
 - ページの並び替え(取り消し不可) 選択したページ以降のすべてのページ番号が連続して変更されます。

• 両面スキャンの後にページ順を元に戻す

このオプションによって、両面印刷文書の元のページ番号付けを復元できます。このオプションは、自動 フィーダーのスキャナーを使用して、最初に奇数ページをすべてスキャンした後に偶数ページをすべてス キャンする場合に便利です。偶数ページには、普通の順序と逆の順序のいずれかを選択できます。 ? このオプションは、連続するページが3ページ以上選択されている場合にのみ機能します。

• ブックのページを差し替える

このオプションは、左から右に書く言語の書籍をスキャンした後、正し、言語を指定せずに見開きページを分割する場合に便利です。

「このオプションは、連続するページが2ページ以上選択され、そのうちの少なくとも2ページが見開きページになっている場合にのみ機能します。

- **了**の操作をキャンセルするには、**直前の処理を元に戻す**を選択します。
- 4. 次に**OK**をクリックします。

これによってページペインのページが新し、数に従って並べ替えられます。

✓ このサムネールビューでは、選択したページをOCRプロジェクトの目的の場所にドラッグするだけでページ番号付けを
 変更できます。

メタデータ

文書メタデータには、文書の作成者、件名、キーワードなどの詳細情報が含まれています。文書メタデータを使用して、ファイルを並べ替えたい文書プロパティを確認したりできます。また、メタデータを使用して文書を検索することもできます。

PDFおよび特定の種類の画像ファイルを認識する時、ABBYY FineReaderはソース文書メタデータをエクスポートします。メタデータは必要に応じて編集できます。

文書メダデータを追加または変更するには:

- 1. まず <u>書式設定</u> 204 タブ (オプションダイアログボックス)を開きます。このダイアログボックスは、ツール > オ プション … とクリックすると開きます。
- 2. 次に メタデータの編集 ...ボタンをクリックし、開かれるダイアログボックスで、文書の名前、作成者、件名、 キーワードを入力します。
- 3. 最後にOKをクリックします。

パターンや言語での作業

ユーザーパターンや言語を保存し、読み込むことができます。

『パターンの詳細については、以下を参照してください: <u>文書に非標準フォントが含まれる場合</u>137 言語の詳細については、以下を参照してください: <u>プログラムが一部の文字を認識できなかった場合</u>147。

パターンや言語をファイルに保存するには:

- 1. まず OCR タブ (オプション ダイアログボックス)を開きます。このダイアログボックスは、 ツール > オプション ... とクリックすると開きます。
- 2. 開かれるダイアログボックスでパターンと言語を保存 ...
- 3. をクリックし、ファイルの名前を入力して保存をクリックします。

ユーザー言語、言語グループ、辞書、パターンが保存されているフォルダーへのパスがこのファイルに含まれるようこなります。

パターンと言語を読み込むには:

- 1. まず OCR タブ (オプション ダイアログボックス)を開きます。このダイアログボックスは、ツール > オプション … とクリックします。
- 2. 次にパターンと言語を読み込む ...
- 3. を読み込みオプションダイアログボックスでクリックし、必要な #bt ファイルを選択して開くをクリックします。

OCR プロジェクトでのグループ作業

ABBYY FineReaderには、ネットワークを通じて他のユーザーと文書で作業できるツールが装備されています。同じユー ザー言語とその言語用に作成された辞書を、複数のユーザーで共有できます。

ユーザー辞書と言語を複数のユーザーが利用できるようこするには:

- 1. OCRプロジェクトを作成または開き、プロジェク用のスキャンとOCRのオプションを選択します。
- 2. ユーザー辞書を保存するフォルダーを指定します。このフォルダーにはすべてのユーザーがアクセスできること が必要です。

ビデフォルトでは、%Userprofile%

\AppData\Roaming\ABBYY\FineReader\14.00\UserDictionariesに保存されます。 ユーザー辞書の保存先に別のフォルダーを指定するには:

- a. まず エリアとテキスト タブ (オプション ダイアログボックス)を開きます。このダイアログボックスは、ツール > オプション … とクリックすると開きます。次に ユーザー辞書 …ボタンをクリックします。
- b. 開かれるダイアログボックスで参照 ...ボタンをクリックし、フォルダーへのパスを指定します。
- 3. ユーザーパターンと言語を 120 ファイル (*fbt)に保存します:
 - a. まず OCR タブ (オプション ダイアログボックス)をクリックします。このダイアログボックスは、ツール > オプ ション …とクリックすると開きます。
 - b. 次にパターンと言語を保存 …とクリックします。
 - c. 次に保存オプションダイアログボックスで、ファイルの保存先フォルダーを指定します。このフォルダーにはすべてのユーザーがアクセスできることが必要です。
- 4. これで、他のユーザーもこのユーザー言語と辞書にアクセスできるようこなります。実際にアクセスする場合、 他のユーザーは手順3で作成した*fbtファイルを読み込み、手順2で作成したユーザー辞書の保存先フォ ルダーへのパスを指定する必要があります。

マーザーがユーザー辞書、パターン、言語にアクセスできるようこなるには、保存先フォルダーの読み取り/
 書き込み許可が必要です。

利用可能なユーザー言語とそのパラメーターのリストは、OCR タブ(オプションダイアログボックス)をクリックします。この ダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると聞きます。

ユーザー辞書が複数のユーザーによって使用されている場合、ユーザーは対応する辞書に対して単語を追加または削除できますが、言語のプロパティは変更できません。

ユーザーによってユーザー辞書が編集されている場合、他のユーザーはこの辞書を使ってOCRとスペルチェックを実行できますが、単語の追加や削除はできません。

ユーザーが行うユーザー辞書への変更は、この辞書の保存先フォルダーを選択したすべてのユーザーが利用できるようこないます。変更を有効になるようユーザーはABBYY FineReaderを再起動する必要があいます。

OCR結果の向上

内容:

- <u>文書画像に不具合が多く OCRの精度が低い場合</u>[12]
- エリアが正し、検出されない場合
 127
- 紙の文書の複雑な構造が再現されない場合
- 同じレイアウトの文書を大量に処理する場合 132
- 表や写真が検出されない場合 [13]
- バーコードが検出されない場合[13]
- 正しないフォントが使用されている場合や、一部の文字が ?"や " "に置き換えられている場合「いる
- 印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合[13]
- 文書に多く専門用語が含まれている場合
- プログラムが特定の文字を認識できない場合
- 縦書き または反転したテキストが認識されなかった場合[143]

文書画像に不具合が多く OCRの精度が低い場合

スキャンされた画像やデジタル写真で見られるテキスト行の歪み、傾斜、ノイズなどの不具合によって、認識の品質が低下する場合があります。ABBYY FineReaderには、このような不具合を解決できるさまざまな自動 [231] および 手動 の 124 ツールが装備されています。

手動による画像の編集方法

自動事前処理機能を無効にしたか、特定のページを事前処理する場合は、画像エディターを使って手動でページ画像を編集できます。

画像を手動で編集する方法は以下のとおりです:

- 1. OCRエディターを開き、画像エディターを開きます:
- 2. ツールバー ひゅう (画像 ペイン)をクリックするか
- 3. 終了 > ページの画像の編集 …とクリックします。

画像エディタ < 画像エディタの終了	
	^ 【】 推奨される前処理(<u>R</u>)
	🇌 傾き修正(<u>W</u>)
<image/> <section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><text><text><text><text></text></text></text></text></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>	入キャナまたはカメラから受信した画像の歪みを修正します。 選択範囲 現在のページ (5): 第年スト行の直線化(X) 画像修正(P) 合影至みの修正(Z) 回転して反転(A) ① 分割(I) 中切り取り(Q) 反転(V) 解像度(U) ※ 明るをとコントラスト(C) ① 」カラーマークの削除(凹)
<u>=</u> ↔ ↓ ⊠ 43% ~ —	+ □操作終了後に次のページを表示する(G)

4. この操作によって**画像エディタ**が開き、現在選択されているページが表示されます。画像エディターの右端のパネルに、画像編集用のツールが含まれています。

- 5. 使用するツールをクリックして画像に適用します。変更が画像ペインに表示されます。大半のツールは 文書の特定のページやすべてのページに適用できます。ツールの選択範囲ドロップダウンリストを使えば、 編集するページを指定できます。ページペインで複数のページが選択されている場合は、偶数または奇数 ページ、現在のページ、選択されているページなどを選択できます。
- 6. 画像の編集が終了したら、画像エディター上部にある画像エディタの終了ボタンをクリックします。

画像エディターには以下のソールが含まれています:

・推奨される前処理

プログラムは、画像のタイプに応じてどのような修正が必要かを自動的に判断し、適用します。適用される 修正には、ノイズやボケの削除、テキストより背景色を明るくするための色の反転、傾きの補正、テキスト行 の直線化、台形歪みの修正、画像境界線の切り取りなどがあります。

傾き修正

画像の傾きを補正します。

• テキスト行の直線化

画像のテキスト行の歪みを修正します。

• 画像修正

このグループのソールを使用すれば、テキスト行をまっすくにしたり、ノイズやボケを削除したり、文書の背景色を白に変更することができます。

• 台形歪みの修正

台形歪みの補正や、使用できるデータが含まれていない画像の端の削除を実行します。 このツールが選択されると、画像に青いグリッドが表示されます。 グリッドの角を画像の角にドラッグし、グリッドの横線がテキスト行に平行になるようこします。 変更を適用するには、**修正** ボタンをクリックします。

• 回転して反転

このグループのソールを使用すれば、画像を回転したり、画像のテキストを正しい方向になるよう垂直または、平行方向に変更できます。

分割

このグループのソールを使用すれば、画像を部分に分割できます。書籍をスキャンしている時に見開きのページを分割する必要がある場合に便利です。

•切り取り

有用な情報が含まれていない画像の端を削除します。

• 反転

画像の色を反転させます。テキストの色が非標準(暗い背景に明るいテキスト)の場合に便利です。

• 解像度

画像の解像度を変更します。

•明るさとコントラスト

画像の明るさとコントラストを変更します。

• L~V

このソールを使用すれば、シャドー、ライト、ハーフトーンの濃淡を変更することにい、画像のカラーレベルを調整できます。

画像のコントラストを上げるには、入力レベルヒストグラムの左右のスライダーを移動させます。最も明るい 色と暗い色の範囲が255のインクリメントに分けられています。左のスライダーは画像の中で最も暗いと認識 された部分の色を設定し、右のスライダーは画像の中で最も明るいと認識された部分の色を設定します。 中央のスライダーを右に移動すると画像が暗くない、左に移動すると画像が明るくないます。 出力レベルスライダーを調整して画像のコントラストを下げます。

• 消しゴム

画像の一部を消去します。

• カラーマークの削除

テキスト認識の邪魔にならないようどのような色のスタンプやペンで記入されたマーケでも削除できます。このツールは白い背景を持つスキャン文書を用途としており、デジタル写真やカラー背景の文書では使用しないようこしてください。

エリアが不正確に検出された場合

ABBYY FineReaderは、認識を実行する前にページ画像を分析し、画像に含まれているさまざまなタイプのエリアを検 出します。テキスト、写真、背景の写真、表、そしてバーコードエリアです。この分析によって、どのエリアをどの順 序で認識するかが決定されます。ユーザーインターフェイスでは、エリアタイプは境界線の色で区別されています。

特定のエリアをクリックすると そのエリアが強調表示され、アクティブになります。ここ、 Tab キーを押してエリアをナ ビゲートすることもできます。エリアの番号は、 Tab キーを押した時の選択順序となります。デフォルトでは、これらのエ リア番号は 画像 ペインに表示されませんが、各エリアのエリアプロパティペインに表示できます。エリア番号は、エリ アの並べ替え、ツールが選択された時に表示されます。

エリアを手動で設定および編集できるツールが、画像ペイン上部のツールバー、およびテキスト、写真、背景の写 真および表エリアのポップアップソールバーにあります(エリアを選択するとポップアップソールバーが表示されます)。



💡 位置の調整やエリアタイプの変更後は、必ず画像を再認識させてくださし

エリア編集ツールで実行できる操作は以下のとおりです:

- 新規エリアの作成 127
- エリアの境界線の調整 [128]
- エリアの部分の追加または削除 128
- <u>エリアの選択</u> 129
- <u>エリアの移動</u> 129
- <u>エリアの並べ替え</u> 129
- <u>エリアの削除</u> 129
- <u>エリア内のテキストの方向を変更</u>
- <u>エリアの境界線の色を変更</u>129

エリアの新規作成

- 1. ツールバー (画像 ペイン上部)でソールを選択します:
 - これによって認識エリアの話を設定します。
 - これによってテキストエリアの話を設定します。
 - これによって写真エリアで記を設定します。
 - これによって<u>背景の写真エリア</u>255 を設定します。
 - これによって表エリア256 を設定します。
- 2. マウスの左ボタンを押したまま、マウスポインターを動かしてエリアを設定します。

ヒント。新しいエリアの設定は、**画像**ペインのソールバーでソールを選択しなくてもできます。以下のキーの組み合わせで、画像にエリアを設定できます:

- Ctrl+Shift でテキストエリアを設定します。
- Alt+Shift で写真 結定します。
- Ctrl+Alt で表 を設定します。
- Ctrl+Shift+Alt で背景の写真 エリアを設定します。

エリアのタイプは変更できます。変更したいエリアを右クリックし、ショートカットメニューで領域の種類を変更をクリック して目的のエリアタイプを選択します。

エリアの境界線の調整

- 1. エリアの境界線にマウスポインターを置きます。
- 2. マウスの左ボタンを押したまま、目的の方向に境界線をドラッグします。

✓ エリアのいずれかの角にマウスポインターを置けば、境界線の縦と横を同時に調整することもできます。

エリアの部分の追加/削除

- 1. まず、 1. ます、 1. または 1. またい 1. エリアのソールバーから選択します。
- 2. エリアの内部にマウスポインターを置き、画像の一部を選択します。エリアに対し、このセグメントが追加または削除されます。
- 3. 必要に応じてエリアの境界線を調整します。

注意:

1. これらのツールは、テキスト 写真、および背景の写真 エリアでのみ使用できます。エリアのセグメント は、表やバーコードエリアでは追加も削除もできません。

2. エリアの境界線は、サイズ変更ハンドルを使用して調整することもできます。最終的なセグメントは、マウス であらゆる方向にドラッグできます。新し、サイズのハンドルを追加する場合は、マウスポインターを境界線 上の目的のポイントに置き、Ctrl+Shift キーを押しながら(ポインターが十字マークに変わります)、境界 線をクリックします。新し、サイズのハンドルがエリアの境界線上に表示されます。

エリアの選択

エリアの移動

• エリアを選択し、 Ctrl キーを押しながらドラッグします。

エリアの並べ替え

- 1. まず、 ジール (画像 ペイン上部のツールバー)を選択するか、 領域 > エリアの並べ替え とクリックします。
- 2. 出力文書で表示したい順序でエリアを選択します。

✓ 画像のテキストの方向に関係なくエリアにはページ分析中に左から右へ自動的に番号が付けられます。

エリアの削除

- 削除したいエリアを選択し、削除キーを押します。
- 削除するエリアを選択して右クリックし、ショートカットメニューで削除をクリックします。
- •次に ツールを選択し、 削除するエリアをクリックします。

すべてのエリアを削除には:

•まず画像ペインの内側を右クリックし、ショートカットメニューでエリアとテキストを削除をクリックします。

既に認識されている画像からエリアを削除するとそのエリアに含まれているテキストもすべてテキストペインから削除されます。

テキストの方向の変更

• エリアを右クリックしてショートカットメニューのプロパティをクリックすると 領域のプロパティペインにプロパ ティが表示されます。このダイアログボックスのドロップダウンリストで、向きテキストの方向を選択します。

テキストエリアでのテキストプロパティの編集に関する詳細は、エリアプロパティの編集「ふ」を参照してくださし

エリアの境界線の色を変更するには

- まず ツール > オプション … どうリックして オプション ダイアログボックスを開き、エリアとテキスト タブをクリックします。
- 2. 色を変更したいエリアを選択した後、目的の色を選択します。

エリアプロパティの編集

ABBYY FineReaderは、自動文書分析を実行する際に文書のページにあるさまざまなタイプのエリア(表[、]写真、テ キスト、およびパーコードを検出します。また、文書構造の分析も行い、見出しやその他のレイアウト要素 (ヘッダ ー、フッター、キャプションなど)を識別します。

-部のエリア(テキストおよび表)で不正確に定義されているプロパティは、手動で変更できます。

- 1. まず 画像 ペインか ズーム ペインでエリアを選択し、領域のプロパティペインにプロパテ を表示します。このペインでは、以下の編集可能プロパティが表示されます:
 - 言語
 詳しな<u>OCR言語</u>228 を参照してださし
- 機能 ヘッダー、フッター、脚注といったテキストの機能を表示します(テキストエリアにのみ該当)。
 - 向き
 詳しな<u>縦書きまたは反転したテキストが認識されなかった場合</u>[143] を参照してぐださし
 - 印刷タイプ
 詳しな<u>OCRの前に考慮しておべき文書機能</u>2201を参照してください
 - 反転
 詳しな <u>縦書き または反転したテキストが認識されなかまま合</u>
 を参照してぐださし
 - CJK テキストの向き
 詳しな<u>複雑なスクリプト言語を使った作業</u>240 を参照してください
 注意:
 - a. この 1/ ボタンは、 画像 ペインの幅が足 リず、 プロパティダイアログボックス全体を表示できない 場合に使用し、 このダイアログボックスをナビゲートします。
 - b. テキストのプロパティ(**テキスト**エリア)によっては、これらのエリアのショートカットメニューを使って変更 できます。
- 2. 目的の変更を行った後は、認識されたテキストにその変更が反映されるよう文書を必ず再認識させてください。

エリアの詳細については、エリアの編集 127 を参照してくださし。

紙の文書の複雑な構造が再現されない場合

文書の認識プロセスを実行する前に、ABBYY FineReader では文書の論理的構造の分析を行い、テキスト、画像、 表、およびバーコードを含むエリアを検出します。その後、プログラムはこの分析に基づいてエリアを識別し、認識順序を 決定します。この情報は、元の文書の書式を再生する上で役立ちます。

既定により、ABBYY FineReader では文書を自動的に分析します。ただし、書式設定が非常に複雑な場合は一部のエリアが正しく検出されないにとかあり、その場合は、それらのエリアを手動で修正できます。

エリアを修正するには、次のソールを使用します。

- [画像] ウインドウのソールバーにあるエリアの手動調整ツール
- [画像] ウィンドウまたは [ズーム] ウィンドウで選択 したエリアを右 クリックして使用 できるショートカット メニュー のコマンド
- [**領域**] メニューのコマンド

必要な調整を行った後でOCR プロセスを再起動します。

■「エリアが正しく検出されない場合[127]」も参照してください。

認識設定、エリアプロパティおよび保存設定も元の文書のレイアウトが良好に保持される程度に影響を及ぼします。詳細については、OCRオプション2341」、「エリアプロパティの調整「1301」、および「OCR 結果の保存「1521」のセクションを参照してください。

同じレイアウトの文書を大量に処理する場合

同じレイアウト文書 (フォームやアンケート用紙など)を大量に処理する場合、ページごとにレイアウトを分析すると非常 に時間がかかります。時間を節約するため、類似する文書セットを1部だけ分析し、検出されたエリアをテンプレートとし て保存することができます。その後、同じセットの他の文書にこのテンプレートを使用できます。

エリアテンプレートを作成するには:

- 1. OCRエディターを画像を開き、レイアウトを自動的に分析するか、エリアを手動で設定します。
- 2. まず 領域 > 領域テンプレートを保存 …とクリックします。開かれるダイアログボックスで、エリアテンプレートの名前を指定し、保存をクリックします。

デエリアテンプレートを使用できるようこするには、同じ解像度でセット内のすべての文書をスキャンする必要があります。

エリアテンプレートを適用するには:

- 1. まずページペインで、テンプレートを適用するページを選択します。
- 2. 次に領域 > 領域テンプレートを読み込む ...とクリックします。
- 3. 次に領域テンプレートを開くダイアログボックスで、目的のテンプレートファイル(*blk)を選択します。
- 4. 同じダイアログボックスの 適用先の横にある 選択したページ を選択し、選択されたページにテンプレートを 適用します。
- ヒント。文書の全ページにテンプレートを適用する場合はすべてのページを選択します。
 - 5. 次に閉ぐをクリックします。

表や写真が検出されない 場合

表が検出されない 場合

<u>表エリア</u>256は、表または表形式で配置されたテキストを示します。表が自動的に検出されない場合は、[表] ツールを使用して表を囲む表エリアを描画します。

- 1. [画像] ウィンドウの上部にあるツールバーで リントルを選択し、マウスを使って画像にある表を囲む四角形を描画します。
- 2. 表を右クリックし、ショートカットメニューで[表構造の分析] をクリックするか、表エリアのポップアップツール バーで 🔨 ボタンをクリックします。
- 3. ポップアップ ツールバー、表エリアのショートカット メニュー、または [領域] メニューのコマンドを使用して結果 を編集します。
- 4. OCR プロセスを再度実行します。

すでに認識されたエリアの種類を変更できます。エリアの種類を[表]に変更するには、そのエリアを右クリックし、ショートカットメニューで[領域の種類を変更] > [表] をクリックします。

ABBYY FineReader で表の行ど列が自動的に正しく検出されなかった場合は、レイアウトを手動で調整してOCR プロセスを再度実行することができます。

- [領域] メニューのコマンドまたは表エリアのショートカット メニューにあるコマンドを使用し、次の操作を行います。
 - 表構造の分析 (表の構造を自動的に分析し、縦横の罫線を引く手間を省きます)
 - セルの分割、 セルの結合 および行の結合 (正しく識別されなかった行または列を修正できます)
- ・ 選択した表のポップアップッールバーを使用し、縦または横の罫線の追加、表の罫線の削除、表構造の分析、表のセルの分割、または表のセルもしくお行の結合の操作を行います([表] エリアをクリックし、ポップアップッールバーから適切なツールをクリックします:
- ビント。ポップアップツールバーで ▶ ツールをクリックし、オブジェクトを選択します。

注意

- 1. セル分割のコマンドは、それ以前に結合した表のセルにのみ適用可能です。
- 2. 表のセルまたは行を結合するには、画像上でセルまたは行を選択してから、適切なツールまたはメニューコマンドを選択します。
- 3. 表に縦のテキスト セルが含まれている場合は、まずテキストのプロパティを変更しなければならない にとがあり ます。

4. 表のセルコ画像のみが含まれている場合は、「領域のプロパティ」ペインで「選択したセルを画像として扱うオプションを選択します(エリアを右クリックし、ショートカットメニューで「プロパティ」をクリックします)。

セルニ画像とテキストの組み合わせが含まれている場合は、画像を選択してセル内の専用のエリアに変えます。

☑以下も参照してください:

- 縦書きのテキストまたは反転したテキストが認識されない場合[143]
- <u>エリアが正し検出されない場合</u>[127]
- <u>エリアプロパティの調整</u>130

画像が検出されない場合

画像 255 エリアは、文書に含まれる画像を示します。テキストの一部の認識を行わない場合は、[画像] エリアを使用 することもできます。 画像が自動的に検出されない場合は、[**画像**] ツールを使用して画像を囲む画像エリアを手動で 描画します。

- 1. [画像] ウインドウの上部にあるツールバーで 2 ツールを選択し、マウスを使って画像を囲む四角形を描画します。
- 2. OCR プロセスを再度実行します。

画像に重ねて印刷されたテキストが文書にある場合は、その画像を囲む[背景画像 255] エリアを描画します。

- 1. 「画像」 ウインドウで、ツールバーにある 🐻 を選択し、画像の周囲に枠を描画します。
- 2. OCR 処理を開始します。

既存のエリアを[画像] または[背景画像] に変更できます。エリアを右クリックして、[領域の種類を変更] > [画像] または[領域の種類を変更] > [背景画像] をクリックします。

図 エリアの種類および編集に関する詳細は、「エリアが正しく検出されない場合□27〕」を参照してください。

バーコードが検出されない 場合

<u>バーコードエリア</u>2551 にはバーコードが含まれています。文書に含まれているバーコードを画像としてではなく文字と数字の列として表示させたい場合は、そのバーコードを選択し、エリアタイプをバーコードに変更します。

■ デフォルトでは、バーコードの認識は無効になっています。この機能を有効にするには、ツール > オプション …とつ リックして オプション ダイアログボックスを開き、OCR タブをクリックして パ コードを文字列に変換 オプションを選択 します。

バーコードエリアの設定して認識させるには:

- 1. まず画像ペインかズームペインで、バーコードの周囲にエリアを設定します。
- 2. このエリアを右クリックし、ショートカットメニューで領域の種類を変更 > バーコードをクリックします。
- 3. OCRプロセスを実行します。

ABBYY FineReader 14 が読む取ることができるバーコードのタイプは以下のとおりです:

- Code 3 of 9
- Check Code 3 of 9
- Code 3 of 9 without asterisk
- Codabar
- Code 93
- Code 128
- EAN 8
- EAN 13
- IATA 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- Check Interleaved 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Postnet
- Industrial 2 of 5
- UCC-128
- UPC-A
- UPC-E

- PDF417
- Aztec Code
- Data Matrix
- QR code
- Patch code

■ デフォルトのバーコードタイプは自動検出です。このバーコードタイプは自動検出されます。ただし、すべてのバーコードを自動検出できるわけではないため、領域のプロパティー・ ペインで適切なタイプを手動で選択することが必要な場合もあります。

ABBYY FineReaderが自動検出できるバーコードのタイプは以下のとおりです: Code 3 of 9、Code 93、Code 128、 EAN 8、EAN 13、Postnet、UCC-128、UPC-E、PDF417、UPC-A、QR code。

正しないフォントが使用されている場合や、一部の文字が ?"や "" に置き換えられている場合

文字ではなく ?"や""がテキストペインに表示されている場合は、認識されたテキストの表示用に選択されたフォントに、テキストで使用されているすべての文字が含まれているかどうか確認します。

図以下も参照してください:<u>必要なフォント</u>245。

OCRプロセスを再実行せずに、認識されたテキストのフォントを変更できます。

短い文書でフォントを変更するには:

- 1. 一部の文字で誤ったフォントが使用されているテキストフラグメントを選択します。
- 2. 選択した部分を右クリックし、ショートカットメニューのプロパティをクリックします。
- 3. 目的のフォントを フォント ドロップダウンリスト (テキストのプロパティペイン)から選択します。選択され たテキストフラグメントのフォントが変更されます。

スタイルが使用されている長い文書で、フォントを変更するには「48]:

- 1. まず ツール > スタイル エディタ ... とクリックします。
- 2. 次にスタイルエディタダイアログボックスで、編集したいスタイルを選択し、フォントを変更します。
- 3. 次に**OK** とクリックします。このスタイルを使用しているすべてのテキストフラグメントのフォントが変更されます。

印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合

認識させた1 文書に装飾フォントや特殊文字 (数学記号など)が含まれている場合は、学習機能モードを使用をして 認識精度を向上させることをお勧めします。

学習機能モードではユーザーパターンが 255 作成されます。このユーザーパターンは、テキスト全体にOCRを実行する際に使用できます。

- <u>ユーザーパターンの使用</u> 137
- ユーザーパターンの作成と学習機能 [137]
- <u>ユーザーパターンの選択</u> 138
- <u>ユーザーパターンの編集</u> [13]

ユーザーパターンの使用

文書の認識でユーザーパターンを使用するには:

- 1. まず ツール > オプション … どうリックして オプション ダイアログボックスを開き、OCR タブをクリックします。
- 次にユーザーパターンを使用 オプションを選択します。
 ざもし組み込みパターンも使用 オプション(ユーザーパターンを使用 オプションの下)が選択されている場合、ABBYY FineReaderは作成されたユーザーパターンに加え、ビルトインのパターンを使用します。
- 3. 次にパターンエディタ...ボタンをクリックします。
- 4. 次にパターン エディタ ダイアログボックスでパターンを選択し、OKをクリックします。
- 5. OCRエディターウィンドウ上部のメインツールバーにある (Q) 認識 ボタンをクリックします。

ユーザーパターンの作成と学習機能

新し、文字や合字を認識するようユーザーパターンを学習させるには:

- 1. まず ツール > オプション … どうリックして オプション ダイアログボックスを開き、OCR タブをクリックします。
- 次に新し文字や連結線の認識のために学習機能を使用 オプションを選択します。
 さし組み込みパターンも使用 オプション(新し文字や連結線の認識のために学習機能を使用 オプションの下)が選択されている場合、ABBYY FineReaderは作成されたユーザーパターンに加え、ビレト インのパターンを使用します。
- 次にパターンエディタ…ボタンをクリックします。
 アジア言語についてはパターン学習機能がサポートされていません。
- 4. 次にパターン エディタダイアログボックスを開き、新規 …ボタンをクリックします。

- 5. 次にパターンの作成ダイアログボックスで、新しいパターンに名前を付け、OKをクリックします。
- 次にOKをパターンエディタダイアログボックスでクリックした後に、OKをオプションダイアログボックスでクリックします。
- 7. 次に 🧔 ページを認識 ボタン (画像 ペイン上部のツールバー)をクリックします。

プログラムが認識できない 文字を検出した場合、パターンの調整中 ダイアログが開き、この文字が表示されます。

パターンの調整中					?	\times
アクティブなパターン(C): (Default)					
Tips	&	Ţ	ri	ck	S	f
文字の一部分または隣接す ている場合は、マウスまたはオ	る複数の文章 ボタンを使用し	字の一部? 」てその境	分が枠で囲 界を移動し	ほれ ます <mark>:</mark>	<<	>>
枠で囲まれている文字を入っ	力 <mark>(E)</mark> :	Τ			調整	<u>*(</u> T)
文字師り □太字(D) □斜体(I)	□上付きダ □下付きダ	て字(P) て字(B)				
	戻	3(A)	スキッ	Ĵ(K)	閉	5

 プログラムに、新しい文字や合字の読み方を学習させます。
 合字とはつまたは3つの文字を隙間なく組み合わせたもの(fi、fl、ffiなど)のことであり、プログラムにとって は分割が困難です。実際は、これらの文字を1つの複合文字として扱うとより良い結果が得られます。
 太字や斜体で印刷された単語、または上付き文字や下付き文字の単語は、文字飾り」の下の対応するオプションを選択すれば、認識されたテキストでも書式設定が保持されます。
 前に学習した文字に戻る場合は、戻るボタンをクリックします。フレームが前の場所にジャンプし、最後に 学習した文字回像 -キーボード文字」のペアリングがパターンから削除されます。この戻るボタノは1つの 単語を形成する文字の間を移動するもので、単語の間は移動しません。

重要!

• ABBYY FineReader 14の学習機能は、OCR言語のアルファベットに含まれている文字に対してのみ実行できます。キーボードで入力できない文字を読み取れるようプログラムに学習させるには、2つの文字の組み 合わせを使用して存在しないそのような文字を表すか、必要な文字を文字の挿入ダイアログボックスから

目的の文字をコピーします。このダイアログボックスを開くこは、 Ш とクリックします。

• 各パターンには最大1,000の新し、文字を含めることができます。ただし、合字を作成し過ぎないようこしてく ださし、OCR品質に逆効果が発生する場合があります。

ユーザーパターンの選択

ABBYY FineReaderでは、パターンを使用して 255 OCR品質を改善できます。

- 1. まず ツール > パターン エディタ ... とクリックします。
- 2. 次に**パターン エディタ**ダイアログボックスで、リストのいずれかのパターンを選択し、アクティブに設定ボタン をクリックします。

留意点:

- プログラムが類似する2文字を識別できず、同じつの文字とて認識する場合があります。たとえば、直線状(')、左向き(')、右向き(')の引用符は1つの文字(直線状の引用符)としてパターンに保存されます。つまり、たとえ学習させようとしても、認識されたテキストで左向きや右向きの引用符が使用されることはありません。
- 2. ABBYY FineReader 14は、文字画像によっては対応するキーボード文字を前後のコンテキストに基づいて 選択することがあります。たとえば、小さい円の画像はその直後に別の文字があれば小文字の 6」として 認識され、その直後に数字があれば数字の 6」として認識されます。
- 3. パターンは、そのパターンの作成に使用されたものと同じフォント、フォントサイズ、解像度の文書でのみ使用 できます。
- 4. ファイルコパターンを保存し、別のOCRプロジェクトに使用できます。以下も参照してください: OCRプロ ジェクト
- 5. フォントが異なるテキストを認識する場合は、必ずユーザーパターンを無効にしてください。これを実行する には、ツール > オプション …とクリックして オプション ダイアログボックスを開き、OCR タブをクリックして、組 み込みパターンを使用する オプションを選択します。

ユーザーパターンの編集

OCRプロセスを起動する前に、新し、作成したパターンを編集してください。不正確な学習機能をパターンに適用する と OCR品質に逆効果となる場合があります。パターンには、255 文字全体か合字全体のみ255 含まれるようにする ことが必要です。端が切れている文字、アルファベットのペアリングが間違っている文字は、パターンから削除しなければ なりません。

- 1. まず ツール > パターン エディタ .. とクリックします。
- 2. 次にパターン エディタダイアログボックスで編集するパターンを選択し、編集 ...ボタンをクリックします。
- 3. 次に ユーザー パターン ダイアログボックスで文字を選択して プロパティ...ボタンをクリックします。

開かれるダイアログボックスで:

- •まず文字フィールドに、文字に対応するアルファベットを入力します。
- 次に節リ文字 フィールドで、目的のフォント効果(太字、斜体、下付き文字、上付き文字)を指定します。

不正確に学習された文字を削除するには、削除ボタン(ユーザーパターンダイアログボックス)をクリックします。

文書に多く専門用語が含まれている場合

ABBYY FineReader は、認識した単語を内蔵の辞書と照らし合わせて確認します。認識するテキストに特殊な用語、略語、名称が多数含まれている場合、それらを辞書に追加することには、認識精度を高めることができます。

- 1. [ツール] メニューで[辞書を表示 ..] をクリックします。
- 2. [ユーザー辞書] ダイアログボックスで任意の言語を選択し、[表示 ..] をクリックします。
- 3. [辞書] ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで、単語を入力して[単語を追加] をクリック するか、単語を選択して[削除] をクリックします。

追加しようとしている単語が辞書にすでに含まれている場合、その単語がすでに辞書に含まれていることを通知するメッセージが表示されます。

ABBYY FineReader の以前のバージョン(9.0、10、11 および12) で作成されたユーザー辞書をインポートできます。

- 1. [ツール] メニューで[辞書を表示 ..] をクリックします。
- 2. [ユーザー辞書] ダイアログボックスで任意の言語を選択し、[表示 ..] をクリックします。
- 3. [辞書] ダイアログ ボックスが開きます。 このダイアログ ボックスで [インポート..] ボタンをクリックし、 インポートする辞書 ファイルを選択 します (ファイルの拡張子は、*pmd、*txt、または *dic である必要があります)。

プログラムが特定の文字を認識できない場合

ABBYY FineReader 14は、テキストの認識時に文書の言語に関する220 データを使用します。一般的でない要素 (コード番号など)を伴う文書の場合、プログラムはその文書の言語に含まれていない文字を一部認識できないにとが あります。そのような文書を認識させるため、必要な文字をすべて含んているカスタム言語を作成できます。また、<u>複数のOCR言語のグループを作成し、142</u> 文書の認識時にそのグループを使用することもできます。

ユーザー言語の作成方法

- 1. まず オプション ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます。次に 言語 タブをクリックします。
- 2. 次に新規 …ボタンをクリックします。
- 3. 開かれるダイアログボックスで既存の言語に基づいて新しい言語を作成するオプションを選択し新 しに言語のベースとして使用する言語を選択してOKをクリックします。
- 4. これによって 言語のプロパティダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで:
 - a. 新しに言語の名前を入力します。
 - b. ダイアログボックスで選択した新しい言語またはグループ言語がソース言語 ドロップダウンリストに表示されます。このドロップダウンリストから別の言語を選択することもできます。
 - c. この **アルファベット** にはベース言語のアルファベットが含まれています。 アルファベットを編集したい 場合
 - d. また、辞書 オプショングループには、プログラムがテキストの認識や結果の確認で使用するオプションが 複数含まれています:
 - なし
 この言語には辞書がありません。
 - 組み込み辞書
 プログラムのビレトイン辞書が使用されます。
 - ユーザー辞書

次の編集 …ボタンをクリックし、辞書の用語を指定するか、既存のカスタム辞書かWindows-1252エンコードによるテキストファイルをインポートします(用語はスペースまたはアルファベット以外の 文字で区切る必要があります)。

✓ ユーザー辞書からの単語は、認識されたテキストのスペルチェック時にスペルミスとしてマークされません。すべて小文字でも、すべて大文字でも、最初の文字だけ大文字でも構いません。

辞書の単語	スペルチェック時にスペルミスと判断されない単語
abc	abc Abc ABC

Abc	abc Abc ABC
ABC	abc Abc ABC
Abc	aBc`abc`Abc`ABC

- e. 言語には複数のプロパティを追加できます。プロパティを変更するには、詳細 ...ボタンをクリックして 言語の詳細 プロパティ ダイアログボックスを開き、以下を指定します:
 - 単語の最初または最後の文字
 - 単語とお別に表示されるアルファベット以外の文字
 - 単語内に表示されることがあるものの、無視しなければならない文字
 - この言語を使って認識されたテキストでは表示できない文字(禁止文字)
 - テキストにアラビア数字、ローマ数字、略語が含まれている可能性があるオプション
- 5. これで、新し作成された言語をOCR言語の選択時に選択できるようこなります。 **✓** OCR言語に関する詳細については<u>OCR言語</u>228 を参照してくださし

デフォルトでは、ユーザー言語はOCRプロジェクトのフォルダーに保存されます。また、すべてのユーザーパターンと言語を 1つファイルとして保存することもできます。これを実行するには、オプションダイアログボックスを開きます。このダイアロ グボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます。次に OCR タブをクリックし、パターンと言語を保存 …ボ タンをクリックします。

言語グループの作成

特定の言語の組み合わせを定期的に使用することになる場合は、利便性が高まるよう その言語をグループにまとめてしてください。

- まず オプションダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックする と開きます。次に言語 タブをクリックします。
- 2. 次に新規 ...ボタンをクリックします。
- 3. 次に新しい言語またはグループダイアログボックスで新しい言語グループを作成するオプションを選択し、OKをクリックします。

- 4. これによって言語グループのプロパティダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、言語グループの名前を指定し、グループに含める言語を選択します。
 デキストに特定の文字が含まれていないにとがわかっている場合は、その文字を、禁止文字」として明確に指定してください。この操作を行うと、OCRの速度と精度が向上します。そのような文字を指定するには、詳細…ボタン(言語グループのプロパティダイアログボックス)をクリックし、禁止文字 フィールドに禁止文字を入力します。
- 5. 次に OK をクリックします。

新しグループがメインソールバーの言語のドロップダウンリストに

デフォルトでは、ユーザー言語グループはOCRプロジェクト 100フォルダーに保存されます。また、すべてのユーザーパタ ーンと言語を1つファイルとして保存することもできます。これを実行するには、オプションダイアログボックスを開きます。 このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます。次にOCR タブをクリックし、パターンと言語 を保存 …ボタンをクリックします。

とうト。メインソールバーの言語ドロップダウンリストで、言語グループを選択できます。

- 1. メインソールバーの言語ドロップダウンリストからその他の言語 ...を選択します。
- 2. 次に言語エディタダイアログボックスでOCR 言語を手動で指定オプションを選択します。
- 3. 目的のな言語を選択し OK をクリックします。

縦書きまたは反転したテキストが認識されなかった場合

認識されたテキストの一部について、テキストの向きが正しく検出されなかった場合、またはテキストが反転している255 (すなわち濃い色の背景に薄い色のテキストが印刷されている)場合、そのテキストには多数のエラーが含まれている可能性があります。

この問題を解決するには

- 1. [画像] ウインドウで、縦書きまたは反転したテキストを含むエリアまたは表のセルを選択します。
- 2. [領域のプロパティ] ペインで(ペインを表示するには、エリアを右クリックし、ショートカットメニューで[プロパ ティ] をクリックします)
 - [CJK テキストの向き] ドロップダウン リストからテキストの方向を選択 します または
 - [反転済み] ドロップダウン リストで [反転] を選択します。
- 3. OCR プロセスを再度実行します。

エリアに関する詳細は、「エリアが正しく検出されない場合」
 「」」を参照してください。

テキストの確認と編集

OCR プロセスが完了すると認識されたテキストは[テキスト] ウインドウに表示されます。ユーザーがOCR エラーを簡単に見つけて修正できるように、信頼性が低いと認識された文字は強調表示されます。

認識したテキストは、[テキスト] ウィンドウで直接、または [検証] ダイアログボックスで変更できます (ダイアログボック スを開くこは [認識] > [テキストの検証] をクリックします)。 [検証] ダイアログボックスでは、信頼性が低い単語の見 直し、スペル ミスの修正、およびユーザー辞書への新し、単語の追加を行うことができます。

ABBYY FineReader では、出力文書の書式を変更することもできます。認識されたテキストの書式設定を行うこよ [テキスト] ウィンドウのメインツールバーにあるボタン、または[テキストのプロパティ] ペインのボタンを使用します (ペイン を表示するには、[テキスト] ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、ショートカット メニューで [プロパティ] をクリックし ます)。

■ テキストを読み込む際、ABBYY FineReader はテキストで使用されているスタイルを識別します。識別されたすべてのスタイルは、[テキストのプロパティ] ペインに表示されます。スタイルを編集し、テキスト全体の書式を素早、変更することができます。認識したテキストをDOCX、ODT またはRTFの形式で保存すると、既存のすべてのスタイルが保持できます。

☑以下も参照してください:

- [テキスト] ウィンドウでのテキストの確認 [145]
- <u>スタイルの使用</u>148
- <u>ハイパーリンクの編集</u> 149
- <u>表の編集</u> 150
- <u>機密情報の削除</u>100
- •<u>編集可能な文書の保存</u>155
認識されたテキストを確認

認識したテキストは、[<u>テキスト ウィンドウ」い</u>で直接、または「検証] ダイアログボックス いうで編集できます (ダイアログ ボックスを開くこは [認識] > [テキストの検証] をクリックします)。 [検証] ダイアログボックスでは、信頼性が低い単語 の見直し、スペル ミスの修正、およびユーザー辞書への新し、単語の追加を行うことができます。

[テキスト] ウインドウでのテキストの確認

[テキスト] ウインドウで、認識結果の確認、編集、および書式設定を行うことができます。

ウィンドウ左側のセクションにある[テキスト]ウィンドウのソールバーには、スペルチェックを行うボタンが含まれています。

次または前の信頼性が低い単語または文字に移動するには、 2 / む ボタンを使用します。信頼性が低い文字が強調表示されていない場合は、[テキスト] ウィンドウのソールバーにある ボタンをクリックします。

[テキスト] ウィンドウで信頼性が低い単語を確認するには

- 1. [**テキスト**] ウインドウでその単語をクリックします。[**画像**] ウインドウでその単語が強調表示されます。同時 に [**ズーム**] ウインドウにその単語の拡大画像が表示されます。
- 2. 必要に応じて、[テキスト] ウインドウで単語を修正します。

ビント。 Ω ボタンをクリックすると キーボードにない 記号を挿入できます。また、 [検証] ダイアログ ボックスを使用することもできます。

この方法は、ソース文書と出力文書を比較する必要がある場合に便利です。

テキストの書式設定ツールは、

• [テキスト] ウインドウのソールバーにあります。

本文 + 9 pt,太字 ~	Arial \sim 9 \sim A A \sim ΩQ	Q 検索
🔺 スタイルエディタ	B $I \sqcup \mathbf{x}^2 \mathbf{x}_2 \equiv \Xi \equiv \Xi \bullet \ddagger \P \Xi$	▋ 編集

• [テキストのプロパティ] ペイン(このペインを表示するには、[テキスト] ウィンドウ内の任意の場所を右クリック し、ショートカット メニューで[プロパティ] をクリックします)

✓ [テキスト] ウインドウが狭くペイン全体を表示できない場合は、 ボタンおよび ボタンを使って [テキストのプロパティ] ペインを動かします。

[検証] ダイアログ ボックスでの認識済みテキストの確認

ABBYY FineReader は、信頼性が低い文字を含む単語を確認して修正できる[検証] ダイアログボックスを備えてい ます。[検証] ダイアログボックスを開くこは、メインツールバーで ^{し、検証}をクリックするか、[認識] > [テキストの検 証] をクリックします。

このボックスには、 信頼性の低い単語を 含む文書画像部分が表示	示されます		
	🖗 検証		? ×
L	sh (in most point-and-shoot	digital	came
エラーダイプ	-辞書にありません	- 修正候補(S):	
	point-and-shoot digital cameras,	point and sho point – and –	ot shoot
認識されたテキスト	the flash is on auto mode by		
	default).	<u>~</u>	
辞書による提案	Arial \checkmark 9,5 \checkmark B I U x ² x ₂ Ω \checkmark	芽 語	~
	スキップ(K) すべてスキップ(A) 辞書に追加(D)	置換(R)	すべて置換(L)
	225% ~ + 元に戻す(U)	オプション (0)	閉じる

[検証]ダイアログボックスでは次の操作が可能です。

- 強調表示された単語を変更せずにスキップする[スキップ]をクリックすると 強調表示が解除されます。
- ・強調表示された単語を修正候補の1つで置き換えます。右側のボックスにある修正候補を選択し[置換]をクリックします。
- ・強調表示された単語を辞書に追加するには、「辞書に追加」ボタンをクリックします。
 今後プログラムがこの言葉を検出した場合に、エラーとして扱うことはありません。
 「以下も参照してください: ユーザー辞書での作業[147]。
- フォントを変更し、文字飾りを適用します。

ヒント。確認オプションを変更するには、[オプション..]をクリックします。

中国語、日本語、韓国語で書かれたテキストを確認する際、プログラムは信頼性が低い文字とて認識された文字と外観が類似した文字について提案を行います。



ユーザー辞書での作業

テキストを読み込む際、ABBYY FineReader は認識した単語を辞書と照らし合わせて確認します。テキストに特殊な用語、略語や固有名詞が多数含まれている場合、ユーザー辞書にそれらを追加することに以 OCR の品質を高める ことができます。

☑ <u>サポートされている言語</u>218 の一部についてはユーザー辞書が使用できないとがあります。

ユーザー辞書に単語を追加するには、以下のいずれかの操作を行います。

- [認識] メニューで [テキストの検証] をクリックしてから [検証] ダイアログ ボックスで [辞書に追加] をクリックします。
- [テキスト] ウインドウで、追加する単語を右クリックし、ショートカット メニューで [辞書に追加] をクリックします。

■単語を辞書に追加する際、正しに言語が選択されていることを確認してください。

スタイルの使用

テキストを認識する際、ABBYY FineReader は元の文書で使用されているスタイルと書式を検出します。これらのスタ イルと書式は出力文書で再現されます。[テキスト] ウィンドウで文書のスタイルの見直しおよび編集を行い、新しいスタ イルを作成して、認識したテキストの書式を設定できます。

テキストの一部にスタイルを適用するには

- 1. [テキスト] ウィンドウでテキストの任意の部分を選択します。
- 2. ショートカットメニューで[プロパティ]をクリックします。
- 3. [テキストのプロパティ ペインの[スタイル] リストから必要なスタイルを選択します。

☑ 認識したテキストをDOCX、ODT またはRTFの形式で保存すると既存のすべてのスタイルが保持できます。

以下も参照してください:
脇集可能な文書の保存[15]」。

スタイルの変更、作成、および結合

- 1. [ツール] メニューで [スタイル エディタ..] をクリックします。
- 2. [スタイル エディタ] ダイアログボックスで任意のスタイルを選択し、名前、フォント、フォントサイズ、文字ピッチ、縮尺を調整します。
- 3. 新しいスタイルを作成するには、「新規」をクリックします。新たに作成されたスタイルが既存のスタイルのリスト トに追加され、調整を行うことができます。
- 4. 複数のスタイルを1 つに結合するには、結合するスタイルを選択し、[結合 ..] をクリックします。[スタイルの 結合] ダイアログ ボックスで、選択したスタイルと結合するスタイルを指定します。
- 5. [OK] をクリックし、変更内容を保存します。

同じスタイルで印刷されたテキストの一部から別の一部に移動できます。[スタイルエディタ]で任意のスタイルを選択し、[前の部分]または[次の部分]をクリックします。

ハイパーリンクの編集

ABBYY FineReader ではハイパーリンクを検出し、そのリンク先アドレスを出力文書で再生します。検出したハイパーリングは下線が引かれ、青で表示されます。

認識した文書を[テキスト] ウィンドウで表示しているとき、ハイパーリンクの上にマウスポインタを置くと そのアドレスが 表示されます。ハイパーリンクのリンク先に移動するには、ショートカットメニューで [**ハイパーリンクを開く** をクリックする か、Ctrl キーを押しながらハイパーリンクをクリックします。

ハイパーリンクのテキストまたはアドレスを追加、削除、または変更するには

- 1. [テキスト] ウィンドウで、必要なハイパーリンクのテキストを選択します。
- 2. ハイパーリンクを削除するには、そのハイパーリンクを右クリックし、ショートカットメニューで[**ハイパーリンクを 削除**]をクリックします。
- 3. ハイパーリンクを追加または変更するには、リンクのショートカットメニューで[ハイパーリンク..] をクリックする か、または [テキスト] ウインドウの上部にあるメイン ツールバーで 2 をクリックします。[ハイパーリンクの 編集] ダイアログ ボックスでは次の操作が可能です。
 - [表示するテキスト] フィールドでリンクのテキストを編集します。
 - [リンク先] グループでハイパーリンクの種類を選択または変更します。
 - インターネットのページにリンクするには、[Webページ]を選択します。
 [住所] フィールドで、ページのプロトコルとURL (<u>http://www.abbyy.com</u> など)を指定します。
 - ファイルにリンクするには、[ローカルファイル]を選択します。
 [参照 ..] をクリックし、ハイパーリンクのリンク先のファイル(例: file://D:/MyDocuments/ABBYY FineReaderGuide.pdf)を参照します。
 - ユーザーがハイパーリンクをクリックするだけで、ハイパーリンクに含まれるアドレスに電子メールメッセージを送信できるようにするには、[電子メールアドレス]を選択します。
 [住所] フィールドで、プロトコルと電子メールアドレス(例: mailto:office@abbyy.com)を指定します。

表の編集

認識された表はテキストペインで編集できます。以下のコマンドを使用できます:

- 表のセルを結合させる
 結合させたは、表のセルをマウスで選択し、領域 > 表のセルを結合 とクリックします。
- 表のセルを分割する 分割したは、表のセルをクリックし、領域 > 表のセルを分割とクリックします。
 このコマンドは結合した表のセルにのみ適用できます。
- 表の行を結合させる
 結合させたは、表のセルをマウスで選択し、領域 > 表の行を結合 どクリックします。
- セレのコンテンツを削除する
 コンテンツを削除したいセレを選択し、削除キーを押します。

✓ ツールバーへのボタンの追加方法の詳細は <u>ツールバー</u> かき照してください

機密情報の削除

このABBYY FineReader 14 では、認識されたテキストから機密情報を削除できます。

- 1. そのためには ツール > 編集モード とクリックするか、 ボタン (テキストペイン上部にあるメインソール バー内)をクリックします。
- 2. 次に テキストペインで、削除したいテキストをマーカーで塗りつぶします。

ビント。間違って塗りつぶした場合は、Ctrl+Zと押すか、メインツールバーの元に戻すボタンをクリックして、最後に実行した操作を取り消します。

3. 文書を保存します。

編集されたテキストは、出力文書ではドット(.)で表示されます。選択した保存形式がテキストや背景色に対応している場合、消されたテキストフラグメントは黒の長方形で表示されます。

編集モードを無効にするには、

- 再度 ツール > 編集モード とクリックするか、
- メインソールバーの ま ボタンを再度 クリックします。

文書からのコンテンソのコピー

ABBYY FineReaderでは、テキスト、写真、表を文書からコピーして他のアプリケーションに貼り付けることができます。 文書全体を認識したり編集可能な形式に変換せずに、スキャンしたページや画像からコンテンツをコピーできます。選択されたコンテンソはクリップボードにコピーされます。その後、クリップボードからの貼り付けをサポートしているアプリケーションに貼り付けることができます。

コンテンツをコピーするには:

- 1. まず 1. こ、 1. ます 1. こ、 1. こ、 ツール (画像 ペイン)を使い、コピーしたい 文書のフラグメントを選択します。
- そのフラグメントを右クリックし、ショートカットメニューでテキストの認識およびコピー をクリックするか、ポップ アップソールバーの 「」 ボタンをクリックします。
- 3. 別のアプリケーションにコンテンツを貼り付けます。

複数のページを保存するには:

- 1. ページをページペインで選択します。
- 2. 選択したページを右クリックし、名前を付けて保存をクリックして目的の形式を選択するか、送信先を 選択して、認識されたページの挿入先となるアプリケーションを選択します。

OCR結果の保存

OCR結果は、ファイルに保存するだけでなく別のアプリケーションやPDFエディターに送信したり、クリップボードにコピー したり、電子メールで送信することができます。OCR結果をKindle.comに送信し、Kindle形式に変換してKindleデ バイスにダウンロードできるようこすることも可能です。文書全体でも、一部のページだけでも保存できます。

💡 必ず、保存をクリックする前に適切な保存オプションを選択してください。

認識されたテキストを保存するには:

- 1 メインソールバーで、保存ボタンの横にある矢印をクリックし、文書の保存モードと保存するページオブジェクトを選択します。
 - PDF 保存 ▼ 正確なコピー ~

■ 各モードの下に、利用可能なファイル形式が表示されています。 保存モードには以下の5つがあります:

- 正確なコピー 元の文書の形式に対応する形式の文書を生成します。販促用パンフレットなど 複雑 な形式の文書に最適です。ただし、このオプションでは出力文書のテキストと形式の変更能力が制限 されますのでご注意 ください。
- 編集可能コピー元の文書とは若干異なる形式の文書を生成します。このモードで生成された文書 は編集が簡単です。
- フォーマット済みテキスト フォント、フォントサイズ、段落は保持されますが、ページ上のオブジェクトの正確なスペースや場所は保持されません。生成されたテキストは左揃えになります、右から左に書かれるスクリプトのテキストは右揃えになります)。
 ごのモードでは、縦書きのテキストが横書きに変更されます。
- プレーンテキストテキストの書式設定は保持されません。
- 柔軟なレイアウト技術的に可能な限1元の文書に近1位置にオブジェクトを配置したHTML文書を 生成します。
- 2 まず 書式設定 2017 タブ (オプションダイアログボックス)で、目的の保存オプションを選択し、OK をクリック します。
- 3 次にメインツールバー「いうで、保存ボタンの右にある矢印をクリックして適切なオプションを選択するか、 ファイルメニューのコマンドを使用します。

図 ABBYY FineReaderではページを画像として保存できます。以下も参照してください: <u>画像の保存</u>™。

サポートされているアプリケーション:

- Microsoft Word 2016 16.0 2013 15.0 2010 14.0 2007 12.0
- Microsoft Excel 2016 16.0 2013 15.0 2010 14.0 2007 12.0
- Microsoft Excel 2016 16.0 2013 15.0 2010 14.0 2007 12.0
- Microsoft PowerPoint 2016 16.0 2013 15.0 2010 14.0 2007 12.0

- Apache OpenOffice Writer 4.1
- LibreOffice Writer 5.1
- Adobe Acrobat/Reader(8.0以降のバージョン)

✓ ABBYY FineReaderと上記のアプリケーションとの間で最高の互換性を実現できるようアプリケーションの最新アップ デートをインストールするようこしてください。

☑以下も参照してください::

- <u>PDFでの保存</u> 154
- <u>編集可能文書の保存</u> 155
- <u>表の保存</u> 157
- <u>電子書籍の保存</u>[158]
- <u>HTMLでの保存</u> 159
- <u>ページの画像の保存</u>100
- <u>OCR結果をPDFエディターに送信</u>[154]
- <u>OCR結果を電子メールで送信</u>[162]
- <u>OCR結果をKindleに送信</u>[163]

PDFでの保存

ABBYY FineReaderでは、PDF文書全体、または特定のページを保存できます。保存には複数のオプションがあります。

- ユーザーがコンテンツを選択、コピー、編集できるPDF文書を保存するには、メインツールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印を いう クリックし、検索可能PDF文書 を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > 検索可能なPDFとして保存 …とクリックします。
 文書が検索可能なPDFとして保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプションを選択します。
- ユーザーがコンテンツを選択、コピー、編集できない PDF文書を保存するには、メインツールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印を「いうクリックし、画像のみのPDF文書を選択します。または、ファイル>名前を付けて保存画像のみのPDFとして保存…とクリックします。
 文書が画像のみのPDFとして保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション・…ボタンをクリックし、PDF 204 タブで目的の保存オプションを選択します。

 せた、
 <u>
 青式設定</u> [204] > PDF タブ(オプションダイアログボックス)で、追加の保存オプションを選択できます。このダ イアログボックスを開 くこは、
 ツール > オプション …とクリックします。

編集可能文書の保存

ABBYY FineReaderでは、OCR結果を編集可能形式で保存できます。形式を選択する際は、文書の使用方法を検討してください。

- <u>DOC(X)/RTF/ODTで文書を保存する</u>155
- <u>PPTXで文書を保存する</u>155
- プレーンテキスト(TXT)を保存する[15]

DOC(X)/RTF/ODT

DOCX/RTF/ODTでテキストを保存する

メインソールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印をクリックし、 Microsoft Word文書
 RTF文書 または ODT文書を選択します。必要な形式が「ストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで他の形式で保存…を選択し、目的の形式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存をクリックして、必要な形式を選択します。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション … ボタンをクリックし、DOC(X)/RTF/ODT 2001 タブで目的の保存オプションを選択します。

PPTX

テキストをPPTX形式で保存するには:

 メインソールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印をクリックしか、Microsoft PowerPoint プレゼンテーションを選択します。必要な形式が「ストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックス で他の形式で保存…を選択し、目的の形式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > Microsoft PowerPoint® プレゼンテーションとクリックします。

文書がPPTX形式で保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション …ボタンをクリックし、PPTX 212 タブで目的の保存オプションを選択します。

✓ 文書の一部のページのみ保存する場合は、ページペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで名前を付けて保存 > Microsoft PowerPoint プレゼンテーション とりいクします。

すた、
 書式設定
 記
 シー
 PPTX タブ
 (オプションダイアログボックス)で、
 追加の保存オプションを選択できます。
 この
 ダイアログボックスを開くには、
 ツール > オプション
 …
 とクリックします。

テキストをTXT形式で保存するには:

• メインソールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印をクリックレー・、TXT文書を選択します。 必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで他の形式で保存…を選択し 目的の形式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > TXT ドキュメント とクリックします。

文書がTXT形式で保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション ...ボタンをクリックし、TXT 213 タブで目的の保存オプションを選択します。

 また、
 <u>
 青式設定</u> □□↓ > TXT タブ(オプションダイアログボックス)で、追加の保存オプションを選択できます。このダ イアログボックスを開くには、
 ツール > オプション …とクリックします。

表の保存

ABBYY FineReaderでは、表をXLS、XLSX、CSV形式で保存できます。

XLSおよびXLSX

テキストをXLSまたはXLSX形式で保存するには:

 メインソールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印をクリックしか Microsoft Excelワーク ブックを選択します。必要な形式がしストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで他の形式 で保存…を選択し、目的の形式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > Microsoft Excel ワークブック とクリックします。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション ... ボタンをクリックし、XLS(X) 201 タブで目的の保存オプションを選択します。

また
 <u>
 書式設定</u> □→ ×LS(X) タブ(オブションダイアログボックス)で、追加の保存オブションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、ツール > オブション …とクリックします。

CSV

テキストをCSV形式で保存するには:

• メインソールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印をクリックし CSV文書を選択します。 必要な形式が ストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで他の形式で保存…を選択し 目的の形式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > CSV文書

文書がCSV形式で保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション …ボタンをクリックし、CSV 212 タブで目的の保存オプションを選択します。

孝太
 査式設定
 記
 ア
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ
 マ

電子書籍の保存

ABBYY FineReader 14 では、紙の書籍をスキャンしてEPUB、FB2、DjVu形式に変換できます。生成された電子書籍は、iPadをはじめとするタブレットやその他のモバイルデバイスで読むことができるほか、<u>Kindle.comアカウントに</u> パープ アップロードすることもできます。

■ 電子書籍はHTML形式で保存することも可能です。詳細はHTMLでの保存 100 を参照してくださし

FB2またはEPUBでの保存

テキストをFB2またはEPUB形式で保存するには:

 メインソールバーの名前を付けて保存ボタンの横にある矢印をクリックし、FB2文書またはEPUB文書を 選択します。必要な形式が「ストに表示されない場合は、他の形式で保存…をクリックして、必要な形 式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > FB2文書 (または EPUB®文書)とクリック します。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション ... ボタンをクリックし、EPUB/FB2 2015 タブで目的の保存オプションを選択します。

また、
 <u>
 青式設定</u> [204] > EPUB / FB2 タブ(オブションダイアログボックス)で、追加の保存オブションを選択できます。
 このダイアログボックスを開くには、
 ツール > オブション
 …とクリックします。

DjVuでの保存

テキストをDjVu形式で保存するには:

• メインソールバーの<u>名前を付けて保存」ボタンの横にある</u> 矢印をクリックし、DjVu文書を選択します。 必要な形式が「ストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで他の形式で保存…を選択し 目的の形式を選択します。または、ファイル > 名前を付けて保存 > DjVu ドキュメント とクリックします。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存」ダイアログボックスでオプション …ボタンをクリックし、DjVu20 タブで目的の保存オプションを選択します。

号また、
 書式設定
 記(オブションダイアログボックス)で、
 追加の保存オブションを選択できます。
 このダ
 イアログボックスを開くには、
 ツール > オブション
 …
 どクリックします。

HTMLでの保存

テキストをHTML形式で保存するには:

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスでオプション … ボタンをクリックし、HTML 203 タブで目的の保存オプションを選択します。

☑ 文書の一部のページのみ保存する場合は、ページペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで名前を付けて保存 > HTML ドキュメント とクリックします。

また、<u>書式設定</u>2041 > HTML タブ(オプションダイアログボックス)で、追加の保存オプションを選択できます。この ダイアログボックスを開くこは、ツール > オプション …とクリックします。

画像の保存

ABBYY FineReaderでは、スキャンも含め、認識されたテキストとページ画像の両方を保存できます。

画像を保存するには:

- 1. まずページペインで、保存するページを選択します。
- 2. 次のようこクリックします:ファイル > 名前を付けて保存 > ページ画像 ...
- 3. 開かれるダイアログボックスで、ファイルの保存先となるディスクとフォルダーを選択します。
- 4. 画像を保存する形式を選択します。

 ぞ 複数のページを1つのファイルに保存する場合はTIFF形式を選択し、全ページの1つのファイルを作
 成を選択します。
 び ぎ 誤 にます。

 ど 詳細は <u>サポートされている画像形式</u> 225)を参照してください。
- 5. ファイル名を指定し、保存をクリックします。

という。TIFFで保存する場合は画像形式と圧縮方法を選択できます。画像圧縮を行えば、ファイルサイズを縮小できます。画像圧縮で使用される方法はそれぞれ圧縮率とデータロスが異なります。圧縮方法を選択する際は、圧縮後の画像品質とファイルサイズが2大要因となります。

ABBYY FineReaderで提供されている圧縮方法は以下のとおりです:

- ZIP データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムは、単色の大きなセクションが含まれている画像に使用されます。たとえば、スクリーンショットや白黒画像に適しています。
- JPEG この圧縮アルゴリズムは、写真などのグレーおよびカラー画像に使用されます。この方法では高密度の圧縮が可能ですが、データロスと画像品質の低下 (不鮮明な輪郭と色彩の劣化)を引き起こします。
- CCITT Group 4 データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムは、グラフィカルプログラムやスキャン画像で作成された白黒画像での使用が一般的です。CCITT Group 4 は、事実上すべての画像で使用できる一般的な圧縮方法です。
- Packbits データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムは白黒スキャンに使用されます。
- LZW データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムはグラフィックデザインやグレースケール画像で使用されます。

画像のみのPDFに保存する場合、プログラムは <u>今式設定</u> 204 > PDF タブ (オプション ダイアログボックス)で指定した パラメーターを使用します。このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます。

OCR結果をPDFエディターに送信

ABBYY FineReaderでは、OCR結果をOCRエディターからPDFエディター 47 に送信できます。送信後は、メモやコメントを文書に追加したり、ABBYY FineReaderがPDF文書での作業用に提供しているその他の機能を使用できます。

OCR結果をPDFエディターに送信するには:

- ・ツールバーで、¹¹⁰ 送信
 ボタンの横にある矢印をクリックし、以下を選択します: PDFエディタに送
 信
- 次のようこクリックします: **ファイル** > 送信先 > PDFエディタ...

PDFエディターで文書の作業が終了した後は、文書をOCRエディターに送り返すことができます。これを実行するには、 OCRエディターウィンドウ上部のソールバーで ²²²³ ボタンの横にある矢印をクリックし、ドロップダウンリストから OCRエディタで認識、検証するを選択します。文書の一部のページのみを送信する場合は、ページペインで送信 したいページを選択して右クリックし、ショートカットメニューで選択したページをOCRエディタに送信をクリックします。

☑ OCRエディターに送り返す場合、以下の文書オブジェクトは失われます:

- 添付ファイル
- ブックマーク
- コメント
- 注釈

OCR結果を電子メールで送信

ABBYY FineReader を利用すると HTML を除く<u>サポートされているいずれかの形式で</u>[22] 認識結果をメール送信できます。

文書をメール送信するには

- 1. [ファイル] メニューで[電子メール] > [ドキュメント ..] をクリックします。
- 2. 表示されたダイアログボックスで以下を選択します。
 - ・ 文書を保存する形式
 - 次の保存オプションのうち、 ばれか1 つ。 すべてのページを1 つのファイルに保存する 各ページを個別 のファイルに保存する または空白ページに基づいて文書をファイルに分割する
- 3. [OK] をクリックします。添付ファイルのある電子メールメッセージが作成されます。受信者を指定して、メッセージを送信します。

また、文書ページの画像を電子メールで送信することもできます。

ページ画像を送信するには

- 1. [ファイル] メニューで[電子メール] > [画像 ..] をクリックします。
- 2. 表示されたダイアログボックスで以下を選択します。
 - 文書を保存する形式
 - 複数ページのファイルとして画像を送信する必要がある場合は [複数ページの画像ファイルとして送 信する]を選択します。
- 3. [OK] をクリックします。ファイルが添付された電子メールメッセージが作成されます。受信者を指定して、 メッセージを送信します。

OCR結果をKindleに送信

ABBYY FineReader では、認識結果をKindle.com のサーバーに電子メールで送信できます。Kindle.com に送信 された結果はKindle 形式に変換され、ご使用のKindle 機器にダウンロードできるようこなります。

💡 この機能を使用するには、Kindle.comのKindleアカウントが必要です。

- 1. <u>メインツールバー</u> m の [保存] ボタンの横にある矢印をクリックし、 [Amazon Kindleに送信 ..] をクリック します。
- 2. 次の項目を指定します。
 - Kindle アカウントのアドレス
 - 次の保存オプションのうちばれか1つ。すべてのページを1つのファイルに保存する、各ページを個別のファイルに保存する、または空白ページに基づいて文書をファイルに分割する
 - ファイル名
- 3. [OK] をクリックします。

添付書類付きの電子メールメッセージが作成されます。この電子メールメッセージをKindle.comに送信するとまもなく変換済みのファイルが作成されて、ご使用のKindle機器にダウンロードできるようこなります。

その他のアプリケーションとの統合

ABBYY FineReaderはWindows Explorerと統合してPDF文書、Office文書、画像ファイルの処理を、それらを右ク リックするだけで実行できます。

Microsoft SharePointに保存されたPDF文書に変更を加えることもできます。

本章の内容

- <u>Windows Explorer</u> 边統合 164
- <u>Microsoft SharePoint</u> 20統合

Windows Explorerとの統合

ABBYY FineReaderはWindows Explorerと統合されます。その結果、ABBYY FineReaderのコマンドは、サポート される形式のファイルを右クリックすると表示されます「225」。このため、PDF文書を開き、OCRを画像ファイルに実行し、 ファイルを変換したり、複数のファイルを1つのPDFに組み合わせたり、ファイルを比較したりできます。

Windows Explorerから直接PDFを開いて処理するには:

- 1. Windows Explorerで1つまたは複数のPDFファイルを選択します。
- 2. ファイルを右クリックして、以下のコマンドのいずれかを選択します:

 - ABBYY FineReader 14 で変換する PDFファイルを様々な形式に変換します:
 - 検索可能な PDF 文書に変換する
 - 画像のみのPDF 文書に変換する
 - Microsoft Word ドキュメントに変換
 - Microsoft Excel 文書に変換する
 - 。他のフォーマットに変換する
 - OCRエディタで開くPDFファイルをOCRエディターで開く
 OCRエディターでの作業に関する詳細は、OCRエディターの操作を参照します

 Windows 10複数のファイルを選択して、ショートカットメニューでABBYY FineReader 14 で変換するをクリックすると新規タスクウィンドウでタスクを開始します。使用可能な変換設定に関する詳細情報は以下を参照してください: PDF文書の作成[21]、Microsoft Word 文書の作成[23]、
 Microsoft Excel 文書の作成[25]、その他の形式[26]。
 - 次出較する...ABBYY ドキュメントの比較アプリケーションでPDFファイルを開く

 ✓ 文書の比較に関する詳細情報は、以下を参照してください:<u>ABBYY ドキュメントの比較</u>
 - 単一のPDF に結合する...複数のファイルを1つのPDFに結合。
 - ドキュメントの比較 …同じドキュメントの2つのバージョンの比較。

Windows Explorerから直接編集可能な形式のファイルを処理:

- 1. Windows Explorerで編集可能な形式のファイルを選択します。
- 2. ファイルを右クリックして、以下のコマンドのいずれかを選択します:

- PDF に変換する…ファイルをPDFに変換。
 Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPointファイルからPDF文書を作成する際、
 ABBYY FineReaderは元の文書の構造、ブックマーク、強調表示を保持します。
- PDF に変換して、送信する…ファイルをPDFに変換し、電子メールメッセージにそれらを添付します。
- 次出較する...ABBYY ドキュメントの比較 アプリケーションでPDFファイルを開きます。
- 単一のPDFに結合する...複数のファイルを1つのPDFに結合。
- ドキュメントの比較 …同じドキュメントの2つのバージョンの比較。

Windows Explorerから直接画像ファイルを処理するには:

- 1. Windows Explorerで画像ファイルを選択します。
- 2. ファイルを右クリックして、以下のコマンドのいずれかを選択します:
 - ABBYY FineReader 14 で変換する画像ファイルをさまざまな形式に変換します。
 - 検索可能な PDF 文書に変換する
 - 画像のみのPDF 文書に変換する
 - Microsoft Word ドキュメントに変換
 - Microsoft Excel 文書に変換する
 - 他のフォーマットに変換する
 - OCRエディタで開く画像ファイルをOCRエディターで開きます。
 - 単一のPDF に結合する...複数のファイルを1つのPDFに結合。
 - 次出較する...ABBYY ドキュメントの比較 アプリケーションで画像ファイルを開く

ABBYY FineReaderコマンドがWindows Explorerのショートカットメニューに表示されない場合には ...

ABBYY FineReaderコマンドがWindows Explorerのショートカットメニューに表示されないのは、ABBYY FineReaderとWindows Explorerを統合しないにとがプログラムのインストール時に選択されたためです。

ABBYY FineReaderとWindows Explorerを統合する:

- をクリックします [スタート] > 設定 > コントロールパネル (または次のようにクリックします: [スタート]
 オプション > システム > アプリケーション Windows 10の場合)そして、をクリックします プログ ラムと機能。
- 2. インストールされたアプリケーションのリストでABBYY FineReader 次のようにクリックします: 変更/削除。
- 3. セットアッププログラムで表示される指示に従います。

Microsoft SharePointとの統合

ABBYY FineReaderを使用してMicrosoft SharePointドキュメントライブラリご保存されたファイルを開いて、編集、保存を実行できます。

Microsoft SharePointに保存されたPDF文書を処理するには:

- 1. ABBYY FineReader PDFエディターでPDF文書を開きます。
- 2. 文書をチェックアウトして他のユーザーが変更できないようこします。これを実行するには、以下の順にクリックします:ファイル > SharePoint® > チェッグアウト。
 ③ 文書が他のユーザーによって既にチェックアウトされている場合には、お使いのコンピューターに文書のコピーを保存します。
- 3. PDF文書を編集します。
 ✓ PDFエディターでPDF文書の作業を実行する方法の詳細については PDF文書での作業を参照してくだ
 <u>さし</u>47
- 4. 文書をチェックインして、他のユーザーに変更が表示されるようこしあmす。これを実行するには、以下の順にクリックします:
 ファイル > SharePoint[®] > チェックイン …
 ぼ サーバーに変更を保存したくない場合には、をクリックします。チェックアウトの破棄 …
- 5. バージョン管理がサーバーでオンになっている場合には、開いたダイアログボックスで、文書のパージョンタイ プを選択し、コメントを入力します。 生成されるビブックの文書のフォントを埋め込むには現在のパージョンをチェックした後、文書をチェックア ウトしたままにする文書をチェックインせずに、すべての変更をサーバーにアップロードする場合には、オプ ションを選択します。
- 6. をクリックします **チェックイン**。

P ABBYY FineReaderとMicrosoft Windows Server® 2012/2008にインストールされた SharePointを統合する
 には Desktop Experience コンポーネントをインストールする必要があります:

- 1. をクリックします [スタート] 管理ツール > サーバーマネージャー。
- 2. オプションのグループのサーバーマネージャー ウィンドウで、以下の順にクリックします:管理 > 役割や機能を追加します。
- 3. 役割と機能の追加ウィザードが開きます。
- 4. オプションのグループの機能 セクションで Desktop Experience アイテムを ユーザーインターフェースとインフラス トラクチャ ドロップダウンリストで選択 します。
- 5. 表示されるダイアログボックスで、機能の追加をクリックします。
- 6. オプションのグループの役割と機能の追加ウィザードウィンドウで、以下の順にクリックします:次 > インストール。

7. コンポーネントをインストールしたら閉じるをクリックします。

OCR の自動化およびスケジューリング

• <u>自動文書処理</u> 169

複数の文書を処理する場合、同じ動作を複数回繰り返すことが少なくありません。ABBYY FineReader には、共通した操作をワンクリックで実行できるようこする自動タスクが組み込まれています「13」、さらに柔軟な対応が必要な場合は、利用可能な幅広い処理手順で自動タスクをカスタマイズできます。

• <u>スケジュールされた処理</u> 172

ABBYY FineReader にはABBYY Hot Folder とうスケジューリングアプリケーションが含まれており、コン ピュータが使用されていない 夜間などに文書を処理できます。 スケジュールされたタスクは特定のフォルダを対象に作成でき、必要な画像を開く 認識する、保存するという設定をすべて備えています。

ABBYY FineReaderを使用して文書処理を自動化する

(以下の製品の一部のバージョンでは利用できません) ABBYY FineReader 14。以下も参照してください: http://www.ABBYY.com/FineReader

ABBYY FineReaderでは、文書にビルトインまたはカスタムの自動化されたタスク処理を実行できます。タスクは以下で整理できます:自動化されたタスク、「256」ダイアログボックスを開きます。

• とクリックして、自動化されたツールダイアログボックスでツール > 自動化されたツール。

ダイアログボックスの上のソールバーには、自動化されたツールタスクの作成、変更、コピー、削除、インポート、エクスポートのためのボタンが含まれます。

自動化されたツール	? ×
🕒 新規 🧪 変更 🔓 コピー 📄 インボート 🗎	エクスポート 👕 削除 💷 名前を変更
タスク	手順
Image to Amazon Kindle Images to Microsof Word Convert Foto to Microsoft Word Scan to Microsoft Excel Scan to Microsoft Word Scan to PDF Scan and Save Image	1: 新規 OCR プロジェクトを作成する 2: 画像または PDF を開く 3: 分析 4: OCR 5: 文書を Amazon Kindle (こ送信
L <u>タスクの詳細(M)</u>	実行(R) 閉じる(O)

自動化されたタスクを使用して文書を処理するにはタスクウインドウでタスクを開始します。

自動化されたタスクのカスタム作成

ビルトインの自動化されたタスケで利用できない処理ステップを含める必要がある場合、独自の自動化されたタスケを 作成できます。自動化されたタスケの手順の順番はOCRエディターでの処理操作の順番に従う必要があります。

- 1. ツールバーで、をクリックします 新規。
- 2. 左のペインで使用するOCRプロジェクトを選択します:
 - 新規 OCR プロジェクトを作成する

このオプションを選択すると、タスク開始時に新規OCRプロジェクトが作成されます。文書を処理する際にどの文書オプションを使用するかを指定する必要があります。プログラムで指定されたグローバルオプションまた特定のタスケで指定されたオプションかのいずれかです。

- 既存のOCR プロジェクトを選択する タスケで、既存のOCR プロジェクトから画像を処理したい場合にはこのオプションを選択します。
- 現在のOCR プロジェクトを使用する

タスケで、現在のOCRプロジェクトから画像を処理したい場合にはこのオプションを選択します。

- 3. 画像を取得する方法を選択します:
 - 画像または PDF を開く

タスケで画像またはPDF文書を特定のフォルダーから処理したい場合にはこのオプションを選択します(この場合フォルダーを指定する必要があります)。

スキャン

ー部のページをスキャンする場合にはこのオプションを選択します(現在のスキャン設定が使用されます)。

注意:

- a. 以下のいずれかの場合には、この手順は任意です:先に既存のOCR プロジェクトを選択するまたは現在のOCR プロジェクトを使用するコマンドを選択した場合。
- b. 既に画像のあるOCRプロジェクトに画像が追加されると新規追加された画像のみが処理されます。
- c. 処理するOCRプロジェクトに既に認識されたページ、および分析されたページが含まれる場合には、 認識されたページは再度処理されず、分析されたページは認識されます。
- 4. 分析 画像でエリアを検出する手順を追加し、このステップを設定するには:
 - レイアウトを自動的に分析する

ABBYY FineReaderは画像を分析し、コンテンツに基づき、エリアを特定します。

• 領域を手動で描画する

ABBYY FineReaderは適切なエリアを手動で設定するよう求めます。

• 領域テンプレートを使用する

プログラムが文書を分析する際に既存のエリアテンプレート255 を使用したい場合にはこのオプションを 選択します。テンプレートを指定するか、タスクを開始する度にいずれかのテンプレートを選択するプロン プトをプログラムに表示させる必要があります。詳細は以下を参照してください:<u>同じレイアウトの文書</u> <u>を大量に処理する場合</u>132

- 画像を認識する必要がある場合にはOCR 手順を追加します。プログラムはこの手順で選択されたOCR オプションを使用します OCRプロジェクト。
 「手順を追加するとOCR手順は分析 自動で追加されます。
- 6. OCR 選択した形式で認識されたテキストを保存する場合、テキストまたは画像を電子メールで送信する 場合、OCRプロジェクトのコピーを作成する場合には、手順を追加します。タスクには複数の保存手順が 含まれます:

• ドキュメントを保存する

ここではファイルの名前、形式、オプション、ファイルを保存するフォルダーを指定できます。 『タスクが開始されるたびに新しいフォルダ を指定することを避けるために、を選択します タイムスタ ンプ付きのサブフォルダを作成する。

- ドキュメントを送信する
 ここでは結果として生成されるファイルを開くアプリケーションを選択できます。
- ドキュメントを電子メールで送信

ここではファイルの名前、形式、オプション、ファイルを送信する電子メールアドレスを指定できます。

• 画像を保存する

ここではファイルの名前、形式、オプション、画像ファイルを保存するフォルダーを指定できます。 『すべての画像を1つのファイルに保存するには、を選択します 複数ページからなる1 つの画像ファ イルとして保存する(TIFF, PDF, JB2, JBIG2, DCX形式の画像のみ該当)。

• 画像を電子メールで送信する

ここではファイルの名前、形式、オプション、ファイルを送信する電子メールアドレスを指定できます。

• OCRプロジェクトを保存

ここではOCRプロジェクトを保存するフォルダ を指定できます。 結果を保存するためにプログラムが使用すべきオプションを指定します。保存時にプログラムで指定され たグローバルオプションまたは特定のタスクに指定したオプションのいずれかを選択できます。

- 7. タスクから不要なステップを削除するには 🎽 ボタンをクリックします。
 - ☑ 時に、1つの手順を削除することで別の手順も削除される場合があります。例えば、分析 手順を削除 すると、OCR 手順も削除されます。OCRは画像を分析せずには実行できないためです。
- 8. 必要な手順をすべて設定したら、をクリックします完了。

新規作成されたタスクはタスクウインドウに表示されます。

■ 自動化されたタスクを保存するには、ダイアログボックスの上部に表示されるエクスポートツールバーで、をクリックして自動化されたツールタスクの名前とフォルダーを指定します。

☑前に作成された自動化されたタスクを読み込むにはインポートツールバーで、をクリックして自動化されたツール インポートするタスクのファイルを選択します。

ABBYY Hot Folderを開 (時、

ABBYY FineReader 14 の一部のバージョンでは利用できません。以下も参照してください: http://www.ABBYY.com/FineReader

ABBYY FineReaderには **ABBYY Hot Folderが含まれます。** ABBYY Hot Folderは ABBYY FineReaderで自動 処理されるべき画像が含まれるフォルダーを選択できるスケジューリングエージェントです。 ABBYY FineReaderをスケ ジュールしてコンピュータを使用しない時 (夜間など)に文書を処理するようスケジュールできます。

フォルダー内の画像を自動で処理するためには、そのフォルダのための処理タスクを作成し、画像を開く OCR、および保存オプションを指定します。ABBYY FineReaderが新し、画像があるかどうかを確認するためにフォルダーをチェックする頻度も指定します(定期または1度のみ)そして、タスクの開始時間を設定します。

💡 タスクを開始するには、コンピュータはオンでログオンしていなければなりません。

ABBYY Hot Folderのインストー

デフォルトでは、ABBYY Hot FolderはABBYY FineReader 14 と一緒にお使いのコンピュータにインストールされています。ABBYY FineReader 14 のカスタムインストール中に **ABBYY Hot Folder** のコンポーネントをインストールしないよう選択した場合には、以下の方法で後でインストールできます。

ABBYY Hot Folder のインストール:

- 1. [スタート] ボタンをクリックして タスクバー その後 コントロール パネル。
- 2. をクリックします プログラムと機能。

✓ Windows 10 を使用している場合には、次のようこクリックします:[スタート]
→ オプション > システム > アプリケーション。

- 3. ABBYY FineReader 14 をインストールされたプログラムから選択して、クリックします変更。
- 4. オプションのグループのカスタム セットアップ ダイアログボックスで ABBYY Hot Folder アイテムを選択 します。
- 5. インストールウィザードの手順に従います。

ABBYY Hot Folderを起動します

ABBYY Hot Folder:

- をクリックします [スタート] > ABBYY FineReader 14 その後 ABBYY Hot Folder ([スタート]
 すべてのプログラム > ABBYY FineReader 14 > ABBYY Hot Folder Windows 10を使用してい る場合)または
- 次のようこクリックします :ABBYY FineReader 14 その後 Hot Folder または

• 3 Windows タスクバーのアイコンをクリックします (このアイコンは少なくとも1つのタスクを設定後に表示されます)。

ABBYY Hot Folder を開く時、 メインウィンドウが開きます。

ウインドウ上部のツールバーボタンを使用してコピーおよび削除タスクを設定したり、処理を開始したり、レポートを表示したりします。

ABBYY Hot Folder – 🗆 🗙				
🕒 新規 🔡 🔻	🔹 今すぐ開始 🗧	🔾 スケジュールに従って実行 🛛 停止	⇒∞更 ि	📋 🛄 🖿 🖪 🗊 DÖ
名前 🚽	パス	ステータス	次の開始時刻	טֿס
C My Task(3)	D:\HF	♂ スケジュール済み	01.01.2018, 21:00	
C My Task(2)	D:\HF	◎ 停止されました		
C My Task	D:\HF	🕏 完了		✓ 1個のファイルが正常に完了しました
4				

ABBYY Hot Folder のメインウインドウに設定タスクが表示されます。各タスクのために、フォルダー、ステータスへの完全なパスおよび、次の処理セッション時間が表示されます。

ステータス	説明
₴ 実行しています…	フォルダーの画像は処理中です。
ⓒ スケジュール済み	ホットフォルダに画像があるかどうかの確認を開始時刻に1回のみ行うことを選択しました。開始時間は次の開始時刻列に表示されます。
ⓒ 監視しています	ホットフォルダに画像があるかどうかの確認を繰り返し行うことを選択しました。 開始時間は次の開始時刻列に表示されます。
◎ 停止されました	ユーザーによって処理が一時停止されました。
❷ 完了	処理が完了しました。
🔺 エラー (ログを参照)	このフォルダの画像を処理中にエラーが発生しました。エラーの完全なテキスト はタスクログにあります。エラーの原因を見つけるには失敗したフォルダを選択し て、ツールバーのログの表示ボタンをクリックします。

タスクのステータスに以下のいずれかが表示される場合があります:

後日使用するためにタスクを保存することができます:

1. をクリックします ¹ > エクスポート ...

2. 開いたダイアログボックスでタスクの名前、保存するフォルダを指定します。

3. をクリックします保存をクリックします。

以前保存されたタスクを読み込むには:

- 1. 次のようこクリックします: せっ > インポート...
- 2. 開いたダイアログボックスで、タスクを選択して開くをクリックします。

新しいタスクを作成するには:

- 1. ABBYY Hot Folderのソールバーで新規作成ボタンをクリックします。
- 2. オプションのグループのタスク名フィールドで、タスク名を入力します。
- 3. タスクのスケジュールを指定します:
 - 1回実行する(指定した時間に一度タスクが実行されます)
 - 反復(タスクは指定された通りに毎分、毎日、毎週、毎月一度実行されます)
- 4. 処理する画像が含まれるフォルダーまたはOCRプロジェクトを指定します。
 - フォルダからのファイルローカルまたはネットワークフォルダーで画像の処理を実行できます。
 - FTP からのファイル FTPサーバーのフォルダーで画像の処理を実行できます。
 - FTPサーバーへのアクセスにログインおよびパスワードが必要な場合には、ユーザー名フィールドとパ スワードフィールドのそれぞれに入力します。ログインおよびパスワードが必要出ない場合には、置 名のユーザーオプションをクリアします。
 - Outlook からのファイルメールボックス内の画像を処理できます。
 - OCRプロジェクト FineReader文書内に保存された画像を開きます。
 ダ書の色に関する詳細情報はOCR前に考慮すべき文書の機能を参照してくださし。
 の下で元のファイル元のファイルを保存、削除、移動するかのいずれかを指定します。
- 5. オプションのグループの画像を分析、認識する手順で、文書の分析とOCRオプションを設定します。

 - の下で文書処理設定文書を認識または分析またはページ画像を処理するのかを指定します。 必要な場合には、追加のOCRおよび画像の予備処理オプションを指定します。その場合には次の ようにクリックします:認識オプション...または予備処理オプション...
 - プログラムは自動でエリアを検出すべきか、そのためにエリアテンプレートを使用するかを指定します。
- 6. 結果の保存ドロップダウンリストから、文書の保存方法を選択します。
 - a. 名前を付けて保存 ドロップダウンリストから、宛先のフォーマットを選択します。

ヒント。追加の保存オプションを指定したい場合には、オプション…をクリックします。

☑ PDFに保存する場合、画像のテキストは認識すべきか、画像は画像のみのPDF文書に変換すべきかを指定します。

- b. オプションのグループのフォルダフィールドで、処理後に文書を保存するフォルダを指定します。
- c. 出力 ドロップダウンリストから保存方法を選択します:
 - 各ファイルに対して個別のドキュメントを作成する(フォルダ階層を保持)ファイルごとご別々の 文書を作成。
 - 各フォルダに対して個別のドキュメントを作成する(フォルダ階層を保持)特定のファイルに保存されたすべてのファイルで1つの文書を作成。
 - すべてのファイルのために1つのドキュメントを作成するすべてのファイルで1つの文書を作成。
- d. オプションのグループのファイル名 フィールドで、処理後に文書に割じ当てる名前を入力します。

ところ。処理の結果を複数のフォーマットで保存するために、フォルダーに複数の保存手順を指定できます。

7. をクリックします タスクの作成。

設定されたタスクはABBYY Hot Folderメインウィンドウに表示されます。

\AppData\Local\ABBYY\FineReader\14.00\HotFolder。

💡 タスクを開始するには、 エンピュータはオンでログオンしてい なければなりません。

タスクが完了するたびに通知メッセージを表示するには、をクリックします。

Windows のタスクバーの上にポップアップウィンドウが開き、通知メッセージが表示されます。

タスクのプロパティの変更

既存のタスクのプロパティを変更することができます。

- 1. プロパティを変更するタスクを中止します。
- 2. ABBYY Hot Folderウィンドウ上部のソールバーの変更をクリックします。
- 3. 必要な変更を実行して、をクリックします。タスクの作成。

処理ログ

ホットフォルダ 内の画像は、指定された設定に沿って処理されます。ABBYY Hot Folder では、すべての処理の詳細なログを記録します。

ログファイルには以下の情報が含まれます:

- 5人の名前と設定
- エラーと警告(ある場合)
- •統計(処理されたページの数、エラーと警告、不明確な文字の数)

ログを有効にするには、 ・ ツールバーの、 をクリックします。

ログは、認識したテキストのファイルが入っているフォルダに、TXTファイルとして保存されます。

ログの表示:

- 1. ABBYY Hot Folder のメインウィンドウで、ログを確認するタスクを選択します。
- 2. ログ ABBYY Hot Folderウィンドウ上部のソールバーのボタンをクリックします。

ABBYY ドキュメントの比較

ABBYY ドキュメントの比較では、同じドキュメントの形式は同じでなくても構いません)の2つのバージョンを比較できます。

ABBYY ドキュメントの比較は、不要な変更を迅速に特定できるようにして、誤ったバージョンに署名したり、公開してしまうことを防ぎます。

主な機能

- 同し形式でも異なる形式でも2つの文書を比較します。Microsoft Word文書とPDFバージョン、スキャンとのDTバージョン以外にもABBYY FineReader 14がサポートする様々な形式の組み合わせて比較できます。
- 便利な横並び表示で差異を精査できます。結果ペインで差異を確認すると両方のバージョンの対応する テキストの一部が強調表示されます。
- テキストの削除、追加、編集などの大規模な変更のみを表示します。形式、フォント、スペース タブなどの 小さな差異は無視されます。
- 比較結果は、差異をすべて強調表示し、コメントときに記載した差異レポートまたはPDF文書の注釈として保存できます。

本章の内容

- <u>ABBYY ドキュメントの比較の起動</u> 178
- <u>
 文書の比較</u>
 ¹⁷⁹
- メインウィンドウ 181
- 比較結果の向上
 182
- 比較結果の表示
- 比較結果の保存 186

ABBYY ドキュメントの比較の起動

ABBYY ドキュメントの比較を起動する方法は多数あります:

- 新しいタスク (13) ウインドウを開き 比較 タブをクリックし、ABBYY ドキュメントの比較 を開くタスクをクリックします。
- オプションのグループの新しいタスクウィンドウで、以下の順にクリックします:ツール > ドキュメントの比較。
- をクリックします [スタート] > ABBYY FineReader 14 > ABBYY ドキュメントの比較 (Windows 10の 場合、次のようにクリックします: [スタート] その後 すべてのプログラム > ABBYY FineReader 14 > ABBYY ドキュメントの比較。)
- ペインを開きます PDFエディター 481 次のようこクリックします: ツール > ドキュメントの比較。
- ペインを開きます OCRエディタ Troil次のようこクリックします: ツール > ドキュメントの比較。

ABBYY ドキュメントの比較で文書を開く方法は、この他にもいくつかあります:

- PDFエディターの^{()比較}メインソールバーで、ボタンをクリックします。
- PDFエディタで、以下の順にクリックします:ファイル > ドキュメントの比較。

PDFエディターで開かれる文書は、ABBYY ドキュメントの比較でも開かれます。その後、比較する別のバージョンの文書を開く必要があります。

- Windows Explorerで「104]ファイルを右クリックしたらショートカットメニューで次出較する…をクリックします。
- Windows Explorerで、2つのファイルを選択して、そのうちの1つを右クリックして、ショートカットメニューでド キュメントの比較 …をクリックします。

P ABBYY ドキュメントの比較はABBYY FineReader 14。以下も参照してください:
 <u>http://www.ABBYY.com/FineReader</u>

文書の比較

文書の2つのバージョンを比較するには、以下の手順を完了させます:

1. ABBYY ドキュメントの比較を起動します。

以下も参照してください: <u>ABBYY ドキュメントの比較の起動</u>178

- ABBYY ドキュメントの比較で文書を開きます。文書はサポートされる形式のいずれかでなければなりません サポートされている文書の形式²²⁵。
 文書を開くには以下のいずれかを実行します:
 - 2つの表示エリアのいずれかに文書をドラッグしてドロップします。
 - 表示エリアの任意の場所をクリックしてファイルの場所を参照します。
 - ■ 表示エリアのソールバーのボタンをクリックして目的の文書を参照します。
 - 表示エリアのうちの1つをクリックして、その後次のようこクリックします:ファイル > ドキュメントを開く..。
 ダのようにキーを押して、表示エリアを切り替えることができます:Ctrl+Tab またはAlt+1/Alt+2。
 - ABBYY ドキュメントの比較は最近比較された文書のペアを記憶します。
 - 最近比較された文書のペアを開くては、表示エリアの上部のドロップダウンリストから選択します。
 - 最近比較された文書のペアを開くには、次のようにクリックします:ファイル > 最近の比較 その後、「ストから文書のペアを選択します。
 「最近比較された文書のペアを新しいタスクウィンドウから開くこともできます:比較 タブをクリックして、最新の比較 から文書のペアを選択します。
- 3. 生成されるモブックの文書のフォントを埋め込むにはタブのリストから「218] 選択します比較。
- 4. 比較比較比較メニューで文書の比較コマンドをボタンをクリックします。 ウインドウが表示され、進捗バー、比較のピント、警告が表示されます。

a la	🛃 ABBYY ドキュメントの比較	\times
	ドキュメントを比較しています。しばらくお待ちください。 ドキュメント2を処理中	
	キャンセル(C)]

- 5. 検出された差異を確認します 184。以下の操作が可能です:
 - 右端のペインの差異 タブの差異の以下を表示するか、
 - 文書に強調表示された差異を表示します。

- 6. 比較結果を保存します。その方法は2つあります:
 - コメントに差異が記載された注釈付きのPDFファイルを保存します。これを実行するには、 日 保存 したい 文書のエリアにあるボタンをクリックします。文書はPDFファイルの形式でもう一方の文書に関連す る差異が強調表示され、コメントされた形式で保存されます。
 - 2つの文書間の差異の全リストを含むMicrosoft Word文書として保存されます。これを実行するには、 日 右端のペインのタブの 差異 ボタンをクリックします。

以下も参照してください:<u>比較結果の表示</u>134、<u>比較結果の保存</u>136。
メインウィンドウ

ABBYY ドキュメントの比較 を記動す「178] ると メインウィンドウが開きます。



- 表示エリア1 は最初の文書を表示します
- •表示エリア2は2番目の文書を表示します。

ビント。 文書が表示される方法を変更できます。

ズームインは以下の操作で実行できます: Ctrl+=ズームアウトは以下の操作で実行できます: Ctrl+-または、Ctrl+0 でズームレベルをリセットできます。また、文書のショートカットメニューのコマンドや

- ↔ + 文書の上のボタンを使用して実行できます。

- 次のようにクリックして表示エリアが表示される方法を変更します:表示 > ドキュメントペインを横に分割。これで表示ペインが横に分割されます。つまり、1つの文書が別の文書の上に表示されます。
- •比較 右端のペインのタブには比較設定が含まれます。
- 差異 右端のペインのタブロセンの文書の差異のリストが含まれます (文書の比較語にのみリストが表示されます)。

検出可能な検出可能な差異の種類、差異を移動する方法の詳細は以下を参照してください:<u>比較結果の表</u>

比較結果の向上

ABBYY ドキュメントの比較はより正確な文書の比較を達成するために多数の追加オプションを提供します。これらのオプションを設定するには、以下のいずれかを実行します:

- 右端のペインで比較 タブをクリックします。
- 次のようこクリックします:比較 > 詳細設定。

比較 ダブ

このタブには、次の設定が含まれています:

• 句読点の差異を見つける

句読点およびハイフンの差異を検出する場合にこのオプションを選択します。

•1文字の差異を見つける

スペリングの差異を検出するためにこのオプションを選択します。

詳細オプション

以下の詳細オプションが利用可能です:

• PDF認識モード

正し 認識モードを選択することがPDF文書の正確な比較には不可欠です。 ABBYY ドキュメントの比較 はこれらのPDF認識モードを提供します:

○ PDFからのテキストのみ使用

これはテキストレイヤーのあるPDF文書のデフォルトモードです。ABBYY ドキュメントの比較はテキストレイ ヤーを使用して比較します。

OCRかPDFのテキストかを自動選択

このモードが選択された場合、ABBYY ドキュメントの比較は元のテキストレイヤーの品質を確認します。 プログラムが元のテキストレイヤーが良好であると判断した場合、元のテキストレイヤーを使用します。そう でない場合には、文書を認識し、その結果生成されたテキストレイヤーを使用します。

○ OCRの使用

このモードでは、プログラムは光学文字認識を使用して文書からテキストを抽出します。 このモードでの比較にはよい長い時間がかりますがより信頼性の高い比較結果が達成されます。

■ これらのオプションはテキストレイヤーと写真のあるPDF文書での使用が意図されています。そうしたPDF 文書は一般的に編集可能な文書ファイルをPDFに変換することで作成されています。検索可能PDF文 書や画像のみのPD文書などのその他の種類のPD文書には、追加のOCRオプションは不要で、常に OCRの使用モードで処理されます。

• ヘッダーとフッターを自動で見つける

文書にヘッダーやフッターがは、場合にはこのオプションをオフにします。

• 高度なオプションをリセットする

デフォルトの設定に戻す場合にこのコマンドを選択します。

比較結果の表示

プログラムが検出した差異は、2つのテキストで強調表示され、右側のペインに個別に表示されます。

🔯 Document#1.pdf / Document#2.docx	- ABBYY ドキュメントの比較	_	п×	
ファイル(F) 編集(E) 表示(W) 比較(C)	へルプ (H)		★この製品を評価	
C:\User\Document#1.pdf 🔹 🖿	C:\Us\Document#2.docx 🔻 📘	比較	差異 (17) 🛛 🗕	● 差異タブ 】
⊟ 4/4 - ↔ + =	₿ 3/3 - ↔ + =	↓ ↑ ≦ 🗄	:=	
^ ∧ ₂ ğ−	<u>∧9ÿ−</u>	▼ 本文テキスト (9)		
The Grouping 5.1. The system of the system o	Bit The support of Alban such that Agaments in the subscene based on the subscene b	← 削除済みテキスト Signature:	ぺ−ジ4 <> 3 ^	差異のリスト
 An optical to be generalized as personnel and the section and the section and the section because the section of the section and the section of the section and the section of the section and the section of the section of the section and the section of the sectio of the section of the section of the section of the section	 Scheller and Scheller and Scheller	編集済みテキスト ← 10.LAW → LAW	ページ4 <> 3	
		→ 追加済みテキスト The Company	ページ4 <> 3	
is utiper aleast for police have been ably exceed that years to be adjust on the day out you fail a state The Strategy of the	Bel Lakes when The Copyright The Decisions Ny Marine Decisions Ny Mar	→ 追加済みテキスト Title: Chief Technical Office	ページ4 <> 3 er Signature:	
			~	
		▶ ヘッダーおよびフッター	(1)	
× >	× ۲	▶ ナンバリング (7)		

ABBYY ドキュメントの比較は以下の種類の差異を見つけることができます:

- 一 削除済みテキスト
- → 追加済みテキスト

編集済みテキスト

差異のリストの各アイテムには、削除済み、挿入済み、編集済みテキストの一部および各文書でのそのテキストが出現するページの数が含まれます。 クリップボードに差異をコピーするには、右クリックしてショートカットメニューで 差異を コピーする をクリックするか、選択して、次のようにクリックします:終了 > 差異をコピーする。

✓ テキストの一部が新旧両方のバージョンで編集されている場合には、右端のペインに表示されます。

検出された差異の数は二か所に表示されます:

- ・ 文書を比較後、表示エリアの上部に表示される赤いバー:
 本文テキストで見つかった差異:9。合計:17。
- 右端のペインの差異 タブのタイトルの隣: 差異 (17)

タブで差異を選択すると 差異 両方の文書の異なるテキストが隣 1合わせに表示されます。

差異を移動するには、以下のいずれかを実行します:

- いずれかの文書で差異をクリックします。
- レイアウトが複雑な大型文書にはキーボードショートカットを使用します[261]: Ctrl+右矢印/Ctrl+左矢印。
- タブの → および ↑ ボタンを使用します 差異。
- をクリックします比較 その後次の差異 または前の差異。

✓ 2つのバージョンを同時にスクロールして変更を横並びに表示できます。
 「
 同時スクロールはデフォルトでオンになっています。これをオフにするには次のようにクリックします:幅に合わせる表示
 で
 スクロールの同期をクリアするか、文書を右クリックしてスクロールの同期オプションをショートカットメニューでオフに
 するか、
 今
 文書の上のボタンをクリックします。

差異のグループ分け

ABBYY ドキュメントの比較は検出した際をグループ分けして、小さな差異を無視し、重要な不一致に焦点を当てることができるようこします。

検出された差異は以下の3つのグループの、ばれかご配置されます:

• 本文

このグループには2つの文書の本文で見つかった大きな差異が含まれます。

• ヘッダーとフッター

このグループには2つの文書のヘッダーとフッターの差異が含まれます(例:ページ番号の差異)。

• ナンバリング

このグループには、2つの文書に含まれるナンバリングの差異が含まれます。例えば、リストの番号の差異などです。

差異のグルプ分けをオフにするには、 🛅 右端のペインの 差異 ボタンをクリックします。

リストから差異を削除するには、次のいずれかを実行します:

- タブの 🔋 ボタンをクリックする差異。
- ・差異を右クリックしてショートカットメニューの差異を無視するをクリックします。

☑ 複数の差異を同時に削除するには、Ctrl キーを長押します。

☑ 「ストから削除した差異は、比較レポートには表示されません。

比較結果の保存

ABBYY ドキュメントの比較で差異を保存する方法は2つあります。

- 1 注釈付きのPDFで比較結果をコメントとして保存する場合には、以下のいずれかを実行します:
 - 保存する文書をクリックして、次のようこクリックします:ファイル > 差異を含めて文書をPDFとして保存する..。
 - 日 保存する文書の上のツールバーのボタンをクリックします。
- 2 比較結果をMicrosoft Wordの表に保存するには、以下のいずれかを実行します
 - をクリックします ファイル > 差異をファイルに保存する..。
 - ^巴 差異。

ABBYY Screenshot Reader

ABBYY Screenshot Readerはスクリーンショットの作成、画面からのテキストの取得に簡単に使用できるアプリケーションです。

ABBYY Screenshot Readerの機能:

- スクリーンショットの作成
- スクリーンショットを編集可能なテキストにします
- ABBYY OCRテクノロジーのすべての利点

ABBYY Screenshot Reader のインターフェースは、簡単で直感的です。つまり、スクリーンショットを作成したり、そこからテキストを認識したりするために専門的な知識は一切必要ありません。アプリケーションのウィンドウを開き、スクリーンショットを撮るコンピュータ画面のセクションを選択するだけです。スクリーンショットを認識し、画像や認識されたテキストを保存することができます。

- <u>ABBYY Screenshot Reader のインストールと起動</u> Im
- スクリーンショットの作成とテキストの認識 138
- 追加オプション
- <u><u></u>|</u>

ABBYY Screenshot Reader のインストールと起動

デフォルトでは、ABBYY Screenshot Reader は次の製品と共にコンピュータにインストールされます: ABBYY FineReader 14。

ABBYY Screenshot Readerを開始するにはタスクバーのABBYY Screenshot Reader アイエンを 🗒 クリックします。

☑ ABBYY Screenshot Reader は複数の方法で開始できます:

- ペインを開きます新しいタスクABBYY FineReader 14のウインドウを開き、メニューの、をクリックします。
 Screenshot Reader ツール。
- PDFエディターを開き、メニューで、をクリックします。 Screenshot Reader ツール。
- OCRエディターを開き、メニューで、をクリックします Screenshot Reader ツール。
- Microsoft Windows で、ボタンをクリックし、その後、スタートメニューで次のようこクリックします:[スタート] ボタンをクリックし、その後 ABBYY FineReader 14 > ABBYY Screenshot Reader。Windows 10 を 使用している場合には、次のようこクリックします: ボタンをクリックし、その後すべてのプログラム >

ABBYY FineReader 14 > ABBYY Screenshot Reader。

スクリーンショットの作成とテキストの認識

ABBYY Screenshot Reader は、コンピュータ画面上の選択されている領域のスクリーンショットを作成し、これをファイルに保存したり、クリップボードにコピーしたり、OCRエディター「いう」

ABBYY Screenshot Reader展開時に ABBYY Screenshot Reader お使いのコンピューターの画面に表示されます。

ABBYY Screenshot Reader		?	×	
取り込み(<u>C</u>):	已 領域	\sim		+
言語(<u>(</u>):	ロシア語と英語	\sim		ė.
送信 <mark>(S)</mark> :	テキストをクリップボードに	\sim		

ABBYY Screenshot Reader ウインドウには、コンピュータ画面上のテキストと表を認識するソールが含まれています。 これらのソールで、選択されている画面エリアのスクリーンショットを作成したり、アプリケーションをセットアップしたりできます。

スクリーンショットを作成したり、テキストの一部を認識するには、次の手順を実行します:

- 1. 画面キャプチャ方法をキャプチャドロップダウンリストから選択します。
 - 領域 キャプチャするエリアを選択することができます。
 - ウインドウ 画面の一部をキャプチャ(例:ウインドウ、ウインドウの一部またはツールバー)します。
 - 画面 画面全体をキャプチャします。
 - スケジュールされた画面 5秒遅延してから画面全体をキャプチャします。
- 2. 認識する言語を言語ドロップダウンリストから選択します。
- 3. オプションのグループの送信 ドロップダウンリストで、画像または認識されたテキストを送信するアプリケー ションを選択します。 テキストとスクリーンショットは:
 - クリップボードにコピーされます(以下を選択した場合:テキストをクリップボードにコピー、テーブルを クリップボードにコピーまたは画像をクリップボードにコピー送信ドロップダウンリスト)。
 - 新規文書に配置されます(以下を選択した場合: テキストを Microsoft Word に[1] または テーブ ルを Microsoft Excel に[2] を送信ドロップダウンリスト)。

- ファイルとして保存(以下を選択した場合:テキストをファイルに、テーブルをファイルにまたは画像
 をファイルに送信ドロップダウンリスト)。名前を付けて保存ダイアログボックスが開きファイル名と ファイルの形式を指定する必要があります。
- OCRエディターで開かれた場合 ABBYY FineReader 14 (画像をOCR エディタへ[3] を送信 ドロッ プダウンリスト)。画像エリアにテキストと写真の両方が含まれる場合 このアイテムを選択します。
- 新規作成された電子メールメッセージに*bmp ファイルとして添付(以下を選択した場合:画像を電子メールに送信ドロップダウンリスト)。

💡 このアイテムには以下が必要です:

- [1] Microsoft Word
- [2] Microsoft Excel
- [3] ABBYY FineReader 14

1

4. ボタンをクリックします。

スクリーンショットリストで選択した項目に応じて、スクリーンショットが自動的に作成されるか、目的のエリアを選択できる取り込みツールが表示されます。

- 領域 キャプチャ ドロップダウンリストから、を選択した場合、画面のそのエリアは選択されます。
- エリアの境界線を調整するにはマウスのポインターを境界線にあてて、マウスの左ボタンを押しながらドラッグします。エリアを移動するには、エリアを選択してマウスの左ボタンを長押ししながら移動します。
 希望のエリアを選択したら、取り込むボタンをクリックします。
- ウインドウキャプチャドロップダウンリストから選択したら希望するエリアにマウスのポインターを当てて 色のフレームが表示されたら、マウスの左ボタンを押します。
- **画面** または スケジュールされた画面 キャプチャドロップダウンリストから選択 したら スクリーンショッ Ht、そのまま作成されます。

注:

- 1. 画面の取り込みを取り消す場合にはEsc キーを押すか、マウスの右ボタンをクリックします。
- 2. 認識をキャンセルするには停止ボタンをクリックするか Esc キーを押します。

追加オプション

追加オプションを選択するには、タスクバーのABBYY Screenshot Reader 🗄 アイコンを右クリックして、その後、オプションをクリックします。次のオプションが利用可能です:

・常に前面に表示

アプレーション間を移動する際に、ABBYY Screenshot Readerツールバーをその他すべてのウィンドウの上部に保持する

・起動時に実行

ABBYY Screenshot Readerをコンピューターを起動するたびご用く

• サウンドを有効にする

ABBYY Screenshot Readerが画像のコピーをクリップボードにコピーするたびに通知音を出す。

ピト

- 1. 複数の言語で書かれたテキストの操作 1つの言語でのみ記述されているテキストフラグメントを選択します。認識処理を開始する前に、言語ドロップダウンリストから選択した言語はテキストの言語と同じであることを確認します。正しくない場合には、 正しいものを選びなおします。
- 必要な言語がしストにない場合には、その他の言語…言語ドロップダウンリストから選択して、開いたダイアログボックスから目的の言語を選択します。
 認識言語一覧に必要な言語がない場合:
 - ABBYY Screenshot Readerはこの言語をサポートしません。サポートされる言語の完全なリストは <u>http://www.abbyy.comを参照してください</u>。サポートされる言語のリストはアプリケーションのエディション毎に異なる可能性があります。
 - この言語は、カスタムインストール中に無効になっている可能性があります。 OCR 言語をインストールする:
 - a. 次のようこクリックしてコントロールパネルを開きます:[スタート] > コントロールパネル。
 - b. オプションのグループの コントロール パネル ウィンドウで プログラムの追加 と削除 アイテムを選択します。

☑ Windows 10 を使用している場合には、次のようにクリックします: ■ ボタンをクリックし、その後 オプション > システム > アプリケーション。

- c. ABBYY FineReader 14 をインストールされているソフトウェアのリストから選択して変更ボタンを クリックします。
- d. 目的の言語をダイアログボックスから選択します カスタム セットアップ ダイアログボックスを開きます。
- e. 画面に表示されるセットアッププログラムの手順に従います。

3. 選択したエリアにテキストと画像の両方が含まれている場合: オプションのグループの送信をクリックします画像をOCR エディタへ。スクリーンショットはFineReader 14

インションのフルーフの送信をフリックにより画像をUCR エティダへ、スクリーフショットはFineReader 14 のOCRエディターのOCRプロジェクトに追加され、そこで処理、認識を実行できます。OCRエディターが既に 開いている場合には、画像は言外のOCRプロジェクトに追加されます。それ以外の場合には、新規OCR プオジェクトが作成され、画像がこの新規プロジェクトに追加されます。

参照

本章ではよく寄せられる質問の回答を提供します。

本章の内容

- <u>PDF文書のタイプ</u> 192
- <u>Z=++201211 194</u>
- <u>
 文書の写真撮影</u>
 ¹⁹⁷
- オプションダイアログボックス
- <u>書式(フォーマット)設定</u>
 ²⁰⁴
- <u>サポートされているOCRおよび文書の比較言語</u>[218]
- サポートされている文書の形式 [225]
- <u>OCR前に考慮すべき文書の機能</u>[228]
- <u>OCRオプション</u>234
- ・
 <u>複雑なスクリプト言語を使った作業</u>
 ²³⁷
 ・
- サポートされているインターフェイスの言語 241
- スタンプ およびへッダーやフッターの現在の日付と時間」を242
- <u>サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント245</u>
- <u>正規表現</u> 247

PDF文書のタイプ

PDF文書の特徴は、作成されたプログラムによって決定されます。一部のPDF文書は検索可能でコピー可能なテキストがありますが、その他のものはABBYY FineReaderのような特別なアプリケーションで開いた時のみ可能となります。3 種類のPDF文書があります。

画像のみのPDF文書

画像のみのPDF文書は、ハードコピーの文書のスキャンから作成されます。ページの画像のみが含まれ、テキストレイヤーがありません。画像のみのPDFでは検索が実行できず、そのテキストロPDF表示アプリケーションで変更またはマーク付けを実行できません。

ABBYY FineReader 14 は特別な <u>背景OCR プロセスを使用して</u> を作成し、テキストを検索、コピーできるようこするだけでなく <u>ページ画像の編集されも可能にします</u> ABBYY FineReader 14 を使用して <u>このテキストレイヤーを文書に保存することができるため</u> ションでも検索やコピーができるようこなります。**以下も参照してください**: <u>PDF設定</u> 204

検索可能なPDF文書

検索可能なPDF文書はページの画像とその下にある目に見えないテキストレイヤーから構成されます。この種類の文書は通常、紙の文書をスキャン、認識、認識されたテキストのテイストレイヤーへの保存というプロセスで作成されます。

PDF文書をABBYY FineReaderで開くと文書を分析し、使用可能なテキストレイヤーがあるかどうかを確認します。 以下も参照してください: OCRオプション²³⁴。テキストレイヤーが存在する場合には、文書に含まれるテキストは検 索可能ですべてのPDFアプリケーションでコピーできます。その他のPDFアプリケーションと異なり、ABBYY FineReader では検索可能なPDF文書のテキストを編集できます。

ABBYY FineReaderを使用して検索可能なPDF文書を作成する方法は次の通りです:

- 1. 画像のみのPDF文書に<u>テキストレイヤーを</u>781追加する。
- PDF文書と画像ファイルを検索可能なPDF形式に変換する。これを実行するには、ページ画像の下に テキストダイアログボックスでオプションを検索可能なPDF設定 PDFフォーマットの設定でオプションのグル ープを有効にします。以下も参照してください: PDF設定 2041。



その他のアプリケーションで作成されたPDF文書

検索可能なPDF文書は (DOCXのような)様々な編集可能な書式から作成できます。このタイプの文書にはテキスト レイヤーと写真が含まれますが、ページの画像は含まれません。これらの文書は、パスワードを入力する必要がないか、 ユーザーがパスワードを知っている場合には検索可能で、テキストと写真をコピー、編集できます。

このタイプのPDF文書を作成する方法は次の通りです:

- 1. 編集可能な文書を作成されたプログラムで開いてPDFとして保存します。
- 2. 別のタイプのPDF文書を変換するか、ABBYY FineReaderを使用して別の形式の文書をこのタイプのPDF に変換します (PDF形式の設定で テキストと画像のみ ダイアログボックスでオプションを検索可能なPDF 設定 オプションのグループでオンにします)。以下も参照してください: PDF設定[204]。

結果として生成される文書は、その他のタイプのPDF文書より
注簡単に編集できますが
元の文書とは違う
外観になる
可能性があります。



スキャンのヒント

ABBYY FineReaderのダイアログボックスでスキャン設定を実行できます。

- スキャナーがコンピューターに適切に接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。
 スキャナーの付帯文書を参照して設定が正しく実行されていることを確認します。必ず、スキャナーに付帯するソフトウェアをインストールするようこします。スキャナーの中には、接続されているコンピューターがオンにされる前に、起動するものもあります。
- スキャナーでページをできるだけまっすくに配置するようにします。スキャナーに文書の表面を下にしておいて、 適切に調整されていることを確認します。歪んだ画像は正し、変換されない可能性があります。
- ・通常のプレターで印刷された文書をスキャンする必要がある場合には、グレースケールモードで、300 dpi の解像度を使用します。
 認識の品質は、ハードコピーの文書の品質と文書のスキャンに使用される設定に依存します。劣悪な画像の品質は変換の品質に悪影響を及ぼす可能性があります。文書に適したスキャンパラメーターを必ず選択するようにします[22]。

スキャンインターフェースを開く方法はいくつかあります:

- •新しいタスク画面でスキャンタブをクリックしたら OCRエディタにスキャンまたはこのタブの別のタスクをク リックします。
- オプションのグリレープの OCR エディタ メインソールバーの スキャン メインソールバーで、ボタンをクリックします。
- PDFエディターの ^{「・ページの追加} ▼ ボタンをクリックして、その後、をクリックします スキャナから追加 …をクリックします。



以下のスキャン設定を指定できます:

カラーモード

スキャンモードの設定:カラー、グレースケール(OCRに最適)または白黒。

明るさ

スキャンの明るさの変更。

ABBYY FineReaderはスキャン中に明度(明るさ) かっぽう 設定が低すぎたり、高すぎたりする場合には警告メッセージを表示します。 白黒モードでスキャンする際にも明度設定を調整する必要があるかもしれません。

≤ 50%に設定するとほとんどの場合でうまく機能します。

結果の画像にあまりに多くの崩れた文字やつぶれた文字がある場合には、以下の表を使用して問題を解決してください。

画像の欠陥	推奨事項
brightness	画像が文字認識に適されい
brightness	• 明度を下げて画像を暗くする。
文字が細すぎるまたは崩れている	 グレースケールスキャンモードを使用します (このモードでは自動で明度を調整します)。
to ightness	• 画像を明るくするために明度を上げます。
文字が太く隣の文字とくっついている	 グレースケールスキャンモードを使用します (このモードでは自動で明度を調整します)。

スキャン解像度

スキャン解像度の変更。

認識品質は文書の画像の解像度によります。劣悪な画像の品質は変換の品質に悪影響を及ぼす可能性があります。

文書を00 dpiでスキャンすることが推奨されます[25]。

✓ OCRで最適な結果を得るためには、垂直解像度と水平解像度が同じである必要があります。

解像度の設定が高すぎる(600 dpi以上)とOCRが遅くなります。解像度をこれ以上にしてもOCR結果を大幅に高めることはありません。

解像度を非常に低くしても(150 dpi以下)OCR結果に悪影響を及ぼします。

以下の場合には画像の解像度を調整する必要があります:

- 画像の解像度が250 dpi 未満または600 dpi 以上。
- 画像の解像度が非標準の場合。

一部のFAXでは、解像度が204 x 96 dpiになることがあります。

画像の切り取り

プリセットのスキャンエリアサイズを選択するか、手動でスキャンエリアを指定できます。

複数ページから成る文書のスキャンオプション:

スキャナーに次の機能がある場合には、複数ページスキャンのための設定を指定します:両面スキャン、自動フィード (ADF)、自動スキャンの遅延など。

見開きページのスキャン

本をスキャンする際、スキャンされた画像には通常2つの見開きページが含まれます。



OCR品質を改善するために、見開きページの画像は2つの別々の画像に分割される必要があります。ABBYY FineReader 14にはOCRプロジェクト内でそうした画像を別々のページに自動分割する特殊モードがあります。

見開きページをスキャンする場合、または両面ページをスキャンする場合には、以下の指示に従ってください

- たクリックします ツール > オプション …とクリックして、オプション ダイアログボックスを開き、タブをクリックします 画像処理。
- 生成されるモブックの文書のフォントを埋め込むには見開きページを分割するダイアログボックスでオプションを画像の予備処理設定(変換およびOCRに適用)を選択します。
 ズスキャンが正し、方向であることを確認するかページの向きを修正オプションをクリアします。見開きページのスキャンが正し、方向でない場合には(上下逆)見開きページは分割されません。
- 3. 見開きページのスキャン

■ この他にも指定できる画像処理オプションがあります。以下も参照してください: <u>画像処理のオプション</u> 231 手動で見開きページを分割することもできます:

- 1. 画像ペインの ^{い 画像の編集} ツールバーの ボタンをクリックして 画像 エディターを開きます。
- 2. 左端のセクションのソールを使用して分割ページを分割します。

☑以下も参照してください:

- ・
 画像処理のオプション
 ²³¹
- <u>OCR前に考慮すべき文書の機能</u>[28]
- <u>文書画像に不具合が多く OCRの精度が低し場合</u>[12]

文書の写真撮影

スキャンは文書の画像を取得する唯一の方法ではありません。カメラや携帯電話を使用して文書の写真を撮影して、ABBYY FineReader 14で写真を開いて、「114] それを認識できます。

文書の写真を撮影する場合には、認識に適した写真にするために多くの要素を考慮する必要があります。これらの 要素は以下のセクションで詳細に説明されます:

- <u>カメラの要件</u> 197
- <u>照明</u> 197
- <u>写真の撮影</u>
- <u>画像の改善方法</u> [199]

カメラの要件

信頼性の高い認識を実行できる文書の画像を取得するためには、以下の要件を満たすカメラを使用してください。

推奨されるカメラの特徴

- 解像度:イメージセンサー: A4 ページで500 万画素。名刺のような小さな文書の撮影には小さなセンサ ーが十分かもしれません。
- フラッシュ機能をオフにする
- 手動口径制御、すなわち、Av または フル手動モードが使用可能
- 手動フォーカス
- 手ぶれ防止 (画像の安定化)機能または三脚を使用できること。
- ・ 光学ズーム

最小要件

- イメージセンサー: A4 ページで2 万画素。
- 可変焦点距離。

☑ カメヨニ関する詳細な情報については、お使いのデバイスに付帯する文書を参照してください。

照明

照明は結果の写真の品質に大きな影響を与えます。

最高の結果は、明るく平均的な照明、できれば日中の光で獲得できます。晴れた明る、旧には、開口数を増加してよりシャープな写真を取得できます。

フラッシュと追加照明の使用

- •人工照明を使用する場合には、2つの照明を設置し、影やグレアが発生しないようにしてください。
- +分な光がある場合には、フラッシュをオフにしてシャープなハイライトと影を防止します。フラッシュを薄暗い
 条件下で使用する場合には、約50 cmの距離から撮影するようこしてください。



画像が暗すぎる場合

- 開口部の絞り値を低めに設定します。
- 高いISO 値を設定します。
- 劣悪な照明条件でオートフォーカスが失敗したら、手動フォーカスを使用します。

暗すぎる画像と良い品質の画像の比較:



写真の撮影

良い 品質の文書の写真を取得するには、カメラを正しく構えるようにして、これらのシンプルな推奨事項に従ってください。

- 可能な限1)三脚を使用します。
- •レンズを撮影するページと平行にします。ズームインした時に、ページ全体がフレームに収まるようこカメラと文書の距離を選択します。多くの場合に、この距離は50から60センチにないます。

- (特に暑い本の場合には)文書のページや本のページを均等に広げてください。テキストが正しく変換されない場合があるため、テキスト行は20度以上傾かないようにしてください。
- シャープな画像を取得するために、画像の中央部に焦点を当ててください。



- 劣悪な照明条件下での長時間の暴露によりぼやけた写真になる可能性があるため、手ぶれ防止機能をオンにしてください。
- 自動シャッターリノース機能を使用してください。これによい、シャッターリノースボタンを押したときにカメラか動くのか防止されます。三脚を使用する場合でも自動シャッターリノースの使用が推奨されます。

以下の場合に画像を改善する方法:

- 画像が暗すぎるまたはコントラストが低すぎる:
 解決方法:明る、照明を使用してください。不可能な場合には、開口部の絞り値を設定してください。
- ・ 画像のシャープさが足りない。

 解決方法:劣悪な照明条件下まさは至近距離から写真を撮影する場合には、オートフォーカスが正しく
 機能しないにとがあります。明るい照明を使用してください、三脚とセルフタイマーを使用して、写真を撮る
 ときにカメラを移動しないでください。

画像が若干ぼやけている場合、画像修正 OCRエディターの画像エディターのツールでより良い結果が達成される可能性があります。以下も参照してください:文書画像に不具合が多く OCRの精度が低い場合

- 画像の一部が、十分にシャープではない。 解決方法: 絞い値を高く設定してください。最大の光学ズームで遠距離から写真を撮います。 画像の中 央と端の中間に焦点を当てます。
- フラッシュでグレアが生じる。
 解決方法:フラッシュをオフにするまたはその他の光源を使用してカメラと文書の距離を増やします。

オプションダイアログボックス

オプションダイアログボックスには、文書のスキャン方法、開く方法、認識して様々な形式に保存する方法を決定した り、OCR言語の変更、インターフェースの言語の変更、入力文書の印刷タイプ等のオプションを決定するための様々な オプションが含まれます。 💡 複数の方法を使用して オプションダイアログボックスを開くことができます:

- オプションのグリレープの新しいタスク画面でオプション左下角のボタンをクリックします。
- オプションのグループの新しいタスク画面で、次のようにクリックします:ツール > オプション..。
- PDFエディタで、以下の順にクリックします: ツール > オプション.。
- OCRエディターで、以下の順にクリックします:ツール > オプション.。

ダイアログボックスを開くボタン、リンク、コマンドはオプション画面でファイルを変換またはスキャンした場合にも利用可能で、新しいタスクッールバーでも、PDFエディターおよびOCRエディターのツールバーのショートカットメニューでも、文書を保存した時に表示されるダイアログボックスでも利用可能です。

オプションダイアログボックスには7つのタブがあり、それぞれにABBYY FineReader機能の特定の設定が含まれます。

一般

このタブでは、以下を実行できます:

- ABBYY FineReader 14の起動時にプログラムのどの部分が開くかを選択できます:新しいタスクスクリーン、新しいOCRプロジェクトのあるOCRエディター、または最近使用されたOCRプロジェクトのあるOCRエディター。
- 画像を取得するために使用するデバイスを指定してスキャンインターフェースを選択。
 ABBYY FineReaderはビルトインのダイアログボックスを使用して<u>スキャン設定を指定します</u>
 FineReader 14のスキャンインターフェースがお使いのスキャナーと互換性がない場合、スキャナーの元々のインターフェースを使用することができます。スキャナーの付帯文書にはこのダイアログボックスおよびその要素の説明が含まれるはずです。
- FineReaderをPDF文書を開くデフォルトのプログラムにする。

☑ デフォルトのPDF表示アプリケーションが選択されていないWindows 7 を実行しているコンピュータにABBYY
FineReaderをインストールすると ABBYY FineReaderはPDF文書を開くデフォルトプログラムに自動的にないます。

画像処理

このタブには3つのグループのオプションが含まれます:

- PDFエディタで背景認識をオンにする このオプションがオンの場合には、PDFエディターで開かれたすべてのページが自動で認識されます。このプロ セスはバックグラウンドで実行され、PDF文書に一時的テキストレイヤーを追加して、検索したは、文書内の テキストをコピーしたりできるようこします。 このグループの下部にあるリンクを使用して文書で使用されている言語を指定します。
- ページの画像がOCRエディタに追加されたら自動で処理する
 このオプションでは新規追加ページの自動処理のオン けつを行います。自動処理が有効になっていれば、
 画像をスキャンしたり開 の時に適用する文書処理の一般オプションや画像の予備処理を選択できます。
- ページ画像を認識する(予備処理と分析を含む)
 OCRエディターに新規追加された画像はこのオプションのグループで指定された設定で予備処理されます画像の予備処理設定(変換およびOCRに適用)。分析と認識も自動的に実行されるようこないます。

ページ画像を分析する(予備処理を含む)
 画像の予備処理と文書の分析を自動的に実行しますが、認識は手動で開始する必要があります。

•ページ画像の事前処理

予備処理のみ自動で実行されます。分析とOCRは手動で開始する必要があります。

・ 画像の予備処理設定 (変換およびOCRに適用)

ABBYY FineReader 14を使用して、スキャンやデジタル写真の一般的な欠陥を自動で削除できます。

図以下も参照してください:<u>背景認識</u>「54、<u>画像処理のオプション</u>√231、<u>複雑なスクリプト言語を使った作業</u>「237」。

言語

このタブにはOCR言語オプションが含まれます。以下も参照してください: OCR前に考慮すべき文書の機能 22%

OCR

このタブでは、認識オプションを選択できます:

- <u>PDF認識モード</u>234
- 完全または高速認識を使用するかどうか
- <u>
 文書のタイプ</u>
 ₂₂₉
- プログラムが構造要素を検出するべきか(Microsoft Wordに結果をエクスポートする際、どの要素を保持 するかを選択できます)
- プログラムがバーコードを認識すべきか
- 学習機能 (テキストの認識時にユーザーパターンを使用できます)
- フォント(認識されたテキストで使用するフォントを選択できます)

図してください: OCRオプション □23 印刷された文書に非標準フォントが含まれるか いっつ

書式 (フォーマット)設定

このタブでは出力ファイル形式の設定を調整できます。以下も参照してください: 書式 (フォーマット)設定20%

その他

このタブでは、以下を実行できます:

- •次に<u>ABBYY FineReader 14のインターフェース言語の指定</u>[241]。
- FineReaderがOCR実行時にプロセッサコアを何個使用するかを指定します。
- ABBYY FineReader 14が自動でアップデートを確認し、インストールするべきかを選択します。
- ABBYY社が本ソフトウェアを改善できるよう 匿名化されたABBYY FineReader 14の設定データを送信するかどうかを指定します。
- •特別オファーやABBYY FineReader 14を使用する上でのヒントを表示するかどうかを選択します。
- <u>PDF文書のJavaScriptのオンまたはオフ</u>58〕。
- ABBYY FineReader 14がPDFドキュメント内のURLを自動で検知するべきかを指定してください。

デフォルトの設定に戻す場合にはリセット...をクリックします。

エリアとテキスト*

このタブでは、以下を実行できます:

- ・信頼性の低し文字の検証設定を指定します。
- •辞書にない単語の検証設定を指定します。
- 数字や特殊文字が含まれている単語は無視する。
- 辞書にない 複合語を確認する
 ☑ 複合語は、2つ以上の既存の単語から成り立っています。
- 句読点の前後のスペースを訂正するかどうかを指定します。
- ユーザー辞書の表示と編集
- プレーンテキストを表示するフォントを選択します。
- 画像ウインドウの異なるエリアタイプの枠の色、太さ、信頼性の低い文字の色を強調表示するか、などの表示オプションを選択します。

図以下も参照してください: <u>認識されたテキストを確認</u>[145]、<u>プログラムが特定の文字を認識できない場合</u>[141]、<u>エ</u> <u>リアプロパティの編集</u>[13]。

* このタブは OCR エディターでのみ利用可能です。

書式 (フォーマット)設定

ABBYY FineReaderは出力文書のルック・アンド・フィールを決定する柔軟性の高い書式設定を提供します。

- <u>PDF設定</u> 204
- <u>DOC(X) / RTF / ODT設定</u>200
- <u>XLS(X)設定</u> 211
- <u>PPTX設定</u> 212
- <u>CSV設定</u> 212
- <u>TXT設定</u> 213
- <u>HTML設定</u> 213
- <u>EPUB / FB2設定</u>215
- <u>DjVu設定</u> 216

PDF設定

以下の設定が利用できます:

画像品質

テキストに多数の写真が含まれる場合や、ページの画像を認識されたテキストと一緒に保存することを選択した場合には、結果のPDFファイルは非常に大きなサイズになる可能性があります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です**画像品質**ドロップダウンリスト:

• 最高の品質

写真やページ画像の品質を保持する場合は、このオプションを選択します。ソース画像の元の解像度が保持されます。

• バランス保持

ページ画像や写真の品質を適度に高いレベルに保ちつつPDF文書のサイズを抑えるには、このオプションを選択します。

• コンパクトサイズ

出力されるPDFファイルのサイズを大幅に削減するには、このオプションを選択します。写真やページ画像の 解像度は300 dpiまで下げられ、品質に影響が発生します。

カスタム …

カスタム画像品質設定を指定する場合には、このオプションを選択します。オプションのグループのカスタム 設定希望する設定を選択してOK。

PDF/A文書を作成

PDF/A文書を作成し、使用したいPDF/Aバージョンを選択した場合には、このオプションをオンにします。

PDF/UA文書を作成(OCRが必要)

PDF / UA文書を作成する場合は、このオプションを有効にします。生成される文書は元の文書と全く同じように表示されない可能性がありますのでご注意ください。

パスワードで文書を保護する

このオプションでは、PDF文書をパスワードで保護し、不正に開かれ、印刷または編集されるのを防止します。設定 ... ボタンをクリックして、開いたダイアログボックスで保護設定を指定します:

• 文書を開 ジスワード

文書に文書を開くパスワードがある場合、ユーザーは指定されたパスワードを入力した後でのみ開くことができます。文書にパスワードを設定する:

- 1. 文書を開くためのバスワードでアクセスを制限するオプションをクリアします。
- パスワードを入力して確認します。
 フィールドレパスワードが表示されるようにする場合には文字を非表示オプションをドキュメントを開く パスワード無効にします。

• 許可パスワード

このパスワードは不正な編集や印刷からPDF文書を保護し、パスワードを知らないユーザーがそのコンテンツを別のアプリケーションにコピーすることを防止します。指定されたパスワードを入力した後でのみ、ユーザーはこれらのアクションを実行できます。このパスワードを設定:

- 1. 許可パスワードで印刷と編集を制限するオプションをオンにします。
- パスワードを入力して確認します。
 フィールドレパスワードが表示されるようにする場合には文字を非表示オプションをアクセス許可パス
 ワードフィールドでカテゴリーを選択します。

次に、ユーザーに実行を許可するアクションを選択します。

- **印刷** ドロップダウンリストには、文書の印刷を許可または制限するオプションが含まれます。
- **編集** ドロップダウンリストロは、文書の編集を許可または制限するオプションが含まれます。
- テキスト、画像その他のコンテンツのコピーを許可するオプショイはユーザーに文書のコンテンツ (テキスト、写真など)のコピーを許可します。このようなアクションを禁止する場合には、このオプションを選択しないようこします。
- **画面リーダーによるテキストの読み取りを可能にする**オプションは、文書が開かれた時、スクリーンリーダーソフトウェアがテキストを読み取ることを許可します。このようなアクションを禁止する場合には、このオプションを選択しないようにします。
- 暗号化レベル

暗号化ドロップダウンリストには、パスワードで保護された文書の暗号化オプションが含まれています。

- 128-ビットAES はかない強力な暗号化アルゴリズムで、AES標準に基づいています。
- 256-ビットAES 強力な暗号化アルゴリズムで、AES標準に基づいています。

暗号化ドロップダウンリストから、「ずれかを選択します。 すべての文書の内容 文書のデータを暗号化せず、読み取り可能に保ちながら、メダデータをのぞく すべての文書の内容 文書全体を暗号化します。

オブジェクトとデータの削除

PDF文書に含まれる様々なオブジェクトを保持したくない場合には、選択 …ボタンをクリックして、保持したくないオブジェクトを選択します:

- コメントや注釈
 メモ、コメント、図形、およびテキストプロックは保存されません。
- リンク、メディア、アクション、スクリプト、フォームデータ インタラフティブな要素は保存されません。
- ・ブックマーク

ブックマークは保存されません。

• 添付

添付ファイルは保存されません。

すべてのページ画像に単一の用紙サイズを使用する

このオプションがオフの場合には、ページの画像の元の用紙サイズが保持されます。PDF 文書内の特定の用紙サイズを使用する場合は、このオプションをオンにします。

MRC圧縮を使用する (OCRが必要)

このオプションを選択すると大幅にファイルサイズを削減し、画像の視覚的な品質を維持するMRC圧縮アルゴリズムが適用されます。

☑ MRC圧縮を使用する(OCRが必要)オプションがオンの場合、検索可能なPDF文書はページ画像の下にテキ ストオプションを利用できます。

ページ画像での文字をなめらかにするためにABBYY PreciseScanを適用する

ABBYY PreciseScan技術を使用して、文書内の文字を滑らかにしたい場合は、このオプションをオンにします。その結果、ページでズームインしても、文字はピクセル化して見えません。

検索可能なPDF設定

このグループのオプションはPDF文書のどの要素を保存するかを決定できます。予定している文書の利用方法に合わせて、以下から最適なオプションを選択します:

• テキストと画像のみ

このオプションは、認識されたテキストと関連付けられた写真のみを保存します。ページは完全に検索可能で、PDFファイルのサイズは小さないます。結果の文書の外観は、元の文書とわずかに異なります。

•ページ画像の上にテキスト

このオプションは元の文書の背景と写真を保存し、認識されたテキストをその上に配置します。通常、この PDFタイプでは、よりた多くのディスクスペースが必要となります テキストと画像のみ。結果のPDF文書は、 完全に検索可能になります。場合によって、作成される文書の外観は、元の文書とわずかに異なります。

•ページ画像の下にテキスト

このオプションでは、ページ全体を画像として保存し、その下に認識されたテキストを配置します。テキストレイヤーの効果で、ページの画像により文書の外観は元の文書とほとんど同じであることを保証しながら、文書を検索し、テキストをコピーすることが可能になります。

見出しからブックマークを作成

文書の見出しから目次を作成したい場合には、このオプションを選択します。

PDF タブの作成

出力PDF文書にPDFタグを追加するには、このオプションを選択します。

テキストと写真以外に、PDFファイルに論理部分、写真、表のような文書の構造に関する情報を含めることができます。この情報はPDFタグに保存されます。PDFファイルのこのようなタグはさまざまな画面サイズに合うようご調整でき、 ハンドヘルドデバイスではうまく表示されます。

フォント

PDFファイルにテキストを保存する際には、お使いのコンピュータにインストールされているAodbeフォントまたは Windowsフォントを使用できます。使用のために設定するフォントを指定し、ドロップダウンリストから以下の項目のい ずれかを選択します:

• 定義済みフォントを使用

PDFファイルはAdobeフォントを使用します。例: Times New Roman、Arial, Courier New。

• Windows フォントを使用

PDFファイルはお使いのコンピュータにインストールされたWindowsフォントを使用します。

PDF文書にフォントを埋め込むには、フォントを埋め込むオプションをクリアします。これにより文書ファイルは大きくなりますが、どのコンピュータ上でも文書が同じく表示されます。

☑ フォントを埋め込むはテキストと画像のみおよびページ画像の上にテキスト PDF文書にのみ利用可能です。
文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

PDF形式で保存された場合に文書のメダデータ「ヨー」を保持する。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメダデータを変更する場合には、メダデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、をクリックします。OK。

DOC(X) / RTF / ODT設定

以下の設定が利用できます:

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

1. 正確なコピー

元の文書の形式を保持します。この設定は販促用パンフレットなどの複雑なレイアウトの文書に推奨されます。しかし、このオプションでは出力文書のテキストと形式を変更する能力が制限されますのでご注意ください。

2. 編集可能コピー

元の文書の形式とは若干異なる形式の文書を生成します。このモードで生成された文書は容易に編集できます。

3. フォーマット済みテキスト

段落を保持しますが、ページ上のオブジェクトの位置や行間をまった、同じには保ちません。生成されたテキ ストは左揃えとなります。右から左に書 〈テキストは右揃えとなります。 『縦書きのテキストは横書きになります。

4. プレーンテキスト

ほとんどの形式が破棄されます。オプションがオンの場合、フォントスタイルのみ保持されます。プレーンテキ ストに太字、斜体、下線の文字スタイルを保持

既定の用紙サイ

RTF、DOC またはDOCX 形式での保存に使用する用紙サイズは、デフォルトの用紙サイズドロップダウンリストで選択できます。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きなることがあります。写真の品質および結果として生成されるファイルのサイズは画像設定ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です。画像を保持する。

ヒント。写真の保存パラメータを変更するにはカスタム..。表示されるダイアログボックスで、カスタム設定目的の設定を指定してOK。

テキスト設定

- ヘッダー、フッター、ページ番号を維持する 出力テキストでヘッダー、フッター、ページ番号を保持します。
- 改行およびハイフンを維持する 元のテキスト行の配置を出力テキストで保持します。
- ページ区切りを維持する

元のページの配置を保持します。

• 行番号を維持する

元の行番号を保持します(ある場合)。行番号はテキスト編集時に変更されない別のフィールドで保存されます。

✓ この機能は文書のレイアウトドロップダウンリストで編集可能コピーオプションが選択されている場合に
 利用できます。

• テキストと背景の色を保持する

フォントの色と背景色を保持する場合に、このオプションを選択します。

プレーンテキストに太字、斜体、下線の文字スタイルを保持
 文書のレイアウトドロップダウンリストでプレーンテキストオプションが選択されている場合に文書レイアウト。

✓ ヘッダー、フッター、目次、番号のリスト、脚注の検出をOCR ダイアログボックスのオプションタブで無効にする場合
 (このダイアログボックスを開くにはオプション…ツールをクリックします)これらの要素は本文として保存されます。

信頼性の低い文字

ABBYY FineReaderのOCRエディターのテキストペインではなく Microsoft Wordで信頼性が低い文字の強調表示 文書を編集する計画がある場合に、このオプションをテキスト。このオプションが選択された場合、すべての信頼性の低い文字はMicrosoft Word文書で強調表示されます。

ヒント。 信頼度が低い文字の色は、オプションダイアログボックスのエリアとテキストタブで変更できます (このダイアロ グボックスを開くこはオプション …ツールをクリックします)。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メダデータを保持します。このオプショイはデフォルトでオンになっています。

文書のメダデータを変更する場合には、メダデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

XLS(X)設定

以下の設定が利用できます:

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

1. フォーマット済みテキスト

フォント、フォントサイズ、段落は保持されますが、ページ上のオブジェクトの正確なスペースや場所は保持されません。生成されたテキストは左揃えとなります。右から左に書くテキストは右揃えとなります。 「縦書きのテキストは横書きになります。

2. プレーンテキスト

書式設定は保持されません。

写真の設定

XLSX文書に写真を保存できます。多数の写真が含まれる文書は大きなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です 画像を保持 (XLSX のみ)。

ビント。写真の保存パラメータを変更するにはカスタム..。希望する設定を で選択しますカスタム設定目的の設定を指定してOK。

テキスト設定

• ヘッダーとフッターを維持する

ヘッダーとフッターのテキストを保持する場合は、このオプションをオンにします。このオプションがオフの場合、 ヘッダーとフッターは保持されません。

表の外側のテキストを無視する
 表のみを保存し残りの部分を無視します。

•数値を数字に変換する

数字をXLS ファイルの 数値」形式に変換します。 Microsoft Excel では、そのようなセルに対する算術演算を実行できます。

•ページごとこ別のシートを作成する(XLSXのみ)

別のワークシートとして元の文書からページを保存するこのオプションを選択します。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプショイはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、メタデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

PPTX設定

以下の設定が利用できます:

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です**画像を保持する**。

ヒント。 写真保存の設定を変更するには カスタム..。オプションのグループの カスタム設定 希望する設定を選択して OK。

テキスト設定

• ヘッダーとフッターを維持する

出力文書でヘッダーとフッターを保持します。

• 改行を保持する

元のテキスト行の配置を保持します。そうしない場合には、出力文書はすべてのテキストを含む、単一の線になります。

• 超過した場合テキストを縮小する

テキストがテキストブロックに収まらない場合には、テキストのフォント、サイズを削減します。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メダデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメダデータを変更する場合には、メダデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

CSV設定

以下の設定が利用できます:

テキスト設定

- 表の外側のテキストを無視する 表のみを保存し、残りの部分を無視します。
- ページ区切りとしてページ区切り文字 (#12) を挿入する 元のページの配置を保存します。

デリミタ

出力CSV文書でデータ列を区切るために使用されている文字を指定します。

エンコーディング

ABBYY FineReaderは <u>ードページ</u>を自動で検出します。 コードページを変更するには、コードページをドロップダウン Iストから選択します エンコーディング。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、メタデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK をクリックします。

TXT設定

以下の設定が利用できます:

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

1. フォーマット済みテキスト

段落を保持しますが、ページ上のオブジェクトの位置や行間をまったく同じには保ちません。さらに、段落の インデントとテーブルを再現するためにホワイトスペースが使用されます。生成されたテキストは左揃えとなり ます。右から左に書くテキストは右揃えとなります。 **『**縦書きのテキストは横書きになります。

2. プレーンテキスト

書式設定は保持されません。

テキスト設定

• 改行を保持する

元のテキスト行の配置を保持します。このオプションが選択されていない場合、各段落が単一行のテキストとして保存されます。

- ページ区切りとしてページ区切り文字 (#12) を挿入する 元のページの配置を保存します。
- 段落区切りとして改行を使用する 空白行で段落を分けます。
- ヘッダーとフッターを維持する 出力文書でヘッダーとフッターを保持します。

エンコーディング

ABBYY FineReaderは <u>コードページ</u> 症 を自動で検出します。 コードページを変更するには、 コードページをドロップダウン 以下から選択します エンコーディング。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メダデータを保持します。このオプショイはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、メタデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

HTML設定

以下の設定が利用できます:

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

• 柔軟なレイアウト

元の文書の形式を保持します。出力 HTML ドキュメントは簡単に編集できます。

• フォーマット済みテキスト

フォント、フォントサイズ、フォントスタイル、段落は保持されますが、ページ上のオブジェクトの正確な行間や場所は保持されません。生成されたテキストは左揃えどないます。右から左に書くテキストは右揃えどないます。

☑縦書きのテキストは横書きになります。

• プレーンテキスト

書式設定は保持されません。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きくなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です**画像を保持する**。

ヒント。写真保存の設定を変更するにはカスタム.。オプションのグループのカスタム設定希望する設定を選択してOK。

テキスト設定

• 改行を保持する

元のテキスト行の配置を保持します。これが無効である場合、出力文書はすべてのテキストを含む 単一の行になります。

• テキストと背景の色を保持する

フォントの色と背景色を保持する場合に、このオプションを選択します。

• ヘッダーとフッターを維持する

出力文書でヘッダーとフッターを保持します。

エンコーディング

ABBYY FineReaderは <u>コードページ</u> 症 を自動で検出します。 コードページを変更するには、 コードページをドロップダウン リストから選択します エンコーディング。

本の設定

ハードコピー本をHTML に変換する場合、有効にする 目次を生成し、目次を使用してブックをファイルに分割 オプションをクリアします。本は、次の方法のいずれかで章に分割することができます。

• 見出しに基づいてファイルを自動的に作成

FineReader 14 は自動的にドキュメントをおぼ等し、サイズに分割し、別のHTML ファイルとして保存して、目次でのそれらへのリンクを再作成します。

• レベル1 の見出しに基づいてファイルを作成 FineReader 14 は、自動的に最上位の見出しを使用して別のHTML ファイルにドキュメントに分割します。

・レベル2の見出しに基づいてファイルを作成

FineReader 14 は、自動的に最上位および次のレベルの見出しを使用して別のHTML ファイルにドキュメントを分割します。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメダデータを変更する場合には、メダデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

EPUB / FB2設定

以下の設定が利用できます:

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

• フォーマット済みテキスト

段落を保持しますが、ページ上のオブジェクトの位置や行間をまった、同じには保ちません。生成されたテキストは左揃えとないます。右から左に書くテキストは右揃えとないます。

☑ 縦書きのテキストは横書きになります。

☑ フォントスタイルはEPUBフォーマットでのみ保持されます。

• プレーンテキスト

書式設定は保持されません。

EPUB 形式に保存する場合 フォーマット済みテキスト文書レイアウト ドロップダウンリストからオプションを選択して、 以下のフォントとフォントサイズを保持 (EPUBのみ) オプションを選択します。生成されるE ブックの文書のフォントを 埋め込むには フォントを埋め込む オプションを選択します。

☑ 一部のデバイスとノフトウェアは埋め込まれたフォントを表示しません。

カバーの作成

文書の最初のページをカバーとして使用する場合には最初のページをエブックのカバーとして使用 オプションを有効にします。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です**画像を保持する**。

ヒント。 写真保存の設定を変更するにはカスタム..。ダイアログボックスでカスタム設定希望する設定を選択して OKをクリックします。

EPUB設定

どちらのバージョンのEPUB形式を使用するかを選択できます。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、メタデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

DjVu設定

以下の設定が利用できます:

保存モード

予定している文書の利用方法に合わせて、以下から最適なオプションを選択します:

•ページ画像の下にテキスト

このオプションでは、ページ全体を画像として保存し、その下に認識されたテキストを配置します。そのため、元のファイルと全く同じ外観の検索可能なDjVu文書が作成されます。

•ページ画像のみ

このオプションは正確なページの画像を保存します。出力文書は元の文書とましま同じ外観ですが、文書の テキストは検索可能ではありません。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です画像品質。

ビント。 写真保存の設定を変更するにはカスタム …をクリックします。カスタム設定 ダイアログボックスで、目的の設定を選択して OK をクリックします。

複数のレイヤー
DjVu形式はページの画像をレイヤーに分割してそれぞれのレイヤーに異なる圧縮方法を用いる特別な圧縮技術を使用します。デフォルトでは、ABBYY FineReaderはそのページに複数レイヤー圧縮を使用する必要があるかどうかを自動で決定します (つまり、複数レイヤーオプションは自動に設定)。複数レイヤー圧縮をすべてのページで使用したくない場合には、複数レイヤーオプションを常にオンに設定します。常にオフ

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、メタデータの編集 ...ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、OK。

ABBYY® FineReader 14 ユーザーズ ガイド

サポートされているOCRおよび文書の比較言語

ABBYY FineReader 14 195のOCR言語をサポートします:

- <u>自然言語</u> 218
- <u>人工言語</u> 224
- <u>公式言語</u> 224

💡 製品のバージョンによりサポートされる言語は異なる可能性があります。

自然言語

- アブハズ語
- アヴァール語
- アグル語
- アディグ語
- アゼリ語 (キリリ)[、]アゼリ語 (フテン) **
- アイマラ語
- アルバニア語
- アルタイ語
- 英語発音表記
- 英語*[、]**
- アラビア語 (サウジアラビア)
- アルメニア語 (東部、西部、グラバー)*
- アフリカーンス語
- アステカ語
- バスク語
- ・バシキール語*、**
- ベラルーシ語
- ベンバ語
- ブラックフィート語
- ブルガリア語*、**

- ブルターニュ語
- ブゴツ語
- ブリアット語
- ウェールズ語
- ハンガリー語*[、]**
- ウォロフ語
- ペトナム語*[、]**
- ハワイ語
- ガガウズ語
- ガリシア語
- ガンダ語
- ギリシア語*
- グアラー二語
- カワ語
- スコティッシュゲール語
- Dakota (スー族語)
- ダルグワ語
- デンマーク語^{、、}**
- Tun (トウ(語)
- ダンガン語
- ズールー語
- ヘブライ語*
- イディッシュ語
- イングッシュ語
- インドネシア語*[、]**
- アイルランド語

- アイスランド語
- スペイン語^{、、}**
- イタリア語*[、]**
- カバルタ語
- カザーク語
- カルミック語
- カラ・カルパク語
- カラチャイ バルカール
- **力夕口二**ア語*[、]**
- カシュブ語
- ・キチュワ語 (ボルビア)
- キクユ語
- キルギス語
- 中国語簡体字 中国語繁体字
- コンゴ語
- 韓国語 (ハングル)
- コルシア島語
- コルヤク語
- ホサ語
- クペル語
- クロウ語
- クリミアタタール語
- クミック語
- クルド語
- ラク語
- ラテン語*

- ラトビア語*[、]**
- レジン語
- リトアニア語*[、]**
- ルバ語
- ソルブ語
- マヤ語
- マケドニア語
- マラガシ語
- ・ マレー語 (マレーシア)
- マリンク語
- マルタ語
- マンシ語
- マオリ語
- マ!語
- ミナンカバウ語
- モーホーク語
- ・ ルーマニア語 (モルドバ)
- モンゴル語
- モードゥヴァン語
- シフオ語
- ・ドイツ語 (ルクセンブルク)
- ドイツ語**[、] ドイツ語 (ニュースペリング)*[、]**
- ネネッ語
- ニブブ語
- オランダ語**[、]オランダ語 (ベルギー)*[、]**
- ノガイ語

- ノルウェー (ニーノシク**、ノルウェー (ブークモール)*、**
- ニャンジャ語
- オジプア語
- オシーシャ語
- パピアメント
- ポーランド語*[、]**
- ポルトガル語**[、]ポルトガル語 (プラジル)*[、]**
- プロバンス語
- レートローマン語
- ルワンダ語
- ルーマニア語*[、]**
- ルンディ語
- ロシア語*[、]**
- ロシア語 (オールドスペリング)
- アクセント付きのロシア語
- サモス語 (ラップランド)
- サモア語
- サポテク語
- スワジ語
- セプア/語
- セリクプ語
- セルビア語 (キリり)、セルビア語 (ラテン)
- スロバキア語*[、]**
- スロベニア語*[、]**
- ソマリ語
- スワヒリ語

- スンダ語
- タバサラ語
- タガログ語
- ダジケ語
- タヒチ語
- **91***
- **タタール語***、**
- トックピジン
- トンガ語
- ツワナ語
- ツバニア語
- hルゴ語*[、]**
- トゥレクメン語(キリリ)、トゥレクメン語(フテン)
- ウドムルト語
- ウィグル語 (キリリ)、ウィグル語 (ラテン)
- ウズベク語 (キリリ)、ウズベク語 (ラテン)
- ・ ウクライナ語*[、]**
- フェロー語
- フィジー語
- フィンランド語*[、]**
- **フランス語***[、]**
- フリースランド語
- フルイリアン語
- カンカス語
- 八二語
- カンティ語

- ハウリ語
- クロアチア語*[、]**
- チンプオ語
- ロマニ語
- チャモロ語
- チェチェン語
- チェゴ語*[、]**
- チュバシュ語
- チュクチ語
- スウェーデン語*[、]**
- シヺ語
- エヴェンキ語
- イウン語
- エスキモー語 (キリリ)[、]エスキモー語 (ラテン)
- エストニア語*[、]**
- ソト語
- ヤクート語
- 日本語

人工言語

- イド語
- インターリングァ
- Occidental (西洋語)
- エスペラント語

公式言語

- Basic
- C/C++

- COBOL
- Fortran
- Java
- Pascal
- 簡単な計算式
- •数字

■ 特定の言語の文字を表示するために必要なフォントについては、以下を参照してください:
<u>サポートされている言語</u> <u>のテキストを正しく表示するために必要なフォント</u>
245〕。

*この言語には辞書が利用可能です。ABBYY FineReaderをオンにして、認識された文字の不確かさを確認して、この言語で記述されたテキストの表記エラーを検出します。

**文書の比較言語。ABBYY FineReaderは35の言語で書かれた文書を比較できます。以下も参照してください: <u>ABBYY ドキュメントの比較</u>[17]。

サポートされている文書の形式

次の表は、ABBYY FineReader 14 でサポートされている文書の形式をまとめたものです。

形式	ファイルの拡張子	入力形式 OCRエディター	入力形式 PDFエディター / ABBYY ドキュメント の比較	保存形式
PDF文書	*.pdf	+	+	+
編集可能なテキスト	形式			
Microsoft Word文 書	*.doc, *.docx	-	+	+
Microsoft Excel 97- 2003 ワーケブック	*.xls, *.xlsx	-	+	+
Microsoft PowerPointプレゼンテ ーション	*.pptx	-	+	+
	*.ppt	-	+	-
Microsoft Visio 図 面	*.vsd, *.vsdx	-	+ / -	-

HTML文書	*.htm, *.html	-	+	+
リッチ テキスト形式	*.rtf	-	+	+
テキスト文書	*.txt	-	+	+
Microsoft Office Excel エンマ区切りファ イル	*.CSV	-	-	+
OpenDocument テ キスト	*.odt	-	+	+
	*.ods	-	+	-
	*.odp	-	+	-
FB2文書	*.fb2	-	-	+
EPUB文書	*.epub	-	-	+
編集不可能な形式				
XPS (要 Microsoft .NET Framework 4)	*.xps	+	+	-
DjVu文書	*.djvu, *.djv	+	+	+
画像				
JPEG	*.jpg, *.jpeg	+	+	+
JPEG 2000	*.jp2, *.j2k, *.jpf, *.jpx, *.jpc	+	+	+
PNG	*.png	+	+	+
TIFF	*.tiff, *.tif	+	+	+
вмр	*.bmp, *.dib, *.rle	+	+	+
GIF	*.gif	+	+	-
JBIG2	*.jbig2, *.jb2	+	+	+
РСХ	*.dcx, *.pcx	+	+	+

☑ 特定の形式でテキストを編集できるようこするには、適切なバージョンの Microsoft Office またはApache OpenOffice がお使いのコンピューターにインストールされている必要があります。

💡 ABBYY ドキュメントの比較 は比較結果を以下の形式で保存できます:

• PDF文書 (*.pdf)

PDFファイルを表示するには、PDF表示アプリケーションがお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。差異のリストを表示するにはコメントペインを開きます。

Microsoft Word文書 (*.docxを参照してださい)

☑ 文書のメダデータごPDF/A または PDF/UAの準拠情報が含まれている場合、ドキュメントプロパティウィンドウに表示されます。

OCR前に考慮すべき文書の機能を参照してください。

画像の品質は、OCRの精度に大きな影響を与えます。このセクションでは画像の認識を実行する前に考慮すべき要因について説明します。

- <u>OCR言語</u> 228
- <u>印刷品質</u> 229
- <u>カラーモード</u>230

OCR言語

ABBYY FineReaderは単一および複数の言語から成る文書を認識できます(例:2つ以上の言語で書かれたもの)。 多言語の文書については、複数のOCR言語を選択する必要があります。

OCR言語を選択するには、次のようこクリックします: オプション 100 > 言語 その後、以下のオプションのいずれかを選択します:

- 以下のリストから自動でOCR言語を選択
 ABBYY FineReaderは自動でユーザー定義の言語リストから適切な言語を選択します。言語リストを編集する:
 - 1. 以下のリストから自動でOCR言語を選択 オプショか選択されていることを確認します。
 - 2. 指定 ...ボタンをクリックします。
 - 3. オプションのグループの言語 ダイアログボックスで、目的の言語を選択し、クリックします OK。
 - 4. オプションのグリレープのオプションダイアログボックスで OKをクリックします。
- OCR 言語を手動で指定

必要な言語が以上には、このオプションを選択します。

以下のダイアログボックスで、1つまたは複数の言語を指定します。特定の言語の組み合わせを頻繁に使用する場合には<u>それらの言語のために</u>142新しいグループを作成できます。

言語が以上ない場合には、次のいずれかが原因です:

- 1. ABBYY FineReaderによってサポートされない、または ダサポートされる言語の完全なリストは、以下を参照してください:サポートされる認識言語²³。
- お使いのバージョンの製品でサポートされていない。
 ざお使いの製品バージョンで利用可能な言語の完全なリストは以下で参照できます: ライセンスダイア ログボックス (このダイアログボックスは、ヘルプ > バージョン情報 > ライセンス情報 とクリックすると開き ます)。

ビレトインの言語および言語グループを使用するほかに、独自の言語およびグループを作成できます。以下も参照してください: <u>プログラムが特定の文字を認識できない場合</u>[141]。

印刷タイプ

タイプライターやFAXなど様々なデバイスを使用して文書を印刷することがあります。OCRの精度は文書の印刷方法 によって異なります。ダイアログボックスで正しい印刷タイプを選択することで、OCRの品質を改善できます。オプショ ン「IIII」ダイアログボックスを開きます。

ほとんどの文書で、プログラムは印刷タイプを自動で検出します。自動で印刷タイプを検出するには自動オプションが ドキュメントタイプダイアログボックスのオプションのグループで選択されている必要があります。オプション(このダイアロ グボックスは、ツール > オプション ...> OCR これらのオプションにアクセスするには、次のようにクリックします:フルカラー または白黒モードの文書を処理できます。

必要な場合には、印刷タイプを手動で選択できます。

software	タイプライターで打ったテキストの例です。すべての文字が同じ幅です("w"や t"などを比較します)。 このタイプのテキストは、を選択します タイプライター。
software	FAXによって作成されたテキストの例です。例からわかるようこ、一部の場所では文字が明瞭ではありません。ノイズや歪みがあります。このタイプのテキストは、を選択します FAX。

タイプライターで打ったテキストまたはFAXを認識した後、自動通常の印刷された文書を処理する前に、を選択してください。

印刷品質

「ノイズ」(ランダムな黒い点や斑点)、ぼやけ、凹凸の文字や傾斜した行や表の罫線が歪んている質の悪い文書は、特定のスキャン設定が必要となる場合があります。

	(ju) (→)
DIBOOUINT MOTEL RESERVA IILAIS PERSONAL IIIIAA IIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIAA IIIIIIIAA IIIIIIIAA IIIIIIIAA IIIIIIII	<section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text><text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></text></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>

粗悪な品質の文書は<u>グレースケールでスキャンするのが最適です</u>い、グレースケールでスキャンする際、プログラムは 最適な<u>明度(明るさ</u>)255 の値を自動で選択します。

グレースケールスキャンモードはスキャンされたテキストの文字に関する情報をより多く保持し、平均または平均より悪い 品質の文書の認識時に、より良いOCR結果が達成されるようにします。画像エディターで利用できる画像編集ツール を使用して手動で欠陥を修正することもできます。以下も参照してください: <u>文書画像に不具合か多く OCRの</u> <u>精度が低い場合</u>

カラーモード

フルカラー文書の元の色を維持する必要がない場合には、白黒モードで文書を処理できます。これによい結果として 生成されるOCRプロジェクトのサイズが大幅に削減され、OCRプロセスは迅速にないます。しかし、白黒の低いコントラ ストの画像を処理することで、粗悪なOCR品質になる可能性があります。写真、雑誌のページ、また、中国語、日本 語、韓国語のテキストについては白黒変換は推奨されません。

ビント。ダイアログボックスのタブで以下を選択してカラー文書および白黒文書の処理を早めることができます。高速 認識 OCR ダイアログボックスのオプションダイアログボックスを開きます。認識モードの詳細については以下を参照し てください: OCR オプション

適切なカラーモードの選択に関する追加の推奨事項については、以下を参照してください:<u>スキャンのヒントいい</u>

学 文書が白黒に変換されたら、カラーに戻すことはできません。カラー文書を取得kするには、カラー画像のあるファイ
 ルを開くか、紙の文書をカラーモードでスキャンします。

画像処理のオプション

ABBYY FineReaderでのページのスキャンと開き方をカスタマイズするためには以下を実行します:

- PDFエディターで背景認識をオン/オフ231
- OCRエディターに追加される際にページの自動分析と認識[23]をオンオフ
- •次に<u>画像の予備処理設定を指定します[231</u>]

PDF文書を、画像、スキャンを新規タスクウィンドウで開いた時または 画像処理 ダイアログボックスのオプション (この ダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます)。

ダイアログボックスで作成した変更はオプション新しくスキャンされた以開かれる画像に適用されます。

画像処理 ダイアログボックスのオプション タブには以下のオプションが含まれます:

PDFエディターで背景認識をオンにする

背景認識はPDFエディターで開くすべてのページに使用されます。背景認識はテキストレイヤーのない文書でもテキストの検索とコピーができるようこします(例:スキャンのみが含まれる文書または画像から作成された文書)。文書に恒久的な変更は加えられません。

このタブでは、以下も指定できます:OCR言語 [228]。

✓ この文書で他のユーザーがテキスト検索を実行できるようこするには、次のようこクリックします: ファイル > 文書の
 認識 > 文書の認識 …

OCRエディターに追加された画像の自動分析と認識

デフォルトでは、ページは自動で分析、認識されますが、これを変更できます。以下のモードが利用できます:0

• ページ画像を認識する(予備処理と分析を含む) OCRエディターで画像が開かれたら 画像の予備処理設定(変換およびOCRに適用)設定のグループ で選択された設定を使用して自動で予備処理されます。分析とOCRも自動で実行されます。

•ページ画像を分析する(予備処理を含む)

画像の予備処理と文書の分析を自動的に実行しますが、認識は手動で開始する必要があります。

•ページ画像の事前処理

予備処理のみ自動で実行されます。分析とOCRは手動で開始する必要があります。このモードは複雑な構造の文書で一般的に使用されます。

■ 追加した画像が自動で処理されるのを回避するには、ページの画像がOCRエディタに追加されたら自動で処理するオプションをクリアします。

これにより大きな文書を迅速に開き、文書の選択したページのみを認識し、<u>文書を画像として保存することができま</u>す。

画像の予備処理設定を指定します

ABBYY FineReaderを使用してスキャンやデジタル写真の一般的な欠陥を自動で修正できます。

デフォルトでは、このダイアログボックスには3つの推奨オプションが表示されます:

• 見開きページを分割する

見開きページの分割:プログラムは見開きページの画像をページごとし別々のページになるように自動で2つの画像に分割します。

•ページの向きを修正

OCRに追加されたページの方向は自動で検出され、必要な場合には修正されます。

•より良いOCRのための推奨設定を使用する

プログラムは自動で必要な予備処理設定を選択し、適用します。

すべての設定を表示するには、をクリックします詳細設定を表示する

• 画像のデスキュー

プログラムは自動で歪んだページを検出して、必要な場合には歪みを修正します。

• テキストラインの歪み修正

プログラムは自動で画像上のまっすぐでない テキスト行を検出して、台形歪みの補正を実行せずに、まっすぐに修正します。

画像解像度を修正

プログラムは自動で検出し、画像の最高の解像度を決定して、必要な場合には画像の解像度を変更します。

•ページの端を検出

プログラムは画像の端を自動で検出して切り取ります。

• 背景を白くする*

プログラムは自動で背景を白くして最高の明度設定を選択します。

• ISO ノイズの低減

プログラムは自動で写真のノイズを削除します。

• モーションプラーの削除 *

ぼやけたデジタル写真のシャープさが高められます。

・台形歪みの補正*

プログラムはデジタル写真と本のスキャンの自動で台形歪みと歪んだテキスト行を検出します。

・反転色の画像を修正

適切な場合には、プログラムは画像の色を反転させて明る、背景にくらいテキストが印刷されるようこします。

白黒に変換

プログラムはカラーの画像を白黒に変換します。これにより結果として生成されるOCRプロジェクトのサイズが 削減され、OCR速度を改善します。写真、雑誌のページ、また、中国語、日本語、韓国語のテキストにつ いては白黒変換は推奨されません。

• カラーマークを削除

プログラムはカラースタンプおよびペンで書かれたマーキングを検出、削除し、そうしたマーキングで読みづら、テキストの認識を実行できるようこします。このオプションは白い背景に暗いテキストのスキャンされた文書のために設計されています。このオプションをデジタル写真やカラー背景の文書には選択しないでください。

* デジタル写真のみ:

✓ 推奨される設定のみが表示されるようこするには、をクリックします詳細設定を表示しない。

OCRオプション

早く正確なOCR結果を取得したは、場合には、正しいOCRオプションを選択することが重要です。どのオプションを使用 するかを決定する際には、文書のタイプと複雑さざけでなく、結果の文書の意図される用途についても考慮されるべき です。以下のオプションのグループが利用可能です:

- <u>PDF認識モード</u>234
- OCRスピードと正確性のバランス 235
- <u>文書タイプ</u>236
- <u>構造的要素の検出</u>236
- <u>//---</u>¹236
- <u>パターンと言語</u> 236
- 認識されたテキストで使用するフォントを選択 236

OCRオプションは OCR ダイアログボックスの オプション (このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックする と開きます)。

PABBYY FineReaderはOCRプロジェクトに追加したページをすべて自動で認識します。現在選択されているオプションがOCRに使用されます。新たに追加した画像の自動分析および自動 OCR は、画像処理 ダイアログボックスのオプション(このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます)。

✓ 文書の認識語にOCRオプションを変更する場合、OCR処理を再度実行して新し、オプションで文書が認識されるようにします。

PDF認識モード

これらの設定はテキストレイヤーと写真のあるPDF文書での使用が意図されています。そうしたPDF文書は通常、編集 可能な書式の文書から作成されます。検索可能なPDFや画像のみのPDFなどの、その他の種類のPDF文書は常 に、こうしたPDFの種類では、デフォルトの設定になっている**OCRの使用**モードで処理されます。それらのPDFを処理 するために、追加の設定は必要ありません。

3種類の認識モードが利用可能です:

• OCRかPDFのテキストかを自動選択

プログラムはテキストレイヤーを精査して、既存のテキストレイヤーに品質の良いテキストが含まれる場合には、これを使用します。そうでない場合には、OCRを使用して新しいテキストレイヤーが作成されます。

• OCRの使用

OCRを使用して新しいテキストレイヤーが作成されます。このモードではより長く時間がかかしますが、粗悪な品質のテキストレイヤーの文書にはより適しています。

• PDFからのテキストのみ使用

これはテキストレイヤーのあるPDF文書のデフォルトモードです。プログラムはOCRを実行せずに元のテキストレイヤーを使用します。

OCRスピードと正確性のバランス

ABBYY FineReader 14 を使用して以下を実行できます:

・徹底した認識

このモードでは、ABBYY FineReader は単純な文書と複雑なレイアウトの文書の両方の分析と認識を行います。これには、塗りつぶされた背景に印刷されたテキストが配置された文書や、複雑な表(白い格子線のある表、カラーのセルのある表を含む)のある文書が含まれます。

徹底した認識より長い時間を要するもののより良い品質を達成する。

• 高速認識

このモードは、レイアウトがシンプルで、画像の品質が高くサイズの大きな文書の処理に推奨されます。

印刷タイプ

文書の印刷に使用されたデバイスの種類を指定します。以下も参照してください: <u>OCR前に考慮すべき文書の機</u> <u>能</u>229、

構造要素を検出する

構造要素を検出するプログラムを選択:ヘッダー、フッター、脚注、表の内容、リスト。選択された要素は文書が保存 された場合にクリック可能になります。

バーコード

文書にバーコードが含まれ、それを写真として保存するのではなくそれを文字列や数字に変換したは場合には、を選択します。パコードを文字列に変換。この機能はデフォルトではオフになっています。

パターンと言語

以下のテキストのタイプでは、学習機能を使用した認識が使用されます:

- •特殊記号のあるテキスト(例:数学機能)
- 装飾的な要素のあるテキスト
- 粗悪な品質の画像から作成された大量のテキスト(100ページ以上)

学習機能 (137) はデフォルトではオフになっています。OCR実行中に新し、文字や連結線の認識のために学習機能を使用 ABBYY FineReaderの学習機能を使用するには、をオンにしてください。

認識にはビルトインまたは独自のパターンを使用できます。

```
■ ユーザーパターンと言語の設定を保存、読み込みできます。以下も参照してください: OCR プロジェクト
```

フォント

ここでは、認識されたテキストを保存する際に使用するフォントを選択できます。

フォントを選択する方法:

- 1. フォントの選択 …ボタンをクリックします。
- 2. 目的のフォントを選択して、をクリックします。 OK。

複雑なスクリプト言語を使った作業

ABBYY FineReaderを使用して、アラビア語、ヘブライ語、イディッシュ語、タイ語、中国語、日本語、韓国語の文書を認識できます。中国語、日本語、韓国語の文書およびこれらの言語とヨーロッパの言語が組み合わされて使用された文書で作業する場合には、いくつかの追加的要素を考慮する必要があります。

- <u>推奨されるフォント</u>237
- 画像の自動処理をオフにする
 ²³⁸
- 1つ以上の言語で書かれた文書の認識 [23]
- <u>テキストウィンドウに非 ヨーロッ (文字が表示されない 場合</u>23)
- 認識されたテキストの方向を変更する 240

推奨されるフォント

アラビア語、ヘブライ語、イディッシュ語、タイ語、中国語、日本語、韓国語のテキストの認識は、追加のフォントをインストールする必要があります。次の表は、これらの言語のテキストの推奨フォントを示します。

OCR言語	推奨されるフォント
アラビア語	Arial™ Unicode™ MS
ヘブライ語	Arial™ Unicode™ MS
イディッシュ語	Arial™ Unicode™ MS
タイ語	Arial™ Unicode™ MS
	Aharoni
	David
	Levenim mt
	Miriam
	Narkisim
	Rod

中国語 (簡体字)	Arial™ Unicode™ MS
中国語 (繁体字)	以下にあげるようなSimSunフォント:
日本語、韓国語	Example SimSun (Founder Extended)
韓国語 (ハングル)	SimSun-18030、NSimSun₀
	Simhei
	YouYuan
	PMingLiU
	MingLiU
	Ming(ISO10646用)
	STSong

以下のセクションでは、認識精度を向上するためのアドバイスが提供されます。

画像の自動処理をオフにする

デフォルトでは、OCRプロジェクトに追加されるすべてのページは「11 自動で認識されます。

しかし、文書にヨーロッパ言語と組み合わされた中国語、日本語、韓国語のテキストが含まれる場合、ページの方向の 自動検出をオフにして、すべてのページ画像が正し、方向の場合にのみデュアルページ分割オプションを使用することが 推奨されます (例:上下逆にスキャンされていない)。

ページの向きを修正 および見開きページを分割する ダイアログボックスのタブの 画像処理 ダイアログボックスのオプション (このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると聞きます)。

■ アラビア語、ヘブライ語、またはイディッシュ語で見開きのページを分割する場合には、必ず対応するOCR言語を選択してから見開きページを分割するオプションをクリアします。オプションを選択して「グックのページを差し替えるオプションをクリアします。以下も参照してください: OCR プロジェクト 100.

文書構造が複雑な場合には、自動分析と画像のOCRをオフにして、これらの操作を手動で実行することが推奨されます。

新たに追加した画像の自動分析および自動 OCR は、画像処理 ダイアログボックスのオプション (このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます)。

- 1. をクリックします ツール > オプション …とクリックしてオプション 1. ダイアログボックスを開きます。
- 2. **画像処理** タブで ページの画像がOCRエディタに追加されたら自動で処理するオプションをクリアします。
- 3. をクリックします OKをクリックします。

1つ以上の言語で書かれた文書の認識

以下の手順は、英語と中国語のテキストを含む文書の認識方法の一例として提供されています。他の言語を含む 文書も同様の方法で認識できます。

- 1. メインソールバーで言語・ストからその他の言語 …を選択します。言語エディタタブで OCR 言語を手動で指定を選択し、言語のリストから中国語と英語を選択します。
- 2. ページをスキャンするか、画像を開きます。
- 3. プログラムが画像のすべてのエリアの検出に失敗した場合:
 - エリア編集ツールを使用してエリアを手動で指定します
 - 1つの言語のみが含まれるエリアを選択し、領域のプロパティで、英語または中国語を適切に選択します。
 同一タイプのエリアに対してのみ言語を指定できます。異なるタイプのエリアを選択した場合、例えばテキストおよび表などの場合には、言語を指定できません。
 - 必要に応じて、ドロップダウンリストで向きテキストの方向を提供します(詳細については<u>縦書きまたは</u> 反転したテキストが認識されなかった場合「143]を参照してください)
 - 中国語、日本語、韓国語のテキストの場合、プログラムはドロップダウンリストにCJK テキストの向き テキストの方向を提供します(詳細についてはエリアプロパティの編集

テキストペインに非ヨーロッパ文字が表示されない場合

中国語、日本語、韓国語のテキストがテキストペインに不適切に表示される場合、プレーンテキストモードを選択 する必要があります。

モードで使用されるフォントを変更プレーンテキストする:

- 1. をクリックします ツール > オプション …とクリックして、オプション 「 ダイアログボックスを開きます。
- 2. **エリアとテキスト**。
- 3. ドロップダウンリストからArial Unicode MSを選択します プレーンテキストの表示に使用するフォント。
- 4. をクリックします OKをクリックします。

それでも問題が解消せず、テキストウインドウのテキストが誤って表示される場合には、正しくないフォントが使用され <u>ている場合や一部の文字が ?" または " に置き換えられている場合</u>「136」

認識されたテキストの方向を変更する

ABBYY FineReaderはテキストの方向を自動で検出しますが、テキストの方向を手動で指定することもできます。

- 1. テキストペインをオンにします。
- 2. 1つ以上の段落を選択します。
- 3. 1 テキストペインのソールバーのボタンをクリックします。

サポートされているインターフェイスの言語

ABBYY FineReaderのインストール時にインターフェースの言語は選択されています。この言語はすべてのメッセージ、 ダイアログボックスメニューアイテムで使用されます。インターフェースの言語を変更するには、以下の指示に従ってくだ さい:

- 1. メニューのオプション …ツールをクリックしてオプションログックスを開き、その他。
- 2. ドロップダウンメニューから希望する言語を選択しますインターフェイス言語。
- 3. OK **を**クリックしま。
- 4. ABBYY FineReaderを再起動します。

ABBYY FineReader 14 は24のGUI言語をサポートします:

- 英語
- ブルガリア語
- ハンガリー語
- ベトナム語
- オランダ語
- ギリシア語
- デンマーク語
- スペイン語
- イタリア語
- 中国語繁体字
- 中国語簡体字
- 韓国語
- ドイツ語
- ポーランド語
- ポルトガル語 (プラジル)
- ロシア語
- スロバキア語
- トルゴ語

- ウクライナ語
- フランス語
- チェニ語
- スウェーデン語
- エストニア語
- 日本語

スタンプ、およびヘッダーやフッターの現在の日付と時間」を

現在の日付を表示するスタンプとベイツナンバーを作成することができます。スタンプマネージャーまたはベイツナンバーマネージャーで以下のタグを使用します。

タグ		例
<d></d>	短縮形での日付	07.02.2013
<date></date>	正式な形式の日付	7 February 2013
<t12></t12>	12時間形式での時間表示	9:22 PM
<t24></t24>	24時間形式での時間表示	21:22
<time></time>	HH:MM:SS形式の時間表示	21:22:51

デフォルトでは、コンピュータの地域設定が日付と時間の形式を決定します。別の形式を指定できます。例えば <d=RUS/>、<date=USA/>、<time=ENG/>。結果はプレビューペインに即座に表示されます。

ここをクリックして一部の例を表示します

```
<d=USA/ 2/7/2013
>
<d=ENG/ 07/02/201
3
<d=RUS/ 07.02.2013
>
<d=CUS/ 07.02.2013
>
<d=CUS/ 07.02.2013
>
<d=FRA/ 07/02/201
3</pre>
```

 <d=ITA/> 07/02/201 3
 <d=ESP/> 07/02/201 3
 <d=NLD/ 7-2-2013
 <d=PO/> 07.02.2013
 <d=HUN/ 2013.02.07
 <d=CZ/> 07.02.2013
 <d=CZ/> 7.2.2013
 <d=SL/> 7.2.2013
 <d=SL/> 7.2.2013
 <d=SL/> 5.2.2013
 <d=SL/>

<date=DEU %B, %Y/> February, 2013

<time %Hh %Mm/> 09h 22m

<date/>および<time/>タグを使用して日付と時間の形式を指定できます。

<date></date> パラメータ		例
年		
%у	(最初にゼロがある)01から99の数として年を表記	01
%# y	(最初にゼロを付けない)01から99の数として年を表記	1
%Y	(最初にゼロがある)0001から9999の数として年を表記	2013
%# Y	(最初にゼロを付けない)1から9999の数として年を表記	2013
月		
%b	月の省略名	Feb
%В	月の完全な名前	February

%m	(最初にゼロがある)01から12の数として月を表記	02
%#m	(最初にゼロを付けない)01から12の数として月を表記	2
日付		
%d	最初にゼロがある)01から31の数として日を表記	07
%# d	最初にゼロを付けない)01から31の数として日を表記	7
曜日		
%a	曜日の省略名	Tu
% A	月の完全な名前	Tuesday
<time></time> parameters 例		例
時間		
%Н	最初にゼロを付ける00から23の)24時間形式での時間表記	07
%#H	(最初にゼロを付けない00から23の)24時間形式での時間表記	7
%I	(最初にゼロを付ける01から12の)12時間形式での時間表記	05
%#I	(最初にゼロを付けない101から12の)12時間形式での時間表記	5
%р	12時間表記のA.M./P.M.*	AM
分母》		
% M	(最初にゼロがある)00から59の数として分を表記	04
%# M	(最初にゼロを付けない)00から59の数として分を表記	4
%S	(最初にゼロがある)00から59の数として秒を表記	04
%#S	(最初にゼロがない)00から59の数として秒を表記	4
追加のパラメータ		
%%	パーセント記号	

地域設定を変更

- 1. をクリックします [スタート] > コントロール パネル) > 地域と言語のオプション
- 2. フォーマット タブで日付と時間に使用する形式を選択するか、オプションをクリックして独自の日付と時間の形式を作成します。

✓ Windows 10の場合、次のようこクリックします: [スタート]
► PC の設定 > 時間と言語 > 地域と言語。

*USA、ENG、HUN、CZ地域でのみ利用可能です。

サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント

OCR言語	フォント
アブハズ語	Arial Unicode MS(*)
アヴァール語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
アグル語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
アディグ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
アルタイ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
アラビア語	Arial Unicode MS(*)
アルメニア語(東部、西部、グラバー)*	Arial Unicode MS(*)
バシキール語 *	Arial Unicode MS(*) 247 Palatino Linotype
ベトナム語	Arial Unicode MS(*)
ガガウズ語	Arial Unicode MS(*)
タリレガ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
ズールー語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
ヘプライ語	Arial Unicode MS(*) [247] Aharoni David Levenim mt Miriam Narkisim Rod
イディッシュ語	Arial Unicode MS(*)
イングーシ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
カバンド語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode

中国語 (簡体)、中国語 (繁体字)	Arial Unicode MS <u>(*)</u> [247]、SimSun フォント
	例: SimSun (Founder Extended)、SimSun-18030、 NSimSun
	Simhei YouYuan PMingLiU MingLiU Ming(for- ISO10646) STSong
韓国語、韓国語(ハングル)	Arial Unicode MS <u>(*)</u> [247]、SimSun フォント
	例: SimSun (Founder Extended)、SimSun-18030、 NSimSun
	Simhei YouYuan PMingLiU MingLiU Ming(for- ISO10646) STSong
コリャーク語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
Lak	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
レズギ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
マンシ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
副で	Arial Unicode MS(*)
オセチア語	Arial Unicode MS(*)
ロシア語 (古い綴り)	Arial Unicode MS(*) 247 Palatino Linotype
タバサラン語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
ダング語	Arial Unicode MS(*) 247 Palatino Linotype
91語	Arial Unicode MS(*)
ウドムルト語	Arial Unicode MS(*)
ハカス語	Arial Unicode MS(*)
ハンテ・語	Arial Unicode MS(*)
ハウサ語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
チェチェン語	Arial Unicode MS(*) 247 Lucida Sans Unicode
チュヴァン語	Arial Unicode MS(*)
チュケチ語	Arial Unicode MS(*)

ヤクート語	Arial Unicode MS(*)
日本語	Arial Unicode MS <u>(*)</u> [247、SimSun フォント
	例: SimSun (Founder Extended)、SimSun-18030、 NSimSun
	Simhei YouYuan PMingLiU MingLiU Ming(for- ISO10646) STSong

どこで見つかるか人供給元

(*) Microsoft Office 2000またはそれ以降

正規表現

下の表はカスタムの言語「141」の辞書を作成するために使用できる正規表現を一覧にしたものです。

アイテム名	従来の正規表 現記号	使用例と説明
任意の文字		c.t ? fat」、fot」などを表す
グループ内の文字	[]	[b-d]ell ? 「bell」、 cell」、 cdell」などを表す
		[ty]ell ? 「tell」および 「yell」を表す
グレープカにない文字	[^]	[^y]ell ? िdell」、 fell」、 fell」を表すが 「yell」は禁止
		[^n-s]ell ? 「bell」、 cell」を表すが、 fiell」、 「bell」、 「pell」、 「qell」、 Fell」および Sell」は禁止
または	I	c(a u)t ? 「cat」および cut」を表す
0以上の一致	*	 10* 1、10、100、1000 などの数を表す
1 以上の一致	+	 10+ 10、100、1000 などは許可するが、1 は禁止
文字または数字	[0-9a-zA-Za-	[0-9a-zA-Z]? 任意の1文字を許可
	яА-Я]	[0-9a-zA-Z]+?任意の単語を許可
大文字のファン文字	[A-Z]	
小文字のファン文字	[a-z]	
大文字のキリル文字	[A-Я]	
小文字のキリル文字	[а-я]	

数字	[0-9]	
	@	予備

注意

- 1. 正規表現記号を通常の文字として使用するには、前にバックスラッシュを付けます。例えば、[t-v]x+は tx、txx、txx など ux、uxx などを表しますが、\[t-v\]x+は[t-v]x、[t-v]xx、[t-v]xxx などを表します。
- 2. 正規表現の要素をグループ化するには、かってを使用します。例えば、(a|b)+|c は c または abbbaaabbb、ababab などの任意の組み合わせ(長さがゼロではなく 任意の数のa およびb が任意 の順序で並んでいる単語)を表しますが、a|b+|c は a、c、および b、bbb などを表します。

例

生年月日、名前、電子メールアドレスの3列からなる表を認識するとします。この場合、日付とアドレスの2つの新し い言語を作成し、それらに以下の正規表現を設定することができます。

日付の正規表現

日を表す数は1桁の数字(1、2、など)または2桁の数字(02、12)で構成できますが、ゼロ(00または0)にはできません。したがって、日の正規表現は次のようこなります:((|0)[1-9])|([1|2][0-9])|(30)|(31)。

月の正規表現は次のようこなります:((|0)[1-9])|(10)|(11)|(12)。

年の正規表現は次のようこないます:([19][0-9][0-9]|([0-9][0-9])|([20][0-9][0-9]|([0-9][0-9])。

この後するべきことは、これらをすべて組み合わせて、数字をピリオドで区切るだけです(1.03.1999 など)。ピリオドは正規表現記号であるため、前にバックスラッシュ(\)を付ける必要があります。

日付全体の正規表現は、次のようこなります

 $((|0)[1-9])|([1|2][0-9])|(30)|(31) \setminus ((|0)[1-9])|(10)|(11)|(12) \setminus ((19)[0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([20][0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][0-9])|([0-9][$

電子メールアドレスの正規表現

 $[a-zA-Z0-9_{-}]+\@[a-z0-9_{-}]+$

ABBYY FineReader 14のインストール、ライセンス認証、登録

ソフトウェアの著作権侵害はソフトウェアメーカーとエンドユーザーの両方に有害です。違法な製品を使用することは決して安全ではありません。正当なソフトウェアは、サードパーティ企業が有害なコート変更を加えることを確実に阻止します。ABBYYは、自社の知的所有権を保護するとともにお客様のセキュリティを確保することに全力を注いています。

ABBYYソフトウェア製品にはABBYYとのライセンス契約を結んでいない人による無断使用を防止する特別な保護技術が含まれます。制限なくABBYY FineReaderを使用できるようこするには、ライセンス認証を行う必要があります。

登録は選択可能ですが、登録されたユーザーには一定の恩恵が付与されます。

本章の内容

- <u>システム要件</u>250
- <u>ABBYY FineReaderのインストールと記動</u>[251]
- <u>ABBYY FineReaderのライセンス認証</u>[252]
- <u>ABBYY FineReaderの</u>登録 254
- <u>プライバシーポリシー</u>254

システム要件

- 1 オペレーティングシステム:
 - Microsoft[®] Windows[®] 10 / 8.1 / 8 / 7
 - Microsoft Windows Server® 2016 / 2012 / 2012 R2 / 2008 R2
 オペレーティングシステムは、ユーザーインターフェースに選択した言語をサポートする必要があります。
- 2 1 GHz または 32 ビット(x86) または 64 ビット(x 64) プロセッサ SSE2命令のセット。
- 3 1 GB の RAM (4 GB を推奨) さらに 512 MB RAM がマルチプロセッサシステムの各追加プロセッサに必要です。
- 4 インストールに1.2GBの空き容量、プログラムの動作に追加の1.2GB
- 5 1024 × 768 以上の解像度をサポートするビデオカードとモニター
- 6 シリアル番号のライセンス認証のためのインターネット接続
- 7 キーボード、マウス またはその他ポインティング デバイス

ターミナルサーバーサポート

ABBYY FineReader 14は次のターミナルサーバーでテストされています。

- Microsoft® Windows Server® 2012 R2, 2008 R2 (リモートデスクトップ RemoteApp、リモートデスクトップウェブアクセス)
- Citrix XenApp 7.9 (インストールされたアプリケーションを使って、サーバーからアクセスするシナリオを参照し てください)

スキャナーや複合機

ABBYY FineReader 14はTWAINおよびWIA互換のスキャナーおよび複合機 (MFP)をサポートします。

✓ ABBYY FineReader 14によってサポートされるファイル形式のリストは次を参照して、ださい:サポートされている文書の形式 225

ABBYY FineReaderのインストールと起動

ABBYY FineReader を1台のコンピュータにインストールする

- 1. インストールディスクまたはその他の配布メディアでSetup.exe ファイルをクリックします。
- 2. 画面に表示されるインストールウィザードの手順に従います。

ABBYY FineReader 14 をLAN で配置する

ABBYY FineReaderはローカルエリアネットワークにインストールして使用できます。*。ローカルエリアネットワークに ABBYY FineReaderをインストールする際に自動インストール方法を使用すると、各ワークステーションに手動でプログ ラムをインストールする必要がなくなるため、早くフレキシブルに実行できます。

インストールは2つのステージで構成されます。まず、サーバーにプログラムをインストールします。以下のいずれかの方法を使用して、サーバーからプログラムをワークステーションにインストールできます。

- アクティブディレクトリを使用する方法
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)を使用する方法
- コマンドラインから行う方法
- インタラクティブモードで手動で行う方法

ライセンスマネージャーを使用したワークステーションへのABBYY FineReaderのインストールおよびローカルエリアネット ワークでのプログラムの使用に関する詳細情報はシステム管理者ガイドを参照してください

システム管理者ガイドのダウンロード

ABBYY FineReaderの起動

ABBYY FineReader 14:

- [スタート] ボタンをWindowsでクリックしたら、次のようにクリックします: すべてのプログラム > ABBYY FineReader 14 (Windows 10では、[スタート] - すべてのプログラム その後 ABBYY FineReader 14 をクリックします)。
- または、文書のファイルをWindows Explorerで右クリックします (サポート される形式である必要があります) すっかう)その後、ABBYY FineReader 14 または ABBYY FineReader 14 をクリックして、変換コマンドの うちの1つを選択します。

* この機能はの一部のエディションのABBYY FineReader 14。以下も参照してください: ABBYYウェブサイトの FineReaderページ(<u>http://www.ABBYY.com/FineReader/</u>251)でエディションのリストと機能を参照してください。

ABBYY FineReaderのライセンス認証

ABBYY FineReader 14をインストールした後、フルモードで実行するには、ライセンス認証を行う必要があります。 ABBYY FineReader 14のライセンス認証を行わない限り、プログラムはトライアルモードで実行され、プログラムを試す ことはできますが保存できるページ数に限りがあり、一定期間経過後に機能しなくなります。

ABBYY FineReader 14のライセンス認証:

- 1. オプションのグループの新規タスクウィンドウで、以下の順にクリックします:ヘルプ > ライセンス認証..。
- 2. シリアル番号を入力するかなの ライセンスファイルがある場合には読み込みます。

アクティベーションウィザードに表示される4つのアクティベーションオプションのいずれかを選択します:

• インターネット経由のライセンス認証

ライセンス認証は自動的に行われ、数秒で完了します。この方法には有効なインターネット接続が必要です。

- ABBYYウェブサイトを介したライセンス認証
 - 1. アクティベーションウィザードのリンクをクリックしてライセンス認証ページを開きます。
 - 2. アクティベーションウィザードの製品 ID 255 をコピーして、ページ内の対応するフィールドに貼り付けます。
 - 3. アクティベーションウィザードのシリアル番号をコピーしてページ内の対応するフィールドに貼り対けます。
 - 4. ライセンスファイルをハードディスクに保存します。
 - 5. 次へアクティベーションウィザードをクリックしてライセンスファイルへのパスを指定します。
 - 6. クリックします次へ。

ABBYY FineReader 14はライセンス認証され、フルモードで機能し始めます。

- 電子メールによるライセンス認証
 - 1. プログラムによリアクティベーションに必要な情報のすべてが記載された電子メールメッセージが作成されます。
 - 2. 本文や件名を変更せずにこの電子メールメッセージを送信します。ライセンスファイルが添付された返信 メッセージが届きます。
 - 3. ライセンスファイルをハードディスクに保存します。
 - 4. アクティベーションウィザードにライセンスファイルへのパスを入力します。

ABBYY FineReader 14はライセンス認証され、フルモードで機能し始めます。

• 他のコンピュータからの電子メールによるライセンス認証
- 1. ABBYY FineReader 14がインストールされたコンピュータでライセンス認証を事項できない場合には、このライセンス認証方法を選択します(例えば、インターネット接続がない、電子メールメッセージを送信できないなど)。
- 2. ライセンス情報をテキストファイルに保存します。
- 3. 電子メールメッセージを送信できるコンピュータで新規電子メールメッセージを作成します。次に ライセン ス認証リケエストオプションのグループの件名フィールドに入力し、<u>FineReader-</u> activation@abbyy.com²⁵²と送信先フィールドに入力します。
- 4. テキストファイルの内容を電子メールメッセージにコピーします。メッセージが自動的に処理され、迅速に 返信を受け取ることができるよう変更を加えないでください。
- 5. メッセージを送信します。ライセンスファイルが添付された返信メッセージが届きます。
- 6. ライセンスファイルをハードディスクに保存します。
- 7. アクティベーションウィザードにライセンスファイルへのパスを入力します。

ABBYY FineReader 14はライセンス認証され、フルモードで機能し始めます。

ABBYY FineReaderを一旦ライセンス認証したら、同一のコンピュータご何度でもインストールでき、再度ライセンス認証を実行する必要はありません。しかし、ハードディスクがフォーマットされた場合やオペレーティングシステムが再インストールされた場合など、コンピュータのハードウェア構成に重大な変更が加えられた場合には、ライセンスファイルを取得し、ABBYY FineReaderを再度ライセンス認証する必要が発生する場合があります。

ABBYY FineReaderの登録

ABBYY FineReader14のお手元のコピーを登録し、登録ユーザーのための特別な利点をお使いいただくことを推奨いたします。登録は任意です。

ABBYY FineReaderのコピーを以下の方法で登録できます:

- 製品のコピーのライセンス登録時に連絡先情報を提供します。
 ☑ ABBYY FineReader のライセンス認証プロセスで登録しないことを選択した場合でも、都合の良い時に、 後で実行できます。
- 次のようこクリックします: ヘルプ > 登録 ...そして、登録ダイアログボックスに連絡先情報を提供します
- ABBYYウェブサイトで登録プロセスを完了します (<u>https://www.abbyy.com/</u>に設定)。

登録ユーザーには以下の利点があります:

- 1. 無料 <u>テクニカルサポート</u>273 *
- 2. <u>ABBYY Screenshot Reader</u> 簡単に使用できるスクリーンショット取得 & 画面上のテキスト認識アプリケーション。
- シリアル番号を紛失した場合でも、復元できます。(例:オペレーティングシステムを再インストールする場合)。

製品のアップデートおよび新しい、ビージョンに関する通知を送信します。しかし、登録プロセスでこうした通知の 受信に同意した場合のみに限定されます。

* **以下も参照してください**: ABBYYウェブサイトのテクニカルサポートページ(<u>https://www.abbyy.com/en-</u> us/support/ に設定)。

データプライバシー

当社はお客様のプライバシーを尊重し、お客様の情報に関しては細心の注意を払います。当社は機密保持を条件として、またこのプライバシーポリシーに基づいてお客様から受け取ったデータを収集、処理、使用いたします。

当社は製品に関するニュース価格情報、特別なプロモーション、およびその他の企業情報や製品情報が記載された 電子メールメッセージをお客様にしますがメッセージの送信は、製品の登録の際にお客様が該当するオプションを選 択して、このような情報を当社から受け取ることに同意した場合に限られます。お客様はいつでもメーリングリスト からご自身のメールアドレスを削除するよう当社に依頼することができます。

付録

本章の内容

- <u>用語集</u> 255
- キーボードショートカットを使用します 201

用語集

ABBYY FineReader タスクは文書を処理するためにプレグラムが実行する必要がある一連の連続的手順です。 ABBYY FineReader 14 はま最も一般的な文書処理のエーズのための多数のビルトインタスクが含まれます。ユーザーは自 分自身のカスタムタスクを作成することもできます。ビルトインタスクは新規タスクウィンドウで開始できます。

ABBYY Hot Folder はユーザーが画像が含まれたフォルダーを選択し、そのフォルダーの画像を処理する時間を指定できる ようこするスケジュール作成エージェントです。ABBYY FineReaderは選択されたフォルダーの画像を自動で処理します。

ABBYY Screenshot Reader はユーザーがスクリーンショットを作成し、そこに含まれるテキストを認識できるようにするアプリケーションです。

ADF 自動文書フィーダは 文書をスキャナに自動的に送り込む装置です。ADF付きのスキャナーは 手動での介入なして複数のページをスキャンできます。ABBYY FineReaderは、複数ページの文書を操作できます。

ADRT® (適応文書認識技術) は、複数ページの文書の変換の品質を向上させる技術です。 たとえば、見出し、ヘッダー、 フッター、脚注、ページ番号、署名などの構造要素を認識できます。

dpiでスキャンすることが推奨されます(1インチあた)のドット数)は画像の解像度の単位です。

OCR (光学文字認識)とは コンピュータがテキストを読み、写真、表、その他の諸手記要素を検出できるようこするテク/ロ ジーです。

OCRプロジェクト とは文書を処理するために、ABBYY FineReaderによって作成されたプロジェクトです。文書のページの画像、認識されたテキスト(ある場合)および、プログラム設定が含まれます。

OCRプロジェクトオプションとはダイアログボックスで選択できる一連のオプションのことですオプション(このダイアログボックスは、ツール > オプション …とクリックすると開きます)。これらのオプションはは、ユーザー言語、パターンなども含まれます。 OCRプロジェクトオプションは保存し、その後別のOCRプロジェクトで使用することができます。

PDF タブで選択します。(ポータブルドキュメントフォーマット)は、一般的な文書の形式です。PDF ファイルは、そこに含まれるテキスト、フォント、グラフィックに関する詳細な説明のため、どのコンピュータ上でも同じ外観で表示されます。

PDFのセキュリティ設定 とは、PDF文書を開いたり、編集、コピー、印刷を行ったりできないようこする制限です。これらの設定には、文書を開くパスワード、許可パスワード、および暗号化レベルが含まれます。

Unicode Unicode エンソーシアム(Unicode, Inc.) による国際テキストエンコード規格です。Unicode規格は、ほとんどすべての現代言語記号をエンコードするため容易に拡張できる16ビットシステムを提供します。記号をエンコードする方法を指定し、エンコード処理中に使用する必要があるアルゴリズムと文字プロパティを決定します。

アクティブなエリアは画像上で選択されたエリアで、削除、移動または修正を行うことができます。エリアをアクティブにするには、クリックします。アクティブなエリアを囲む枠は太線で示され、サイズ変更ノンドルが付いています。このハンドルをドラッグすると、エリアの大きさを変更できます。

т

エリア 枠で囲まれた、特定の種類のデータを含む画像のセクションです。 OCR を実行する前に、 ABBYY FineReader では、 画像のとの部分をとのような順序で認識すべきかを決定するために、 テキスト、 画像、 表、 およびバーコードのエリアを検出します。

エリアテンプレートは外観が類似した文書内のエリアの大きさと位置に関する情報を含むテンプレートです。

オ

オムニフォントシステムはあらかじな調整を行わずにあらゆるフォントとフォントサイズの文字を認識する認識システムです。

カ

カラーモード文書の色を保持するかどうを決定します。白黒画像は小さなサイズのOCRプロジェクトを作成し、処理速度も迅速です。

+

キーボードショートカットを使用します とは、押されたときに特定のアクションをトリガーするキーの組み合わせのことです。ホットキーを使って大幅に生産性を高めることができます。

コ

コードページは文字とコードとの対応関係を確立する表です。ユーザーは、利用できるコードページから必要な文字を選択できます。

<u> 、トップに戻る</u>255

サ

サポートID とは、ライセンスおよびライセンスが使用されているコンピュータに関する情報が含まれるシリアル番号の一意の識別子です。サポートID は 追加の保護を提供し テクニカルサポートを提供する前にテクニカルサポートのスタッスによって確認されます。

シ

ショートカットメニューとは、エリア、文書の別の部分などを右クリックした場合に表示されるメニューです。

シリアル番号プログラム購入時に受領する一意の番号です。ライセンス認証時に使用されます。

ス

スキャナ とは、画像をエンピュータに入力するための機器です。 スキャンモード とは、モノクロ、グレースケール、またはナカラーの、「ずれて画像をスキャンする必要があるかを決定するスキャンパラ メータです。

タ

タグ付けされたPDF 論理的な部分、画像、表などの文書構造に関する情報が含まれているPDF文書です。文書の構造は PDFのタグでエンコードされます。 PDF ファイルのこのようなタグはさまざまな画面サイズに合うように調整でき、ハンドヘルドデバイスではきまく表示されます。

テ

テキストエリアとはテキストを含む画像エリアです。テキストエリアには一列のテキストのみが含まれます。

ド

ドライバー とは、コンピュータの周辺装置 (スキャナー、モニターなど)を制御するソフトウェアプログラムです。

マトップによる255

バ

バーコードエリアはバーコードを含む画像エリアです。

パ

パターン平均化された文字の画像とそれぞれの名前との関連付けのセットです。パターンは特定のテキストでABBYY FineReaderの学習機能を使用した場合に作成されます。

パラダイム とは 単語のすべての文法的な形式のセットです。

フ

フォントのエフェクトはフォントの見かけのことです。例、太字、斜体、下線、取り消し線、下付き文字、上付き文字、スモールキャピタル)。

プ

プライマリ形式は、単語の辞書形」のことです、辞書の見出し語は通常プライマリ形式で表記されています)。

ペ

ページレイアウト とは、ページ上のテキスト、表、写真、段落、列の配置のことです。フォント、フォントサイズ、フォントの色、テキストの背景、テキストの方向もまた、ページレイアウトの一部です。

<u> 、トップに戻る</u>255

く

ヘッダーとフッター とは、ページの上または下の余白部分の画像またはテキストです。ヘッダーはページ上部、フッターは ページ下部に配置されます。

ラ

ライセンスマネージャ とはABBYY FineReaderのライセンスとABBYY FineReader 14 コーポレート。

ライセンス認証は ABBYY から特別なコートを取得するプロセスで、ユーザーはこのコードを用いて、所定のコンピュータで 製品をプリモードで使用できます。

信

信頼性の低い単語とは、1つ以上の信頼性の低い文字が含まれる単語のことです。

信頼性の低い文字とは、プログラムが誤って認識した文字のことです。

写

写真エリアとは、写真が含まれる画像エリアです。この種類のエリアはよ、実際の写真、または画像として表示する必要のあるその他のオブジェクト(テキストの一部など)を含めることができます。

X

区切り文字 区切り文字とは、単語を区切ることができ(/、)、ダシュなど、単語そのものからはスペースで区別される記号です。

反

反転画像とは、暗い背景に白い文字が印刷された画像です。

<u> マトプにたる</u>255

合

合字 とおつ以上の文字が 結合」された組み合わせのことです 例 fi, fl, ffi)。こうた文字をABBYY FineReaderが分割することは困難です。これらの文字を1つの文字として扱うことに以 OCR の精度が向上します。

学

学習機能とは、文字画像と文字そのものとの間の対応を確立することです。以下も参照してください: <u>印刷された文書</u> に非標準のフォントが含まれている場合「137]。

文

文書タイプとは プログラムにどのようこ元のテキストが印刷されたかを告げるパラメータです (例えば レーザープレター、タイ プライターなど)。レーザー印刷のテキストの場合には以下を選択します:自動、タイプライターのテキストの場合には以下を選 択します:タイプライター、FAXの場合には以下を選択します FAX。

文書の分析 とは、様々なタイプのデータを含む文書やエリアの論理構造を特定するプロセスのことです。 文書の分析は、自動的にも手動でも実行できます。

文書を開くパスワードとは作成者が指定したパスワードを入力しなければ、ユーザーがPDF文書を開くことができないようこするパスワードです。

明

明度(明るさ)は画像に含まれる白の量を反映する画像パラメータです。明るさを増加させると画像は白くなります。適切な明るさの値を指定すると認識品質が増します。以下も参照してください: <u>スキャンのといれて</u>いま

無

無視される文字 とは、単語に使われている文字以外の記号(音節記号、アクセント符号など)です。これらの記号は、スペルチェックの際に無視されます。

ズトップに戻る[255]

略

略語 i単語またはフレーズの短縮された形です (例 MS-DOSはMicrosoftディスクオペレーティングシステム UNは国際連合の短縮形です)。

省

省略可能なハイフンは(「)単語または単語の組み合わせが行末にきた場合に、分割すべき正し、位置を示すハイフン (「) です(たとえば、 autoformat 」は auto-format 」のように分割します)。 ABBYY FineReader では、辞書の単語にあ るすべてのハイフンを、省略可能なハイフンで置き換えます。

禁

禁止文字 認識するテキストでは発生しないと思われる文字です。禁止文字を指定すると OCR の速度と品質が向上します。

等

等幅フォントは、すべての文字の幅を等しくしたフォント(Courier New など)です。より良い DCR結果を等幅フォントで得るために、OCR ダイアログボックスのオプション タブで タイプライター オプションのグループの ドキュメント タイプ を選択します。

背

背景画像のエリアはテキストオが印刷された写真を含む画像エリアです。

自

自動化されたタスクABBYY FineReaderタスクを作成、設定、展開できるABBYY FINEREADER 14 のタスク管理コンポネント。

<u> 、トップに戻る</u>255

表

表エリアとは表形式でデータを含む画像エリアです。この種類のエリアをプログラムが読み取る際に、表を形成するためにエリア内部に垂直および平行の区切り線を描きます。このエリアは、出力テキストで表として表示されます。

製

製品 ID はABBYY FineReaderを所定のコンピュータでライセンス認証する際に、ハードウェア構成に基づき、自動生成されます。 これはよ 個人情報やソフトウェアやコンピューターに保存されてい るデータに関する情報は含まれません。

複

複合語は2つ以上の既存の単語から成し立ってします。ABBYY FineReaderでは複合語はプログラムが辞書で見つけられないものの、辞書の単語2つ以上で作成できる単語を指します。

解像度 とはインチあたしのドット(dpi) で計測されるスキャンパラメータです。300 dpi の解像度は10 pt フォンド以上で設定 されたテキストのために使用されるのに適しており、400 ~ 600 dpi は小さいフォントサイズのテキストに適しています(9 pt 以下)。

許

許可パスワードとは作成者が指定したパスワードを入力しなければ、他のユーザーがPDF文書を印刷したり、編集したりできないようこするパスワードです。文書について何らかのセキュリティ設定が選択されている場合、作成者が指定したパスワードを入力しなければ、他のユーザーはこれらの設定を変更できません。

認

認識エリア とは ABBYY FineReaderが自動分析すべき画像エリアです。

マトップによる255

キーボードショートカットを使用します

ABBYY FineReaderは最も一般的に使用されるコマンドに以下のキーボードショートカットを提供します。

- 新規タスクウィンドウ 261
- <u>OCR TF 19-</u> 262
- <u>PDF<u></u>⁷/9-</mark>267</u>
- <u>ABBYY ドキュメントの比較</u>[270]

新規タスクウィンドウ

- <u>テキストや写真の編集</u>262 <u>メニュー</u>262

ファイルメニュー

אעאב	ショートカット
新しいPDF文書	+ Ctrl N
PDFを開く…	Ctrl+O
OCRエディタで開く	Ctrl+R
OCRエディタにスキャン	Ctrl+S

新規OCRプロジェクト	Ctrl+Shift+N
OCR プロジェクトを開く	Ctrl+Shift+O
終了	Ctrl+Q

メニューの編集

אעאב	ショートカット
上に移動	Alt+↑
下に移動	Alt+↓
削除	Del
すべて選択	Ctrl+A
最新の文書を見つける	Ctrl+F

ツールメニュー

コペンド	ショートカット
オプション	Ctrl+>

ヘルプメニュー

אעדב	ショートカット
ヘルプ	F1

OCRエディター

- <u>テキストや写真の編集</u>263 <u>メニュー</u>263

- <u>- </u>抱 266

ファイルメニュー

コマンド	ショートカット
新しいタスク	+ Ctrl N
画像を開く	Ctrl+O
ページのスキャン	Ctrl+K
ページ画像を…として保存	Ctrl+Alt+S
閉じる	Ctrl+W
新規OCR プロジェクト	Ctrl+Shift+N
OCR プロジェクトを開く	Ctrl+Shift+O
OCR プロジェクトを保存	Ctrl+Shift+S
文書を電子メールで送信	Ctrl+M
画像を電子メールで送信	Ctrl+Alt+M
テキストの印刷	Ctrl+P
画像の印刷	Ctrl+Alt+P
終了	Ctrl+Q

メニューの編集

אעדב	ショートカット
元に戻す	Ctrl+Z
や「道し	Ctrl+Y
切り取り	Ctrl+X
テキストの認識およびコピー	Ctrl+C
エリアを画像としてコピーする	Ctrl+Shift+C
貼り付け	Ctrl+V

削除	Del
すべて選択	Ctrl+A
選択をキャンセル	Ctrl+Shift+A
ページの削除	Ctrl+Backspace
エリアとテキストを削除	Ctrl+Del
テキストを削除	Ctrl+Shift+Del
ページを右に回転	Ctrl+Shift+>
ページを左に回転	Ctrl+Shift+<
ページの画像の編集	Ctrl+I
検索	Ctrl+F
次を検索	F3
置換	Ctrl H

メニューの表示

אעאב	ショートカット
ナビゲーションペインの表示	F5
ズームペインの表示	Ctrl+F5
画像ペインのみ	F6
画像およびテキストペイン	F7
テキストペインのみ	F8
次のペイン	Ctrl+Tab
前のペイン	Ctrl Shift Tab
拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
ウインドウに合わせる	Ctrl+0
ページ番号 …に移動	Ctrl+G

次のページに進む	Ctrl+↓
前のページに戻る	Ctrl+↑
最初のページに行く	Ctrl+Home
最後のページに行く	Ctrl+End
ページを閉じる	Ctrl F4

認識メニュー

コマンド	ショートカット
すべてのページを認識	Ctrl+Shift+R
ページを認識	Ctrl+R
すべてのページを分析	Ctrl+Shift+E
ページの分析	Ctrl+E
テキストの検証	Ctrl+F7
次のエ ラー	Alt+↓
前のエラー	Alt+↑
テキストを検証済みとしてマーク	Ctrl+T

エリアメニュー

אעדב	ショートカット
エリアの認識	Ctrl+Shift+B
エリアタイプを…に変更テキスト	Ctrl+2
エリアタイプを…に変更表	Ctrl+3
エリアタイプを…に変更画像	Ctrl+4
エリアタイプを…に変更 背景画像	Ctrl+6
エリアタイプを…に変更 バーコード	Ctrl+5
エリアタイプを…に変更 認識領域	Ctrl+1

ツールメニュー

אעאב	ショートカット
辞書を表示	Ctrl+Alt+D
編集モード	Ctrl+Shift+H
Hot Folder	Ctrl+Shift+F
オプション	Ctrl+>

ヘルプメニュー

אעאב	ショートカット
ヘリレプ	F1

一般

ド	ショートカット
選択したテキストの一部を変更する太字	Ctrl+B
選択したテキストの一部を変更するイタリック体	Ctrl+I
選択したテキストの一部に下線を引く <u>テキストの一部</u>	Ctrl+U
表のセルに移動	矢印 キ ー
に切り換えるページペイン	Alt+1
に切り換える画像ペイン	Alt+2
に切り換えるテキストペイン	Alt+3
に切り換えるズームペイン	Alt+4

OCRエディターで自分だけのキーボードショートカットを作成できます。OCRエディター「100

OCRエディターで自分だけのキーボードショートカットを作成する:

- 1. ツールバーとショートカットのカスタマイズ ダイアログボックスを開き、ビューをクリックします。その後次の ようにクリックします。> ツールバー > カスタマイズ .。
- 2. キーボードショートカットタブで、カテゴリーフィールドでカテゴリーを選択します。

- 3. オプションのグループのコマンドフィールドで、キーボードショートカットに指定するコマンドを選択します。
- 4. カーソルを新しいショートカットキーを押してくださいフィールドに当てて、このコマンドに使用するキーを 押します。
- 5. をクリックします 割リ当てる。選択されたキーの組み合わせは現在のショートカット フィールドでカテゴリー を選択します。
- 6. をクリックします OKをクリックします 変更を保存します。
- 7. ショートカットをデフォルトの値に戻るには、クリックします リセット(選択したコマンドカテゴリか、すべてリ セット(すべてのショートカットキー)。

PDFエディター

- <u>テキストや写真の編集</u>200<u>メニュー</u>200
- <u>表示</u> 268 <u>大</u> 268

ファイルメニュー

אעדב	ショートカット
新しいタスク	Ctrl N
開く	Ctrl+O
保存	Ctrl+S
PDF文書とて保存	Ctrl+Shift+S
文書を閉じる	Ctrl+W
文書の認識	Ctrl+Shift+R
印刷	Ctrl+P
終了	Ctrl+Q

メニューの編集

コマンド	ショートカット
元に戻す	Ctrl+Z
や「道し	Ctrl+Y
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
としてエリアをコピー 画像	Ctrl+C
としてエリアをコピー テキスト	Ctrl+Shift+C
としてエリアをコピー 表	Ctrl+Alt+C
貼り付け	Ctrl+V
削除	Del
すべて選択	Ctrl+A
ファイルからページを追加	Ctrl+Shift+O
スキャナからページを追加	Ctrl+Shift+A
ページを右に回転	Ctrl+Shift+>
ページを左に回転	Ctrl+Shift+<
ページの削除	Ctrl+Backspace
ブックマークを追加	Ctrl + D
検索	Ctrl+F
次を検索	F3

<u> 、トップに戻る</u>261

メニューの表示

コマンド	ショートカット
ナビゲーションペインの表示	F5
検索	F9

デジタル署名	F8
PDFツールの表示	F6
コメントペインの表示	F7
拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
ウインドウに合わせる	Ctrl+0
実サイズ	Ctrl+8
幅に合わせる	Ctrl+9
ページ番号 …に移動	Ctrl+G
次のページ	Ctrl+↓
前のページ	Ctrl+↑
最初のページ	ホーム
最後のページ	終わり
戻る	Alt+←
転送	Alt+→
1ページに表示	Ctrl+1
ワンページスクロール	Ctrl+2
2ページに表示	Ctrl+3
2ページスクロール	Ctrl+4
全画面	F11

<u> 、トップに戻る</u>261

ツールメニュー

אעדב	ショートカット
テキストと画像の編集	Ctrl+E
テキストボックス	Ctrl+T

メモの追加	Ctrl+M
強調表示	Ctrl H
下線	Ctrl+U
取り消し線	Ctrl+K
テキストを挿入	Ctrl+J
検索とマークアップ	F9
編集モード	Ctrl+R
オプション	Ctrl+>

ヘルプメニュー

אעדב	ショートカット
ヘルプ	F1

ABBYY ドキュメントの比較

- <u>テキストや写真の編集</u>[27] <u>メニュー</u>[27]
- <u>比較</u> 272 <u>大二</u>272

ファイルメニュー

אעדב	ショートカット
新し、比較	+ Ctrl N
ドキュメントを開く	Ctrl+O
文書を閉じる	Ctrl+W

差異を含めて文書をPDFとして保存する…	Ctrl+S
終了	Ctrl+Q

<u> 、トップに戻る</u>261

メニューの編集

אעדב	ショートカット
元に戻す	Ctrl+Z
や「道し	Ctrl+Y
すべての差異を選択する	Ctrl+A

メニューの表示

אעאב	ショートカット
拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
幅に合わせる	Ctrl+0
次のページ	Ctrl+↓
前のページ	Ctrl+↑

比較メニュー

コマンド	ショートカット
ドキュメントの比較	Ctrl+R
次の差異	Ctrl+→
前の差異	Ctrl+←
差異を無視する	Del

ヘルプメニュー

コマンド	ショートカット
ヘルプ	F1

テクニカルサポート

ABBYY FineReader の使用方法がわからない場合は、テクニカルサポートサービスにご連絡いただく前に、すべてのドキュメント(ユーザーガイドおよびペルプファイル)をご覧ください。ABBYYナレッジベースのよくあるご質問への回答を参照することで疑問が解消する可能性があります。

製品マニュアルまたはナレッジベースに、疑問への回答が見当たらない場合には、ABBYYテクニカルサポートサービスまでご連絡ください。以下のリンクからオンラインフォームを使用して新規サポートチケットを作成することができます: http://onlinesupport.abbyy.com。

技術的な問題の場合には、システムレポートファイルをサポートチケットに添付してください。システムレポートを生成するには、次のようにクリックします:ヘルプ>バージョン情報 > システム情報 ...>保存 ...。

システムレポートを生成できない場合には、以下の情報をサポートチケットに記載してください

- お使いのコピーのシリアル番号 サポートID 255 (次のようにクリックして製品のシリアル番号を確認できます: ヘルプ > バージョン情報 > ライセンス情報)。
- お使いのコピーのビレド番号(次のようこクリックして製品のビレド番号を確認できます)ヘリレプ > バージョン 情報
- Windowsのバージョン。
- 関連すると思われるその他の情報

ABBYY テクニカルサポートサービスにお問い合わせになる前に、最新バージョンのABBYY FineReader をインストール してください 利用可能なアップデートがあるか確認するには、ヘルプ > プログラムの更新を確認。

 ✓ テクニカルサポートは<u>製品のライフサイクルおよびテクニカルサポートポリシーに沿って、登録されたユーザーにのみ提供</u> <u>されます</u>。お使いの製品のコピーを登録するには、<u>ABBYYウェブサイトを訪問するか</u>製品内で次のようにクリックしてく ださ、 ヘルプ > 登録…

著作権

© 2017 ABBYY Production LLC. ABBYY、ABBYY FineReader、FineReader、ADRT、応用文書認識 技術はABBYY Software Ltdの登録商標または商標です。

© 2000-2012 Datalogics, Inc. Datalogics®、The DL Logo®、PDF2IMG[™]、DLE[™] は Datalogics, Inc**の登録商標です。** © 1984-2012 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved. Adobe®、Acrobat®、The Adobe Logo®、Adobe PDF logo®、Adobe® PDF Library[™]、Powered by Adobe PDF Library ロゴ、Reader®は、米国およびその他の国(またはそのいずれか)における Adobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。

このコンピュータプログラムの一部は © 2008 Celartem, Inc. の著作権で保護されています。 All rights reserved. このコンピュータプログラムの一部は © 2011 Caminova, Inc. の著作権で保護されています。 All rights reserved. このコンピュータプログラムの一部は © 2013 Cuminas, Inc. の著作権で保護されています。 All rights reserved. DJVu は米国特許番号6,058,214により保護されています。 外国の特許は申請中です。 AT&T Labsの技術を採用しています。

© 2002-2008 Intel Corporation. Intelは、米国およびその他の国(またはそのいずれか)における Intel Corporationの商標です。

Copyright © 1991-2016 Unicode, Inc. All rights reserved.

配布は、http://www.unicode.org/copyright.htmlの利用条件に基いて行われています。 Unicodeデータファイルおよび関連するドキュメンテーション(「データファイル」)、またはUnicodeソフ トウェアおよび関連するドキュメンテーション(「ソフトウェア」)のコピーを入手する人物に対し、制限 なく使用、複製、変更、結合、発行、配布、販売する権限を含めてそのデータファイルやソフトウェアを取 り扱うことをここに無償で許可します。また、データファイルやソフトウェアが提供されている人物に対し ても、(a) この著作権および許可表示がすべてのデータファイルおよびソフトウェアのコピーに記載されてい ること、(b) この著作権および許可表示が関連するドキュメンテーションに記載されていること、(c) 変更さ れた各データファイルまたはソフトウェア内、およびデータやソフトウェアが変更されたデータファイルま たはソフトウェアに関連するドキュメンテーションに明確な記載があることを条件としてここに無償で許可 します。 します

します。 データファイルおよびソフトウェアは「現状有姿」で提供されており、商品性、特定の目的の適合性、およ び第三者の権利の非侵害性(を含めるがこれらに限定されない)について、明示的または黙示的な保証を一 切行いません。契約上の行為、過失またはその他の不法行為、データファイルまたはソフトウェアの使用や 性能によるもの、もしくはそれらに関連して発生したか否かにかかわらず、この表示に含まれている著作権 所有者は、いかなる請求、または特殊、間接的、結果的損害、ならびに使用、データ、または利益の損失に 起因する何らかの損害に対して責任を負うものではありません。 この通知に含まれている場合を除き、事前に著作権所有者からの書面による許可がないまま、著作権所有者 の名前を広告またはその他の販売促進、これらのデータファイルやソフトウェアの使用またはその他の取引 に使用してはなりません。 Unicodeは、米国およびその他の国(またはそのいずれか)におけるUnicode. Inc.の登録商標です。

JasPer License Version 2.0:

Copyright © 2001-2006 Michael David Adams

Copyright © 1999-2000 Image Power, Inc.

Copyright © 1999-2000 The University of British Columbia

All rights reserved.

本ソフトウェアの一部は、© 2009 The FreeType Project (www.freetype.org)が著作権を保有し ています。 All rights reserved.

本ソフトウェアの一部は、The Independent JPEG Group の成果に基づいています。

PDF-XChange Standard © 2001-2013 by Tracker Software Products Ltd.

© Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, Active Directory, Excel, Office 365, OneDrive、Outlook、PowerPoint、SharePoint、Visio、Windows、Windows Server、Windows Design 2012 は、米国およびその他の国(またはそのいずれか)におけるMicrosoft Corporationの登録 商標または商標です。

Apache、OpenOffice、カモメのロゴは、米国およびその他の国(またはそのいずれか)におけるThe Apache Software Foundationの登録商標です。これらの商標の使用はApache Software Foundationによる承認を意味するものではありません。

Copyright (c) 1997,1998,2002,2007 Adobe Systems Incorporated

このドキュメンテーションのコピーを取得したすべての人物に対し、使用、コピー、発行、配 布、サプライセンス、およびコピーしたドキュメンテーションを販売すること(またはそのい ずれか)をここに無償で許可します。また、以下の場合に限り、その他の人物に対しても同様 の許可が与えられるものとします:

この文書の変更、編集、改ざんは許可されていません。 上記の著作権表示およびこの許可表示がこの文書のすべての複写物に含まれるものとしま す。

この文書ファイルの複写を取得したすべての人物に対し、この文書の内容から自身の派生物を 作成して使用、複写、発行、配布、サブライセンス、および派生物を販売(またはそのいずれ か)することをここに無償で許可します。また、その派生物がこの文書の複写またはバージョ - + + + します。

Adobeは、いかなる場合においても、損害、費用、派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失につき、お客様に対して賠償する責を負わず、懲罰的損害賠償も行わな いものとします。当該損害の発生の可能性につきAdobeが認識していた場合においても同様と

します。Adobeのマテリアルは「現状有姿」で提供されます。Adobeは、商品性、特定の目的 の適合性、Adobeのマテリアルに関する第三者の権利の非侵害性(を含めるがこれらに限定さ れない)について、Adobeのマテリアルに明示的、法定的、黙示的な保証を一切行いません。

Copyright © 2010-2013 Marti Maria Saguer. All rights reserved. Copyright (c) 2003 Calyptix Security Corporation All rights reserved.

このコードは、Calyptix Security Corporationに対してYuliang Zhengが貢献したソフトウェアから 派生しています。 ジースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の 条件を満たす場合に限り再頒布および使用が許可されます: 1.ソースコードを再頒布する場合 は、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の免責条項を含めなければなりません。2.バ イナリ形式で再頒布する場合は、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権表 示、本条件一覧、および下記の免責条項を含めなければなりません。3. 書面による特別の許可 ないまま、本ソフトウェアから派生した製品の承認や宣伝にCalyptix Security Corporationの名 前やコントリビューターの名前を使用してはなりません。本ソフトウェアは著作権所有者およ びコントリビューターによって「現状有姿」で提供されており、商品性および特定目的の適合 性に関する暗黙の保証(を含めるがこれらに限定されない)について、明示的または黙示的な 責任を一切負いません。著作権所有者もコントリビューターも、事由の如何を問わず、損害発 生の原因如何を問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか(過失その他の)不 法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、 本ソフトウェアの使用によって発生した(代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、デ ータの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない)直接損害、間接損 派生しています。 - ジースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の ータの喪失、利益の喪失、 - 業務の中断も含め、またそれに限定されない) 直接損害、間接損 害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わないも のとします。

Miama Nueva Copyright (c) 2014, Linus Romer, with Reserved Font Name Miama Nueva Pecita Copyright (c) 2009-2015, Philippe Cochy, (http://pecita.eu), with Reserved Font Name Pecita.

Bad Script Regular Copyright (c) 2011, Cyreal (www.cyreal.org) with Reserved Font Name "Bad Script".

本ブォントソフトウェアはSIL Open Fontライセンス、バージョン1.1の下でライセンス提供さ れています。 本ライセンスはエンドユーザー使用許諾契約に記載されております。また、FAQ

(http://scripts.silorg/OFL)でもご覧いただけます。

MD5C.C - RSA Data Security, Inc., MD5 message-digest algorithm Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved. 本ソフトウェアは、RSA Data Security, Inc.の MD5メッセージ処理アルゴリズムに派生していま す。

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved. 本製品には、OpenSSLツールキットで使用するためOpenSSLプロジェクト (http://www.opensslorg/)によって開発されたソフトウェアが含まれています。 Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved. 本製品にはÉric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号ソフトウェアが含まれてい ます。 Eric Youngは使用されている一部のライブラリの作成者です。

本製品にはTim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれていま す。

OpenSSL License Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved. ソースコー ド形式かバイナリ形式が、変更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合に限り再頒 布および使用が許可されます: 1. ソースコードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条 件一覧、および下記の免責条項を含めなければなりません。2. バイナリ形式で再頒布する場合 は、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の 免責条項を含めなければなります。2. エンフトウェアの構作が使用について述べるどの広告 免責条項を含めなければなりません。3.本ソフトウェアの機能や使用について述べるどの広告 素材にも、下記の謝辞を必ず掲載してください:本製品には、OpenSSLツールキットで使用す るためOpenSSLプロジェクト (http://www.opensslorg/)によって開発されたソフトウェアが含まれています。"4. 書面による事前の許可がないまま、「OpenSSLツールキット」および 「OpenSSLプロジェクト」という名前を本ソフトウェアから派生した製品の承認や宣伝に使用 してはなりません。書面による許可はopenssl-core@opensslorgまでご連絡ください。5. 本ソフ トウェアから派生した製品はOpenSSLプロジェクトの書面による許可なしで「OpenSSL」と呼

ぶことはできないほか、名前に「OpenSSL」を含めることもできません。6. いかなる形式の再 頒布であっても、「本製品には、OpenSSLツールキットで使用するためOpenSSLプロジェクト (http://www.opensslorg/)によって開発されたソフトウェアが含まれています」という謝辞を記 載しなければなりません。本ソフトウェアはThe OpenSSL Projectによって「現状有姿」で提供 されており、商品性および特定目的の適合性に関する暗黙の保証(を含めるがこれらに限定さ れない)について、明示的または黙示的な責任を一切負いません。 The OpenSSL Projectもコ れない)について、明示的または熱示的な賃任を一切負いません。 The OpenSSL Projectもコ ントリビューターも、事由の如何を問わず、損害発生の原因如何を問わず、かつ責任の根拠が 契約であるか厳格責任であるか(過失その他の)不法行為であるかを問わず、仮にそのような 損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した (代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も 含め、またそれに限定されない)直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損 害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。

本製品にはEric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号ソフトウェアが含まれてい ます。本製品にはTim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれて います。

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved. 本パッケージは、Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成されたSSLインプリメンテーションです。 このインプリメンテーションはNetscapes SSLに準拠するよう作成されました。 以下の条件に従う限りにおいて、本ライブラリは無料で商業的および非商業的利用が可能です。SSLコードだけでな おいて、本ライフラリは無料で商業的および非商業的利用か可能です。SSLコードだけでな く、RC4、RSA、hash、DESなど、この配布物内にあるすべてのコードには以下の条件が適用 されます。本配布物に含まれるSSLドキュメンテーションには、Tim Hudson (tjh@ryptsoft.com) である場合を除き、同一の著作権が適用されます。著作権はEric Youngに帰属しているため、 コード内のどの著作権表示も削除してはなりません。本パッケージを製品内で使用する場合、 使用されているライブラリの一部の作成者としてEric Youngに帰属が与えられるものとしま す。これは、プログラム起動時にテキストメッセージとして、またはパッケージ付属のマニュ アル(オンラインまたはテキスト)に含められます。ソースコード形式かバイナリ形式か、変 更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合に限り再頒布および使用が許可されま 更9 るかしないかを向わり、以下の余件を洞たり場合に限り再頒布のよび使用か計可と11ま す:1.ソースコードを再頒布する場合は、著作権表示、本条件一覧、および下記の免責条項を 含めなければなりません。2.バイナリ形式で再頒布する場合は、頒布物に付属のドキュメント 等の資料に、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の免責条項を含めなければなりませ ん。3.本ソフトウェアの機能や使用について述べるどの広告素材にも、「本製品にはEric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています」という 謝辞を掲載しなければなりません。使用されているライブラリからのルーチンが暗号関連でな い場合は、「暗号化」という語を除外できます。4.お客様がアプリケーションディレクトリ (アプリケーションコード)から任意のWindows固有コード(またはその派生物)を含める場 「本製品にはTim Hudson (tjh@ryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれて 合、「本製品にはTim Hudson (th@ryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれて います」という謝辞を記載しなければなりません。本ソフトウェアはEric Youngによって「現 状有姿」で提供されており、商品性および特定目的の適合性に関する暗黙の保証(を含めるが これらに限定されない)について、明示的または黙示的な責任を一切負いません。作成者もコ ントリビューターも、事由の如何を問わず、損害発生の原因如何を問わず、かつ責任の根拠が 契約であるか厳格責任であるか(過失その他の)不法行為であるかを問わず、仮にそのような 損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した (代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も 含め、またそれに限定されない)直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損 害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。このコードは、公的に入手 できるパージョンや派生物についても、ライセンスおよび配布条件は変更できません。すなわ ち、このコードは単に複写することも他の配布ライセンス(GNU Public Licence も含む)に入 ち、このコードは単に複写することも他の配布ライセンス(GNU Public Licence も含む)に入 れることもできません。

Chrome V8

Copyright 2006-2011, the V8 project authors. All rights reserved.

Copyright 2014, the V8 project authors. All rights reserved.

ソースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合 に限り再頒布および使用が許可されます:

* ソースコードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の免責条項 を含めなければなりません。

* バイナリ形式で再頒布する場合は、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権 表示、本条件一覧、および下記の免責条項を含めなければなりません。

* 書面による事前の特定許可がないまま、Google Inc.の名前やコントリビューターの名前を本 ソフトウェアから派生した製品の承認や宣伝に使用してはなりません。

本ソフトウェアは著作権所有者およびコントリビューターによって「現状有姿」で提供されて おり、商品性および特定目的の適合性に関する暗黙の保証(を含めるがこれらに限定されな い)について、明示的または黙示的な責任を一切負いません。著作権所有者もコントリビュー ターも、事由の如何を問わず、損害発生の原因如何を問わず、かつ責任の根拠が契約であるか 厳格責任であるか(過失その他の)不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生す る可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した(代替品または 代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれ に限定されない)直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損 害について、一切責任を負わないものとします。

Chrome V8 / Strongtalk

Copyright (c) 1994-2006 Sun Microsystems Inc.

All rights reserved.

ソースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合 に限り再頒布および使用が許可されます:

* ソースコードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の免責条項 を含めなければなりません。

* バイナリ形式で再頒布する場合は、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権 表示、本条件一覧、および下記の免責条項を含めなければなりません。

* 書面による事前の特定許可がないまま、Sun Microsystemsの名前やコントリビューターの名前を本ソフトウェアから派生した製品の承認や宣伝に使用してはなりません。

本ソフトウェアは著作権所有者およびコントリビューターによって「現状有姿」で提供されて おり、商品性および特定目的の適合性に関する暗黙の保証(を含めるがこれらに限定されな い)について、明示的または黙示的な責任を一切負いません。著作権所有者もコントリビュー ターも、事由の如何を問わず、損害発生の原因如何を問わず、かつ責任の根拠が契約であるか 厳格責任であるか(過失その他の)不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生す る可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した(代替品または 代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれ に限定されない)直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損 害について、一切責任を負わないものとします。

TWAINツールキットは「現状有姿」で提供されます。 TWAINツールキットの開発者および配布 者は、商品性、第三者の権利の非侵害、および特定目的の適合性に関する暗黙の保証(を含め るがこれらに限定されない)について、明示的、法定的、黙示的な保証を一切負いません。 TWAINツールキットの複製、変更、配布、その他の使用によって生じる直接的、間接的、特 別、付随的、または結果的損害に対し、開発者も頒布者もその責任を負いません。

EPUBおよびEPUBロゴは、IDPF(国際デジタル出版フォーラム)の登録商標です。

JavaScriptは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。

Amazon、Kindle、およびその他の関連するロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

ArialはThe Monotype Corporationの商標で、一部の法域では登録されている場合もあります。 PalatinoはMonotype Imaging Inc.の商標で、一部の法域では登録されている場合もあります。 LucidaはBigelow & Holmes Inc.の米国特許商標庁および欧州連合(EU)で登録された商標で、そ の他の法域でも登録されている場合があります。

CorelおよびWordPerfectは、カナダ、米国、およびその他の国(またはそのいずれか)におけ るCorel Corporationおよびその関連会社(またはそのいずれか)の商標または登録商標です。 Citrix、Citrix XenApp、Citrixロゴは、Citrix Systems, Inc.およびその関連会社(またはそのいず れか)の登録商標で、米国特許商標庁およびその他の国で登録されている場合があります。 こ こに表す声明と意見はあくまでもABC EDUCATION SERVICESのものであり、Citrix Systems, Inc.によって共有されたり、同社の見解を表すものでもありません。本説明は、いかなる製 品、サービス、見解を承認するものではありません。Citrixは、この説明、またはこの説明に 関連する資料に含まれている内容の完全性、正確性、信頼性、適合性、可用性、または最新性 について、明示的か暗示的かを問わず表明も保証も一切行いません。いかなる場合において も、Citrix、その代理人、役員、社員、ライセンシー、または関連会社は、この説明に含まれている情報や声明から生じた一切の損害(利益、ビジネス情報、または情報の損失に関する損害 を含むがそれらに限られない)に対して責任を負いません。本内容に関するご判断は、すべて お客様自身の責任に基づいて行われるものとします。

その他の商標はすべて各所有者の単独資産です。